

The Tokushima Modern Art Museum

徳島県立近代美術館

年報

平成
20
年度

目次

1 沿革	1
2 基本理念と事業方針	2
3 展覧会事業	
3-1 常設展	4
3-2 特別展	37
4 普及事業	
4-1 美術館教育	62
4-2 学校教育との連携	65
4-3 美術館ボランティア	74
4-4 社会教育、生涯教育への講師派遣	75
5 資料収集保存事業	
5-1 平成20年度新収蔵作品・資料	76
5-2 所蔵作品・資料の現状	78
5-3 寄託作品	79
5-4 資料収集委員会、価格評価	80
5-5 作品修復	80
6 広報活動	
6-1 広報用印刷物	82
6-2 ホームページ	83
6-3 サテライト・ギャラリー	83
6-4 ニュース会員	83
6-5 放送番組への出演	84
7 調査研究事業	
7-1 研究報告会	85
7-2 研究成果の公表	89
7-3 文献資料の整備	92
8 管理運営	
8-1 組織及び職員一覧	93
8-2 美術館協議会	94
8-3 人権啓発展	94
8-4 入館者数	95
8-5 社会的活動、非常勤講師等の受諾等	96
8-6 作品の貸し出し	96
8-7 ギャラリーの利用状況	102
8-8 運営計画	102
9 関係法規	105
10 建設概要	111
11 利用案内	113

沿革

1

昭和55年 1 月

文化の森構想発表

昭和56年 2 月

文化の森懇話会報告書提出

昭和57年 3 月

建設地を徳島市八万町向寺山及び寺山に決定

12月

美術館基本構想報告書提出

昭和59年 5 月

美術館資料収集委員会発足

昭和60年 8 月

施行式挙行

昭和61年 4 月

県企画調整部に文化の森建設事務局設置

昭和62年 7 月

建設工事着工

平成元年12月

建設工事竣工

平成 2 年 4 月

徳島県文化の森総合公園文化施設条例施行

県教育委員会に徳島県立近代美術館を設置

徳島県立近代美術館資料収集委員会発足

徳島県立近代美術館協議会発足

11月 3 日

開館

2

基本理念と 事業方針

徳島県立近代美術館 基本理念

徳島県立近代美術館は、地域の文化活動の拠点である文化の森(※)の一員として、特に美術を中心とした県民文化の振興を図ります。

「先導し、発信する」

未来と世界に目を向け、豊かな人間性を育む場として、展示や教育普及事業などを通して、近代・現代美術を中心とした文化活動を先導し、芸術文化情報を発信します。

「研究し、還元する」

近代・現代美術、あるいは徳島にゆかりのある作品や関連資料を調査、研究し、あらゆる美術館活動に活かします。

「保存し、伝える」

資料収集方針に基づいて収集した貴重な作品や資料を良好な状態で保存し、後世に伝えます。

「地域に根ざし、連携する」

親しまれる美術館として、ボランティアをはじめとする県民との協働や県民の参加を進めます。

他の文化施設や大学・学校などの教育機関との連携を深め、相乗効果を図り、地域文化の創造性を高めます。

「安らぎ、体験する」

自然豊かな文化の森で、安らぎとゆとりを満喫し、実物の美術作品にふれる感動や体験のできる場を提供します。

※(注)文化の森総合公園 五つの文化施設(図書館、博物館、近代美術館、文書館、二十一世紀館)が一堂に会した総合公園

事業方針

1 資料収集保存事業

資料収集方針

(1) 基本方針

- ① 現代美術の動向を国際的視野に立って把握し、二十一世紀への展望が開けることを課題に国内外の優れた現代絵画・彫刻を中心に収集する。
- ② 現代美術の背景を理解するために近代美術も併せて収集する。
- ③ 近代以降活躍した徳島ゆかりの作家の作品を収集する。
- ④ 一次資料を理解するために二次資料も併せて収集する。

(2) 具体的方針

- ① <人間>を主題とする作品を中心に収集する。
- ② 広い視野に立ち、現代版画を総合的に収集する。

2. 調査研究事業

調査研究事業は、全ての美術館活動の基盤であり、日常的、継続的に進めていくものである。なかでも、所蔵作品・作家についての調査研究や徳島ゆかりの作家・作品の基礎調査は、とりわけ重要であり、また、教育的な視点からのアプローチも欠かせない。

その成果は、論文や学会発表にとどまらず、収集、展示、教育普及のそれぞれの美術館事業に活かされていかなければならない。

3. 展示事業

- (1) 所蔵作品展では、定期的な展示替えを行いながら所蔵作品を公開する。できる限り多くの所蔵作品を鑑賞する機会を提供し、展示の新鮮さを維持すると同時に、作品の保護を図るためである。

また、収集方針への理解を容易にするため、原則として収集方針に即した展示とする。

- (2) 特別展では、原則として近代、現代美術を対象とし、所蔵作品展では紹介しきれない分野や作家、作品を紹介する。様々な美術愛好家の期待に応えるとともに、

常に新しい美術館利用者を開拓し続けるため、近代、現代の美術展、日本、海外の美術展、徳島ゆかりの美術展、啓蒙的な内容の美術展など多彩な内容の展覧会を時期にも配慮しながらバランスよく開催する。

4. 教育普及事業

- (1) 美術館での作品鑑賞をより豊かにすることを目的として、館事業への理解が深まり、幅広い角度で美術館に親しんでもらえるような催しを開催する。

一般向けの展示解説や講座、制作を体験するワークショップや作家によるトーク、子供向けの鑑賞教室などを行い、多様な学習機会を提供する。また、県内各地で移動展を行い、鑑賞の場を提供する。

- (2) 県内全ての児童生徒に鑑賞の楽しさを届けることを目的として、学校教育との連携を進める。

授業や遠足による美術館利用の促進、学芸員による解説や授業の実施、教員や大学との連携による鑑賞教材の開発と実践などを通じて、美術館と学校を結ぶ鑑賞教育の裾野を広げていく。

- (3) 子供から大人まで、より多くの人々が美術館で楽しく過ごすことのできる、親しめる美術館となることを目的として、美術館ボランティアによる県民との協働を推進する。

ボランティアが、独立した自主的な組織運営が可能になるようにサポートし、所蔵作品展に関連した独自のイベントの企画・実施をはじめとして、美術館を取り巻く多様化するニーズや課題に幅広く対応していく協働体制づくりを行う。

3

展 覧 会 事 業

3-1 常設展 平成20年度

「所蔵作品展 徳島のコレクション2008-II～IV、及び2009-I」として4期に分けて、展示室1、2、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径において、所蔵作品の展覧を行った。なお、2009-Iのみ、展示室3も使用した。

当館の3つの収集方針にあわせて、展示室1に「20世紀の人間像」、「現代版画」、展示室2に「徳島ゆかりの美術」のコーナーを設け、多面的な作品紹介に務めた。

「現代版画」のコーナーでは、年間を通して様々なテーマを設けたり、作家による版画集を広い壁面で紹介したりした。

(出品リストの凡例)

国内作家は五十音順、国外作家はアルファベット順です。
作品データは、作者名、作品名、制作年、技法・材質、寸法(cm)。平面作品の寸法は縦×横。

立体作品の寸法は高さ×幅×奥行きを原則とし、一部h.(高さ)で表したものがああります。

版画の寸法は原則としてイメージ・サイズですが、†が付されたものはシート・サイズです。

所蔵作品展 徳島のコレクション2008－Ⅱ

●会期

平成20年3月22日[土]-6月15日[日]

●休館日

月曜日(5月5日は開館)、5月7日

●視点

「20世紀の人間像」の特集テーマは、「それぞれの物語」。作中人物をストーリー・テラー(語り手)に見立て、アントニー・ゴムリー<天使の器Ⅱ>など、来館者に語りかけるような作品を展示した。

「現代版画」のコーナーでは、「始まりは、パリ」と題して、3期に分けて、菅井汲、松谷武判、木原康行の版画作品を採り上げた。いずれも渡仏してパリのアトリエ17(1927年、版画家ヘイターによって開かれた版画工房)に出入りして、国際的な活躍を続けてきた作家たちである。

「徳島ゆかりの美術」のコーナーでは、三宅克己、伊原宇三郎、山下菊二、一原有徳、菊畑茂久馬などの作品を中心に展覧した。

●観覧料

一般 200円(160円)

高・大生 100円(80円)

小・中生 50円(40円)

※()内は20名以上の団体料金。

●関連事業

※4-1「美術館教育」の項を参照。

●印刷物

出品リスト:A3判二つ折りサイズ(仕上がりA4判) 4ページ

※その他の印刷物については、4-2-9「展覧会ごとの『子どもワークシート』作成」の項を参照。

●入館者数

5,464人(4月1日以降)

※8-4「入館者数」の項を参照。

●新聞・雑誌記事

「『徳島のコレクション2008-Ⅱ』徳島県立近代美術館始まる」『徳島新聞』平成20年3月22日(夕)

「所蔵作品展『徳島のコレクション2008-2』徳島県立近代美術館」『徳島新聞』平成20年4月1日

●担当学芸員

吉原美恵子、仲田耕三

●出品リスト

今期中、展示替えを行った。*aを付したのは4月20日(日)まで、*bを付したのは4月22日(火)以降に展示した。

展示室1

■20世紀の人間像 特集:それぞれの物語 3月22日[土]-6月15日[日]

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
安斎重男	リチャード・セラ 1970年5月8日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*a}
	クリスト 1970年5月8日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*a}
	ダニエル・ビュラン 1970年5月10日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*a}
	クラウド・リンケ 1970年5月 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*a}
	小清水漸 1970年8月31日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*a}
	吉村益信 1971年5月3日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*a}
	高松次郎 1971年5月3日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*a}
	篠田守男 1973年8月23日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*a}
	三木富雄 1973年10月18日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*a}
	サム・フランシス 1974年9月 デンマーク	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*b}
	ブリジット・ライリー 1974年9月20日 ロンドン	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*b}
	バリー・フラナガン 1974年9月24日 ロンドン	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*b}
	ギルバート & ジョージ 1974年9月26日 ロンドン	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*b}
	菅井汲 1974年10月1日 パリ	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*a}
	アンディ・ウォーホル 1974年10月27日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*a}
	ヤニス・クネリス 1975年11月9日 ケルン	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*b}
	瀧口修造 1978年1月15日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*a}
	ドナルド・ジャッド 1978年3月3日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*a}
	ナム・ジュン・パイク 1978年5月26日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*a}
	ローリー・アンダーソン 1979年4月13日 ニューヨーク	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*b}
	ジョセフ・コースス 1979年5月26日 ニューヨーク	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*b}
	ジョン・ケージ 1981年8月1日 軽井沢	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*b}
	工藤哲巳 1981年8月20日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*a}
	ジョージ・シーガル 1982年6月8日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*b}
	ダン・グラハム 1982年10月17日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*b}

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
安斎重男	ルイズ・ネーヴェルソン 1982年10月28日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*b}
	フランク・ステラ 1982年11月28日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*b}
	デイヴィッド・ホックニー 1983年2月14日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*b}
	リサ・ライオン 1984年3月29日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*a}
	田中泯 1984年5月13日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*a}
	ヨゼフ・ボイス 1984年5月29日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*a}
	ヨゼフ・ボイスとナム・ジュン・パイク 1984年6月2日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*b}
	チャック・クロース 1985年3月2日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*b}
	イサム・ノグチ 1986年6月26日 ヴェニス	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*b}
	ジョエル・シャピロ 1987年12月15日 ニューヨーク	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*b}
	ジュリアン・シュナーベル 1990年5月29日 ニューヨーク	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*b}
	リチャード・ロング 1991年12月4日 ロンドン	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*b}
	ジョナサン・ボロフスキー 1992年6月13日 カッセル	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*b}
	草間弥生 1992年10月16日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.5×27.5 ^{*a}
	森村泰昌 1994年9月9日 東京	1999年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.5×35.5 ^{*a}
	アンソニー・グリーン 1974年9月21日 ロンドン	1974年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.9×35.6 ^{*b}
	舟越桂 1988年6月24日 ヴェニス	1988年	オリジナルゼラチンシルバープリント	27.9×35.6 ^{*a}
	アンソニー・カロ 1990年7月1日 ロンドン	1990年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.6×27.9 ^{*b}
	福岡道雄 1992年3月29日 大阪	1992年	オリジナルゼラチンシルバープリント	35.6×27.9 ^{*a}
泉茂	逃げたスピード	1955年	油彩 キャンバス	100.1×80.4
入江波光	草園の図	1926年	絹本着色	26.7×56.3 ^{*a}
宇佐美圭司	メナム 河畔に出現する水族館	1967年	油彩 キャンバス	185.4×270.3
尾形月耕	花見うらゝか	明治後期	絹本着色	196.0×84.0 ^{*a}
小嶋悠司	穢土	1985年	岩彩、テンペラ キャンバス	190.0×500.0 ^{*a}
堂本印象	熊野灘	1944年	絹本着色	168.3×372.6 ^{*a}
福岡道雄	鳥になれるか	1984年	ブロンズ	26.5×14.5×9.7
	鮎になれるか	1984年	ブロンズ	11.0×24.0×26.0
	石になれるか	1984年	ブロンズ	14.0×21.0×15.0

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
星野真吾	條件派A	1956年	紙本着色	131.5×43.4 ^{*b}
	遙かに	1956年	紙本着色	91.6×152.8 ^{*b}
	喪中の作品(炎)	1964年	紙本着色	121.2×60.6 ^{*b}
	空しいポーズ	1980年	紙本着色	151.5×90.9 ^{*b}
三尾公三	女と風景	1983年	アクリル絵具 板	180.0×324.0
四谷シモン	機械仕掛の少年2	1983年	紙、ガラス、板、紐、真鍮、アルミニウム	135.7×51.0×34.8
アンソニー・カロ	テーブル・ピース Y-90 “チェアパーソン”	1986-87年	錆びた鋼、彩色、ワックス	104.0×71.0×63.5
ジョン・デイヴィーズ	ザ・ラスト	1975年	ミクスト・メディア	h.187.0
バリー・フラナガン	ニジンスキーの野兎	1989-90年	ブロンズ	168.9×88.9×58.4
アントニー・ゴームリー	天使の器 II	1989年	石膏、ファイバーグラス、鉛、鋼鉄、空気	197.0×858.0×46.0
アンゼラム・キーファー	世界智の道:ヘルマン会戦	1980-91年	アクリル、シェラックニス、木版紙	218.5×336.5 ^{*b}
パブロ・ピカソ	赤い枕で眠る女	1932年	油彩 キャンバス	38.0×46.0
トーマス・シュトゥールト	アムステルダム 国立博物館1	1990年	タイプCプリント	119.5×168.5
ユン・ソクナム (尹錫男)	ベンチ	1992年	ミクストメディア	116.0×151.0×45.0
ジャン・シャオガン (張曉剛)	ファミリー・ポートレート《全家福》	1993年	油彩 キャンバス	99.7×129.3

現代版画

■始まりは、パリ 3月22日[土]-6月15日[日]

菅井汲	悪魔	1955年	リトグラフ 紙	53.3×38.7
	オトコ	1957年	リトグラフ 紙	47.8×41.6
	NAGASAKI	1957年	リトグラフ 紙	52.0×40.0
	黒いけもの	1958年	リトグラフ 紙	56.4×38.5
	NUAGE	1964年	リトグラフ 紙	65.0×43.7
	作品	1965年	エッチング 紙	21.0×16.2
	作品	1971年	リトグラフ 紙	65.0×50.0
	雲	1961年	リトグラフ 紙	64.2×51.0
	青のインキ	1962年	リトグラフ 紙	62.0×44.8
	紫	1962年	リトグラフ 紙	63.0×43.1
	ブロンズ	1963年	リトグラフ 紙	65.5×35.5
	太陽の森	1967年	リトグラフ 紙	64.0×53.0
松谷武判	LA PROPAGATION-M-A	1967年	エッチング、ビュラン 紙	50.0×32.5
	LA PROPAGATION-53-Red	1967年	エッチング、ビュラン 紙	65.0×50.0
	L'ESPACE	1967年	エッチング、ビュラン 紙	64.5×50.0

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
松谷武判	LA PROPAGATION-K	1967年	ビュラン、アクアチント 紙	50.0×65.0
	LA PROPAGATION-NOIRE	1967年	ビュラン、アクアチント 紙	65.0×50.0
	LA PROPAGATION-L	1967年	ビュラン、アクアチント 紙	65.0×50.0
	LA PROPAGATION-53	1967年	エッチング 紙	65.0×49.5
	LA PROPAGATION-8	1967年	エッチング 紙	64.8×50.0
	LA PROPAGATION-15	1967年	エッチング 紙	49.8×65.0
	LA PROPAGATION-Verte 2	1968年	エッチング 紙	65.0×49.8
	LA PROPAGATION-OS	1968年	エッチング 紙	65.0×49.8
	Le Nuage	1968年	エッチング 紙	65.0×49.8
	Chimney-6	1968年	ビュラン、アクアチント 紙	64.3×50.5
	LE RADAR	1968年	ビュラン、アクアチント 紙	75.5×55.5
	L' ANGLE	1968年	ビュラン、アクアチント 紙	75.2×56.0
	A L' AVENIR	1968年	ビュラン、アクアチント 紙	75.5×55.5
	Lamp Pink	1969年	シルクスクリーン 紙	78.0×57.0
	Neon-B	1969年	シルクスクリーン 紙	78.0×57.0
	LA PROPAGATION S-3-C	1970年	シルクスクリーン 紙	76.5×57.0
	In the Morning	1970年	シルクスクリーン 紙	55.5×43.8
	SUN RISE	1971年	シルクスクリーン 紙	65.3×50.0
	OBJECT-A	1971年	リトグラフ 紙	76.0×57.0
	OBJECT-B	1971年	リトグラフ 紙	76.0×57.0
	OBJECT-C	1971年	リトグラフ 紙	76.0×57.0
	A POSITION	1973年	シルクスクリーン 紙	78.0×57.0
	PROPAGATION-A DREAM	1973年	シルクスクリーン 紙	78.0×57.0
	PROPAGATION-73	1973年	シルクスクリーン 紙	78.0×57.0
	OBJECT-6	1973年	シルクスクリーン 紙	76.0×56.0
	OBJECT-8	1973年	シルクスクリーン 紙	76.0×56.0
	PROPAGATION A Blue Dream-A	1974年	シルクスクリーン 紙	78.0×57.0
	FLY-H	1974年	シルクスクリーン 紙	76.0×55.3
	FLY-C	1974年	シルクスクリーン 紙	76.0×56.0
	Suggestion 28	1974年	シルクスクリーン 紙	76.0×55.0
	OBJECT-36	1975年	シルクスクリーン 紙	55.5×76.0
	OBJECT-33	1975年	シルクスクリーン 紙	57.0×78.0
	OBJECT L-1	1976年	シルクスクリーン 紙	50.5×65.0

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
松谷武判	OBJECT-O	1976年	シルクスクリーン 紙	55.3×44.5
	OBJECT-F	1976年	シルクスクリーン 紙	78.0×57.0
	OBJECT-S.W.	1978年	シルクスクリーン 紙	78.0×56.0
木原康行	Ecale statique	1971年	エッチング 紙	49.6×39.2
	Ecale A	1972年	エッチング 紙	49.2×39.7
	Sixmographes	1972年	エッチング 紙	59.6×44.0
	Frontiere	1972年	エッチング 紙	39.0×60.0
	Ossature	1973年	エッチング 紙	57.4×47.0
	Metropolis	1973年	エッチング 紙	59.6×44.6
	Chaine d'ecale(カラー)	1975年	エングレーヴィング 紙	48.6×37.4
	Chaine d'ecale(モノクロ)	1975年	エングレーヴィング 紙	48.6×37.4
	Deplacement	1975年	エングレーヴィング 紙	54.6×44.2
	Consequence 3	1978年	エングレーヴィング 紙	26.7×21.0
	Consequence 8	1979年	エングレーヴィング 紙	21.0×26.7
	Consequence 10	1980年	エングレーヴィング 紙	26.7×20.9

展示室2

■徳島ゆかりの美術 3月22日[土]-6月15日[日]

一原有徳	TANb15 '75	1960年	銅版モノタイプ 紙	31.4×44.6 ^{*a}
	SON1	1960-75年	アルミニウム版モノタイプ 紙	40.2×60.0 ^{*b}
	Fr(b)	1961-82年	鉄板天然腐蝕 紙	45.7×39.5 ^{*b}
	DYU	1982年	アルミニウム版 紙	35.4×50.2 ^{*a}
伊原宇三郎	バリ風景	1926年頃	油彩 キャンバス	46.0×54.3
	エトルタ風景	1927年	油彩 キャンバス	97.2×130.2
	丘の風景	1958年	油彩 キャンバス	80.4×100.0
菊畑茂久馬	天動説	1981年	油彩 木、キャンバス	89.3×130.3
	ルーレット	1963年	エナメル系塗料、アッサンブラージュ 紙、木	118.3×25.8×12.0
	ルーレット	1963年	エナメル系塗料、アッサンブラージュ 木	107.0×35.0×21.0
日下八光	阿南の海	1927年	絹本着色	165.0×175.0 ^{*a}
広島晃甫	蓮	1939年	絹本着色	124.1×185.5 ^{*b}
三宅克己	箱根湯本附近の桜	不詳	水彩 紙	24.0×35.0 ^{*a}
	京都下加茂の雨	不詳	水彩 紙	33.8×45.8 ^{*b}
	倫敦市タワアブリッジ	1910年	水彩 紙	36.0×27.0 ^{*a}
	支那蘇州楓橋	大正頃	水彩 紙	53.0×74.0 ^{*a}

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
三宅克己	伊太利ヴェロナの古橋	1920年頃	水彩 紙	49.7×66.5 ^{*b}
	ベルギー風景	1910年	水彩 紙	50.5×38.5 ^{*b}
	オークの林	1927年頃	水彩、パステル 紙	26.5×36.0 ^{*b}
	北米加州サンデゴの公園	1928年	水彩 紙	32.2×49.0 ^{*a}
	パレルモの入江	1924年	水彩 紙	27.6×18.3 ^{*b}
	フランス風景		水彩 紙	38.0×27.0 ^{*a}
山下菊二	高松所見	1936年	油彩 キャンバス	65.0×80.5
	筑豊炭田地帯	1960年	油彩 合板	183.5×173.7
	少年祭に走る	1964年	油彩 獣毛 コラージュ	54.8×79.5
	死んだ人がわたしを産んでくれた(昭和40年7月27日母死す)	1966年	油彩 合板	88.2×173.5

■美術館ロビー 3月22日[土]-6月15日[日]

ジョナサン・ボロフスキー	スチール・ヘッド	1986年	鉄	265.5×315.0×29.2
柳原義達	人	1960年	ブロンズ	118.0×40.0×70.0
ヘンリー・ムーア	着衣の横たわる母と子	1983年	ブロンズ	138.5×265.5×147.0

■屋外展示場 3月22日[土]-6月15日[日]

淀井敏夫	渚	1987年	ブロンズ	164.0×50.0×120.0
フェルナンド・ボテロ	アダムとイヴ	1981年	ブロンズ	217.0×92.0×79.0
リン・チャドウィック	腰をかける人	1979-80年	ブロンズ	193.0×94.0×142.0
イサム・ノグチ	オドリコ	1984年	安山岩	121.0×65.0×30.0
ジョージ・シーガル	ベンチに座るサングラスの女	1983年	ブロンズ、その他	130.0×152.0×81.0

■彫刻の小径 3月22日[土]-6月15日[日]

森の風	田中昇	1990年	御影石	h.300.0
四国三郎	速水史朗	1990年	黒御影石	260.0×280.0×160.0
かけらたち(大地のなかま)	道北英治	1991年	花崗岩	252.0×363.0×200.0
四角い形D	山口牧生	1989年	黒御影石、ベンガラ	45.0×115.0×70.0

所蔵作品展 徳島のコレクション2008-Ⅲ

●会期

平成20年6月21日[土]-9月28日[日]

●休館日

月曜日

●視点

「20世紀の人間像」のコーナーでは、「人のシルエット」を中心に構成した。「徳島ゆかりの美術」のコーナーでは、石丸一と河井清一の作品を新収蔵作品を中心に特集展示した。

また、山下菊二、伊原宇三郎の新収蔵作品も展示した。「現代版画」のコーナーでは「それぞれの風景」で麻田浩、中林忠良、武蔵篤彦の作品を、「けったいな人々」では泉茂、浜田知明、元永定正の作品を、「女たち」では池田満寿夫、吉原英雄の作品をそれぞれ紹介した。

●観覧料

一般 200円(160円)

高・大生 100円(80円)

小・中生 50円(40円)

※()内は20名以上の団体料金。

●関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照

●印刷物

出品リスト:A3判二つ折りサイズ(仕上がりA4判) 4ページ

*その他の印刷物については、4-2-9「展覧会ごとの『子どもワークシート』作成」の項を参照。

●入館者数

4,102人

*8-4「入館者数」の項を参照。

●新聞・雑誌記事、放送番組

「徳島のコレクション2008-Ⅲ 新収蔵品など123点」『徳島新聞』 2008年6月21日(夕)

●担当学芸員

吉川神津夫、吉原美恵子

●出品リスト

会期中展示替えを行った。*aを付したものは8月3日[日]まで、*bを付したものは8月5日[火]以降に展示した。

展示室1

■徳島ゆかりの美術 特集:石丸一と河井清一 新収蔵作品を中心に 6月21日[土]-9月28日[日]

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
石丸一	母子像	1929年	油彩 キャンバス	146.0×112.0
	家族の肖像	1930年頃	油彩 キャンバス	193.9×130.3
	自画像	1952年	油彩 キャンバス	45.5×38.8
	藤村久代像	1959年頃	油彩 キャンバス	53.0×46.0
	北浜のころ	不詳	油彩 板	15.4×22.2
	シャーリー・テンプル	不詳	油彩 板	21.6×13.8
	雪景	不詳	油彩 板	33.0×22.8
	ヒラムラ・イレコウウフの家 細君	不詳	油彩 キャンバスボード	32.5×23.7
	水辺の景	不詳	油彩 板	33.0×23.4
河井清一	休み日	1928年	油彩 キャンバス	194.5×130.3
	バリ風景	1932年	油彩 キャンバスボード	27.0×21.5
	ルノアールの模写	1932年	油彩 キャンバス	53.1×45.5
	洩る、日	1933年	油彩 キャンバス	176.0×129.0
	休み日の朝	1955年	油彩 キャンバス	145.4×69.6
	夏の朝	1959年	油彩 キャンバス	145.4×69.7
	自画像	1975年頃	油彩 板	33.0×23.6
	ソファの女(仮称)	不詳	油彩 キャンバス	80.2×65.1
	風景	不詳	油彩 板	23.6×33.0

■20世紀の人間像 6月21日[土]-9月28日[日]

石原友明	UNTITLED	1986年	感光乳剤、アクリル、油彩 キャンバス、紙	240.0×250.0×250.0
井上三綱	女の横顔と静物	1962年	油彩 板	90.0×131.0
大島成己	Untitled (BLACK MAN)	1991年	シルクスクリーン、アクリル絵具 パネル 鉄	240.0×120.0×15.0
小山田二郎	夜	1961年	油彩 キャンバス	116.6×91.1
片岡球子	浮世絵師安藤広重	1981年	紙本着色	90.9×72.7 ^{*a}
下村観山	毘沙門天 弁財天	1911年	紙本着色	169.5×362.5 ^{*a}
千種掃雲	魚市場	1910年	絹本着色	85.2×144.9 ^{*b}
橋本閑雪	五柳先生	大正初期	絹本着色	159.5×351.0 ^{*b}
福嶋敬恭	SOUL	1987年	油彩 キャンバス	220.4×123.3
	SOUL	1987年	ブロンズ	192.0×80.0×36.0
藤松博	人・街	1962年	油彩 キャンバス	162.0×130.0
吉原治良	彫刻と花鳥	1931年	油彩 キャンバス	53.3×46.0

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
ホルスト・アンテス	青いカーテンのある頭部	1981-82年	アクリル絵具、木 板	181.5×188.9
イヴ・クライン	空気の建築;ANT 119	1961年	顔料、合成樹脂 紙、キャンバス	262.0×200.0
ホアン・ミロ	人物	1976年	ブロンズ	211.0×59.5×43.1
パブロ・ピカソ	赤い枕で眠る女	1932年	油彩 キャンバス	38.0×46.0

現代版画

■それぞれの風景 6月21日[土]-9月28日[日]

麻田浩	地	1977年	メゾチント、アクアチント、エッチング、ドライポイント 紙	40.0×49.5
	流れのほとり	1978年	メゾチント、アクアチント、エッチング、ドライポイント 紙	33.0×49.3
	石の風景	1979年	メゾチント、アクアチント、エッチング、ドライポイント 紙	39.6×39.6
	沈黙	1979年	メゾチント、アクアチント、エッチング、ドライポイント 紙	32.5×49.3
	時の浸食	1979年	メゾチント、アクアチント、エッチング、ドライポイント 紙	39.5×49.3
中林忠良	“白い部屋” より偽りの朝	1971年	エッチング、アクアチント 紙	52.0×42.3
	“白い部屋” より連なる風景又は地平線はるかに I	1971年	エッチング、アクアチント 紙	42.3×57.6
	剥離される風景 II	1972年	エッチング、メゾチント、アクアチント 紙	47.4×59.8
	剥離される風景 III	1972年	エッチング、メゾチント 紙	54.5×49.6
	囚われる風景 V	1973年	エッチング、アクアチント、メゾチント 紙	45.0×56.2
	囚われる風景 VIII	1973年	エッチング、アクアチント、メゾチント 紙	45.3×56.5
	囚われる日々 I	1974年	エッチング、メゾチント、アクアチント 紙	45.3×56.5
	囚われる日々 V	1974年	エッチング、アクアチント 紙	45.3×56.5
武蔵篤彦	CANBERRA #2	1992年	コラグラフ、凹版 紙	75.0×100.0

■けったいな人々 6月21日[土]-9月28日[日]

泉茂	なまけ族	1956年	リトグラフ 紙	55.7×37.6
	ベテン師	1956年	リトグラフ 紙	55.8×37.5
	大ばら吹き	1957年	リトグラフ 紙	48.0×39.5
	泡を喰った男	1957年	リトグラフ 紙	51.5×40.0
	ベーシスト	1957年	リトグラフ 紙	46.0×32.5
	ダンス	1960年	リトグラフ 紙	57.0×44.5
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉1. ややノイローゼ気味	1975年	エッチング、アクアチント 紙	22.4×14.5

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
浜田知明	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉2. 顔	1976年	エッチング、アクアチント 紙	22.0×15.2
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉3. お先真っ暗	1976年	エッチング、アクアチント 紙	23.4×12.1
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉4. かげ	1977年	エッチング、アクアチント 紙	21.7×15.3
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉5. 叫び	1975年	エッチング、アクアチント 紙	21.5×21.6
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉6. 心情不安定	1976年	エッチング、アクアチント 紙	21.8×16.1
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉7. 気にしない気にしない	1976年	エッチング、アクアチント 紙	23.6×14.6
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉8. 何とかなるさ	1976年	エッチング、アクアチント 紙	21.6×16.5
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉9. 浮上	1977年	エッチング、アクアチント 紙	22.2×18.1
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉10. 家族	1977年	エッチング、アクアチント 紙	19.4×16.0
元永定正	かわばた	1983年	シルクスクリーン 紙	46.0×66.0
	さとう	1983年	シルクスクリーン 紙	66.0×46.0
	ともなが	1983年	シルクスクリーン 紙	66.0×46.0
	ふくい	1983年	シルクスクリーン 紙	46.0×66.0
	ゆかわ	1983年	シルクスクリーン 紙	66.0×46.0

■女たち 6月21日[土]-9月28日[日]

池田満寿夫	同じ種類	1965年	ドライポイント、ルーレット、エッチング 紙	36.2×33.8
	虹を飲む女	1965年	ドライポイント、ルーレット、エッチング 紙	34.0×36.5
	ある種の関係	1966年	ドライポイント、ルーレット、エングレーヴィング 紙	45.5×41.0
	感傷旅行	1970年	エッチング、ルーレット、メゾチント、エングレーヴィング 紙	40.5×36.5
	版画集〈スフィンクスの肖像〉座せるスフィンクス	1970年	ドライポイント、ルーレット、メゾチント、エッチング 紙	29.5×26.0
	裸のエマ	1971年	メゾチント、エッチング、ドライポイント 紙	36.4×32.8
	版画集〈七つの大罪〉怠惰の罪	1972年	リトグラフ、メゾチント 紙	30.0×26.5
	版画集〈ヴィナス〉海辺のヴィナス	1975年	メゾチント 紙	30.2×40.5
吉原英雄	ヤング・レディ	1968年	リトグラフ、エッチング 紙	56.0×41.5
	シーソー 1	1968年	リトグラフ、エッチング 紙	100.0×100.0
	遠い海	1970年	リトグラフ 紙	67.0×50.5

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
吉原英雄	一人住まい	1970年	リトグラフ、エッチング 紙	96.0×80.0
	20歳の肖像	1979年	リトグラフ、エッチング 紙	41.5×33.0
	テーブルの上のオブジェ 1	1981年	エッチング 紙	59.8×44.8
	5本のチューリップ	1984年	エッチング 紙	60.5×91.0

展示室2

■徳島ゆかりの美術 6月21日[土]-9月28日[日]

一原五常	風景	1930年	油彩 キャンバス	117.0×91.2
市原義之	凝	1987年	紙本着色	197.9×197.9 ^{*a}
伊原宇三郎	汾河を護る(夜は不眠の警備)	1938年	油彩 キャンバス	132.5×101.5
	男女像	1939年	油彩 キャンバス	100.2×72.8
	ビルマ風景(仮題)	1942年頃	油彩 キャンバス	45.5×53.0
	ジャカルタ、プリオク港風景	1942年	油彩 キャンバス	41.0×52.8
	陰	1946年	油彩 キャンバス	90.0×116.0
菊畑茂久馬	天動説 四	1983年	油彩、蜜蝋、木 キャンバス	259.0×194.3
	天動説 十一	1985-87年	油彩、布、木、キャンバス	259.0×194.2
清原重以知	斜陽のダリヤ	1950年頃	油彩 キャンバス	80.5×100.1
	夕暮	1955年頃	油彩 キャンバス	80.0×100.4
藤島博文	標本室	1973年	紙本着色	145.0×85.0 ^{*b}
	真昼	1975年	紙本着色	143.2×82.9 ^{*b}
山下菊二	女	1938年	油彩 キャンバス	17.5×13.8
	裸婦	1939年	油彩 キャンバス	41.0×24.0
	台湾の娼婦A	1942年	色鉛筆 紙	24.0×18.1 ^{*a}
	台湾の娼婦B	1942年	色鉛筆 紙	24.0×17.8 ^{*b}
	戦中風景 死せる兵と少女	不詳	インク 紙	18.4×24.6 ^{*a}
	戦中風景 農民兵	不詳	インク 紙	12.4×24.6 ^{*a}
	戦中風景 少女	不詳	インク 紙	18.4×24.6 ^{*b}
	戦中風景 倒れた男	不詳	インク 紙	18.4×24.6 ^{*b}
	(表)兵士の顔A(仮称)／(裏)兵士の顔B(仮称)	1942年	(表)色鉛筆 紙／(裏)鉛筆 紙	14.6×20.6 ^{*a/*b}
	(表)眠る兵士A(仮称)／(裏)眠る兵士B(仮称)	不詳	(表)水彩、インク 紙／(裏)インク 紙	17.2×26.9 ^{*a/*b}
	眠る兵士C(仮称)	不詳	色鉛筆 紙	23.8×13.6 ^{*a}
	少女二人	不詳	色鉛筆 紙	18.5×21.9 ^{*a}

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
山下菊二	土木作業	不詳	色鉛筆 紙	15.5×19.9 ^{*b}
	農民と兵士	不詳	色鉛筆 紙	18.4×21.9 ^{*b}

■美術館ロビー 6月21日[土]-9月28日[月]

ジョナサン・ボロフスキー	スチール・ヘッド	1986年	鉄	265.5×315.0×29.2
アリストテード・マイヨール	着衣のボモナ	1921年	ブロンズ	181.0×61.0×48.0
ヘンリー・ムーア	着衣の横たわる母と子	1983年	ブロンズ	138.5×265.5×147.0

■屋外展示場 6月21日[土]-9月28日[日]

淀井敏夫	渚	1987年	ブロンズ	164.0×50.0×120.0
フェルナンド・ボテロ	アダムとイヴ	1981年	ブロンズ	217.0×92.0×79.0
リン・チャドウィック	腰をかける人	1979-80年	ブロンズ	193.0×94.0×142.0
イサム・ノグチ	オドリコ	1984年	安山岩	121.0×65.0×30.0
ジョージ・シーガル	ベンチに座るサングラスの女	1983年	ブロンズ、その他	130.0×152.0×81.0

■彫刻の小径 6月21日[土]-9月28日[日]

田中昇	森の風	1990年	御影石	h.300.0
速水史朗	四国三郎	1990年	黒御影石	260.0×280.0×160.0
道北英治	かけらたち(大地のなかま)	1991年	花崗岩	252.0×363.0×200.0
山口牧生	四角い形D	1989年	黒御影石、ベンガラ	45.0×115.0×70.0

所蔵作品展 徳島のコレクション2008-IV

●会期

平成20年10月4日[土]～平成21年1月18日[日]

●休館日

月曜日(10月13日、11月3日、11月24日、1月12日は開館)、
10月14日[火]、11月4日[火]、11月25日[火]、12月28日
[日]～1月4日[日]、1月13日[火]

●視点

「20世紀の人間像」のコーナーでは、アンディ・ウォーホル、
トム・ウェッセルマン、横尾忠則、岡本信治郎など、ポッ
プ・アートの作品にスポットを当てて展示を行った。

「現代版画」のコーナーでは、吹田文明の木版画、吉原英
雄の石版画、中林忠良の銅版画を3期に分けて展示した。

「徳島ゆかりの美術」のコーナーでは、本県出身の伊原宇
三郎、三宅克己、広島晃甫、山下菊二、市原義之などの
作品を展示した。

関連事業では、音楽や舞踏など、様々な分野の方の美術
へのアプローチの仕方を通じて、「わたくし流」の美術の
楽しみ方を提案する催し『美術を楽しむ・わたくし流』を
展示室内で開催した。今回は、「20世紀の人間像」の
コーナーの「特集:ポップ・アートってなーに!」ちなんで、リ
コーダーの演奏を行った。

●観覧料

一般 200円(160円)

高・大生 100円(80円)

小・中生 50円(40円)

※()内は20名以上の団体料金。

●関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

●印刷物

出品リスト:A3判二つ折りサイズ(仕上がりA4判)4ペー
ジ

「美術を楽しむ・わたくし流 庄野龍夫のリコーダー演奏」
チラシ:A4判 片面 簡易印刷

*その他の印刷物については、4-2-9「展覧会ごとの『子ど
もワークシート』作成」の項を参照。

●入館者数

5,698人

*8-4「入館者数」の項を参照。

●新聞・雑誌記事、放送番組

「所蔵作品124点展示」『徳島新聞』平成20年10月4

日(夕刊)

「ポップ・アートってなーに! 国内外の油彩や版画展
示」『毎日新聞』平成20年10月6日

●担当学芸員

仲田耕三、吉川神津夫

●出品リスト

会期中、展示替えを行った。寸法末尾に*aを付したも
のは11月30日[日]まで、*bを付したものは12月2日[火]
以降に展示した。(別添リスト)

展示室1

■20世紀の人間像 特集:ポップ・アートってなに！ 10月4日[土]-1月18日[日]

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
幾 嘸	Time to Fly	1970年	油彩 キャンバス	242.0×182.0
井原康雄	UNTITLED 2	1987年	アクリル系パテ、その他	122.9×118.4
	UNTITLED 3	1987年	アクリル系パテ、その他	128.7×99.6
宇佐美圭司	裸のランチ	1965年	油彩 キャンバス	185.2×270.8
瑛 九	陽気な人	1954年	油彩 キャンバス	60.6×72.7
大沢昌助	書きものをする娘	1957年	油彩 キャンバス	100.0×72.7
岡本信治郎	女優の死(マリリン・モンロー)	1964年	アクリル絵具 キャンバス	112.1×162.1
	ヴァン・ゴッホの像	1967年	アクリル絵具 キャンバス	162.1×130.3
	ミノトールの死	1974年	アクリル絵具 キャンバス	162.1×130.4
香月泰男	人と箱	1951年	油彩 キャンバス	73.0×116.9
児島善三郎	藤椅子に掛ける裸婦	1925-28年	油彩 キャンバス	91.0×116.6
里見勝蔵	女	1933年頃	油彩 キャンバス	100.0×72.7
高橋秀	W計画	1985年	アクリル絵具 キャンバス	200.0×300.0
林 武	婦人像	1937年	油彩 キャンバス	72.8×60.6
前田寛治	大工	1927年	油彩 キャンバス	116.7×90.9
村井正誠	緑と茶の人	1957年	油彩 キャンバス	145.5×112.4
横尾忠則	お堀	1966年	油彩 キャンバス	45.5×53.0
	よだれ	1966年	油彩 キャンバス	53.0×45.5
	カミソリ	1966年	油彩 キャンバス	53.0×45.5
	ZI-ON	1987年	油彩、布 キャンバス	100.0×72.7
	芸術の浄化	1990年	油彩 キャンバス	162.0×130.0
吉原英雄	テーブルの上のオブジェ	1982年	アクリル絵具、油彩 キャンバス	162.4×224.3
カレル・アペル	裸婦	1957年	油彩 キャンバス	129.3×194.4
ジャン・アルプ	ダンスの華麗さ	1960年	ブロンズ	121.2×74.2×10.5
アルベルト・ジャコメッティ	女性立像	1952年	ブロンズ	49.0×9.5×17.0
バーバラ・ヘップワース	トルソ I (ユリシーズ)	1958年	ブロンズ	h.131.0
パウル・クレー	子供と伯母	1937年	油彩 石膏、ジュート	72.0×53.0
フェルナン・レジェ	美しい自転車乗り	1944年	油彩 キャンバス	112.0×127.0
ロイ・リクテンスタイン	版画集〈11人のポップ・アーティストII〉4. 夢想	1965年	シルクスクリーン 紙	68.7×58.4 ^{*a}
	版画集〈11人のポップ・アーティストIII〉1. 「おやすみ、ベイビー！」	1965年	シルクスクリーン 紙	90.5×65.1 ^{*b}
ロバート・ロンゴ	無題	1988年	木炭、黒鉛 紙	243.8×152.4

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
ロバート・ロンゴ	無題	1988年	木炭、黒鉛 紙	243.8×152.4
ジュール・パスキン	下着の裸婦	1926年	油彩 キャンバス	92.0×73.0
パブロ・ピカソ	ドラ・マールの肖像	1937年	油彩 キャンバス	55.0×38.0
アンディ・ウォーホル	版画集〈11人のポップ・アーチストII〉5. ジャクリーン・ケネディ II	1965年	シルクスクリーン 紙	61.0×76.1 ^{*a}
	版画集〈11人のポップ・アーチストIII〉6. ジャクリーン・ケネディ III	1965年	シルクスクリーン 紙	101.5×76.2 ^{*b}
	多色による4つのマリリン	1979-86年	アクリル絵具、シルクスクリーン キャンバス	92.0×70.8
トム・ウェッセルマン	版画集〈11人のポップ・アーチストI〉1. カット＝アウト・ヌード	1965年	シルクスクリーン、吹込み成形ビニール 紙	50.8×61.0 ^{*a}
	版画集〈11人のポップ・アーチストII〉10. 裸婦	1965年	シルクスクリーン 紙	60.7×75.3 ^{*a}
	版画集〈11人のポップ・アーチストIII〉7. TV 静物	1965年	シルクスクリーン 紙	73.6×96.3 ^{*b}
	スモーカー	1976年	シルクスクリーン 紙	41.8×42.2 ^{*b}
	モニカと透明なカーテン	1987年	エナメル系塗料 アルミニウム	165.3×192.6

現代版画

■木版画 吹田文明 10月4日[土]-1月18日[日]

吹田文明	機械No.65	1957年	木版 水性絵具	45.2×60.5
	機械と群集の中より逃れる	1958年	木版、紙版 紙	60.5×72.2
	鳥と眼球体	1959年	木版、紙版 紙	61.3×45.5
	鬼火	1961年	木版 紙	45.5×91.5
	群生	1965年	木版 紙	90.4×61.2
	ボン	1966年	木版 紙	91.5×61.0
	雨のあと	1970年	木版 紙	90.5×60.5
	北国の王者(鳥)	1973年	木版 紙	90.0×61.0
	火の花(C)	1974年	木版 紙	92.0×61.0
	星を抱く(C)	1975年	木版 紙	91.0×61.0
	花咲く日NO.2	1979年	木版、紙版 紙	90.5×60.5
	2ツのリング	1980年	木版 紙	90.7×60.3
	雲と星	1986年	木版 紙	89.8×60.0
	明日は雨	1988年	木版 水性・油性絵具	60.0×88.2
	美し徳島	1992年	木版 紙	50.5×40.0

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
吹田文明	銀河を渡るB	1998年	木版 水性・油性絵具	60.0×87.5
	何処へ	2006年	木版 水性・油性絵具	60.0×90.0

■石版画 吉原英雄 10月4日[土]-1月18日[日]

吉原英雄	ひまわり	1956年	リトグラフ 紙	41.0×29.5
	きりきり舞い	1956年	リトグラフ 紙	39.0×28.0
	華	1956年	リトグラフ 紙	39.5×30.0
	潜水(赤)	1957年	リトグラフ 紙	41.5×55.5
	黒い花	1958年	リトグラフ 紙	39.0×49.5
	赤い花	1958年	リトグラフ 紙	52.0×43.5
	海のメルヘン	1959年	リトグラフ 紙	52.0×34.5
	TODAY	1960年	リトグラフ 紙	64.0×47.3
	さざめき(赤)	1961年	リトグラフ 紙	51.0×38.5
	リトグラフ・ブラック	1962年	リトグラフ 紙	58.0×44.0
	ターン・ダウン-B	1963年	リトグラフ 紙	42.5×45.5
	女	1969年	リトグラフ 紙	72.0×105.0
	ミラー・オブ・ミラー・K	1972年	リトグラフ 紙	70.0×100.0
	ミラー・オブ・ミラー、 ニューヨーク(パーティ)	1972年	リトグラフ 紙	70.0×53.0
	二つの地平A	1988年	リトグラフ 紙	220.0×125.0

■銅版画 中林忠良 10月4日[土]-1月18日[日]

中林忠良	根	1962年	エッチング、アクアチント 紙	36.0×32.6
	萌ゆる芽(カオスの中から)	1962年	エッチング、アクアチント 紙	27.6×36.3
	Nucleusよりの便り II	1964年	エッチング 紙	36.2×39.9
	Nucleusよりの便り IV	1964年	エッチング 紙	39.4×36.3
	1962-2 O氏の肖像の うち絆2	1969年	エッチング、ソフトグランド・エッ チング 紙	42.9×54.6
	1969-4 花の戴冠	1969年	エッチング、エンボス 紙	35.6×44.9
	"1969-6-1,2"	1969年	エッチング、アクアチント 紙	39.8×61.6
	1969-14 異端への傾斜1	1969年	エッチング、ソフトグランド・エッ チング、アクアチント 紙	42.4×57.6
	Position '77-1	1977年	エッチング、アクアチント 紙	44.8×56.5
	Position '77-9	1977年	エッチング、アクアチント 紙	49.6×49.6
	Position '77-10	1977年	エッチング、アクアチント 紙	49.6×49.6
	Position '78-1 枝	1978年	エッチング、アクアチント 紙	49.6×49.6

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
中林忠良	Transpositionー転位ー1	1979年	エッチング、アクアチント 紙	49.6×49.6
	Position '80・腐食II	1980年	エッチング、アクアチント 紙	44.8×65.4
	転位 '82ー地ー VI(夏)	1982年	エッチング、メゾチント 紙他	56.5×49.0
	転位 '83ー地ー VIII	1983年	エッチング 紙	56.5×49.2
	転位 '85ー地ー III	1985年	エッチング、アクアチント 紙	57.0×40.0
	転位 '86ー地ー II	1986年	エッチング、アクアチント 紙	62.5×50.5

展示室2

■徳島ゆかりの美術 10月4日[土]-1月18日[日]

市原義之	生棲早春	1992年	紙本着色	162.1×390.3 ^{*b}
	初夏渡航	1992年	紙本着色	162.1×390.3 ^{*a}
	温雅秋日	1992年	紙本着色	162.1×390.3 ^{*a}
	薄雪越冬	1992年	紙本着色	162.0×390.3 ^{*b}
伊原宇三郎	二人	1930年	油彩 キャンバス	162.4×145.7
	榻上二裸婦	1932年	油彩 キャンバス	162.5×215.2
広島晃甫	夕暮れの春	1920年	絹本着色	198.0×117.0 ^{*b}
	赤装女	1941年	絹本着色	165.0×105.0 ^{*a}
三宅克己	残雪	1922年	水彩、鉛筆 紙	66.0×100.0 ^{*b}
	ハンプステッド・ヒース (ロンドン)	1930年	水彩 紙	45.2×60.0 ^{*a}
	溪流(箱根底倉)	1941年	水彩 紙	68.0×101.0 ^{*a}
	信州田口雪景	1941年	水彩 紙	29.0×75.0 ^{*b}
山下菊二	わたしと鳥と音楽と (1)木偶人形芝居	1974年	油彩 キャンバスボード	44.5×65.2
	わたしと鳥と音楽と (2)恵比寿まわし	1974年	油彩 キャンバスボード	44.5×65.2
	わたしと鳥と音楽と (3)小学生～女学生た いじ	1974年	油彩 キャンバスボード	44.5×65.2
	わたしと鳥と音楽と (4)19歳～良子の家	1974年	油彩 キャンバスボード	44.5×65.2
	わたしと鳥と音楽と (5)昭和15年～南支戦線	1974年	油彩 キャンバス	44.5×65.2
	わたしと鳥と音楽と (6)娼家の胡弓ひき老人	1974年	油彩 キャンバスボード	44.5×65.2
	わたしと鳥と音楽と (7)サーカス小屋	1974年	油彩 キャンバス	44.5×65.2
	わたしと鳥と音楽と (8)病気のふくろうと御 詠歌	1974年	油彩 キャンバス	44.5×33.5

■美術館ロビー 10月4日[土]-1月18日[日]

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
流政之	サキモリ	1988年	ブロンズ	167.0×35.5×29.5
ジョナサン・ボロフスキー	スチール・ヘッド	1986年	鉄	265.5×315.0×29.2
ヘンリー・ムーア	着衣の横たわる母と子	1983年	ブロンズ	138.5×265.5×147.0

■屋外展示場 10月4日[土]-1月18日[日]

淀井敏夫	渚	1987年	ブロンズ	164.0×50.0×120.0
フェルナンド・ボテロ	アダムとイヴ	1981年	ブロンズ	217.0×92.0×79.0
リン・チャドウィック	腰をかける人	1979-80年	ブロンズ	193.0×94.0×142.0
イサム・ノグチ	オドリコ	1984年	安山岩	121.0×65.0×30.0
ジョージ・シーガル	ベンチに座るサングラスの女	1983年	ブロンズ、その他	130.0×152.0×81.0

■彫刻の小径 10月4日[土]-1月18日[日]

田中昇	森の風	1990年	御影石	h.300.0
速水史朗	四国三郎	1990年	黒御影石	260.0×280.0×160.0
道北英治	かけらたち(大地のなかま)	1991年	花崗岩	252.0×363.0×200.0
山口牧生	四角い形D	1989年	黒御影石、ベンガラ	45.0×115.0×70.0

所蔵作品展 徳島のコレクション2009- I

●会期

平成21年1月24日[土]-4月12日[日]

＊照明工事のため、展示室1は3月15日(日)まで展示し、3月17日より臨時閉室。展示室2「徳島ゆかりの美術」コーナーと展示室3の特集展示「生きているわたくし」、屋外展示場、ロビーなどは、4月12日まで展示。

●休館日

月曜日

●視点

「20世紀の人間像」のコーナーでは、抽象表現との関わりを、パウル・クレーやフェルナン・レジェらの作品を中心に展覧した。

展示室3にて、特集「生きているわたくし」と題し、野村仁、マリソル、アルフレッド・ジャーの作品などを展覧し、私たちの「いのちの旅」を辿るような展示をお見せした。

「現代版画」のコーナーでは、前期に「棟方志功、ベン・シャーンの版画集」を、後期に「マルク・シャガールの版画集」を通常より広い壁面を使って展覧した。

「徳島ゆかりの美術」のコーナーでは、三宅克己、広島晃甫、日下八光、伊原宇三郎などの作品の他に、徳島の風景や風物を描いた下保昭や川島猛の作品などを紹介した。

●観覧料

一般 200円(160円)

高・大生 100円(80円)

小・中生 50円(40円)

※()内は20名以上の団体料金。

●関連事業

＊4-1「美術館教育」の項を参照。

●印刷物

出品リスト:A3判二つ折りサイズ(仕上がりA4判) 4ページ

「美術を楽しむ・わたくし流 重松壮一郎 ピアノコンサート『いのちを見つめて』」チラシ:A4判 片面 簡易印刷

「美術を楽しむ・わたくし流 能楽『生きているわたくし』によせて」チラシ:A4判 片面 簡易印刷

＊その他の印刷物については、4-2-9「展覧会ごとの『子どもワークシート』作成」の項を参照。

●入館者数

2,083人(2009年3月31日まで)

＊8-4「入場者数」の項を参照

●新聞・雑誌記事、放送番組

「所蔵作品243点一堂に 県立近代美術館コレクション 展始まる」『徳島新聞』 平成21年1月24日(夕刊)

「県立近代美術館・特集 生きているわたくし『自身の存在を考える機会に』」『毎日新聞』 平成21年2月5日
「幻想的な世界版画に 県立近代美術館 シャガール展 始まる」『徳島新聞』 平成21年3月3日(夕刊)

●担当学芸員

仲田耕三、吉川神津夫、吉原美恵子

●出品リスト

今期中、展示替えを行った。＊aを付したものは3月1日(日)まで、＊bを付したものは3月3日(火)以降に展示した。

展示室1

■20世紀の人間像 1月24日[木]-3月15日[日]

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
池田龍雄	化物の系譜〈高利貸し〉	1955年	インク、パステル、水彩 紙	37.7×29.3 ^{*a}
	化物の系譜〈詩人の魂〉	1956年	インク、水彩 紙	37.4×28.7 ^{*a}
	大きな顔	1956年	インク、水彩 紙	37.5×29.5 ^{*a}
	楽士	1957-58年	インク、水彩 紙	41.1×30.4 ^{*a}
	風景	1958年	インク、水彩 紙	37.5×29.2 ^{*b}
	百仮面A	1962年	インク、パステル、水彩 紙	49.4×36.5 ^{*b}
	〈解体類考〉男シリーズ	1969年	インク、パステル、水彩 紙	41.3×32.8 ^{*b}
	〈解体類考〉女シリーズ	1969年	インク、パステル、水彩 紙	41.5×33.6 ^{*b}
上野泰郎	人間讃歌	1972年	紙本着色	229.0×280.0 ^{*a}
	地のむれ	1981年	紙本着色	144.0×188.6 ^{*a}
宇佐美圭司	メナム河畔に出現する水族館	1967年	油彩 キャンバス	185.4×270.3
川島猛	N.Y.-D.T.-10-1966	1965-66年	アクリル絵具 キャンバス	232.3×231.9 ^{*b}
川端健生	黄昏	1986年	紙本着色	170.0×280.0 ^{*b}
	宇曽利山湖	1995年	綿本着色	240.0×182.0
菅井汲	男と男	1983年	アクリル絵具、鉛筆、キャンバス	238.4×334.1
浜田知明	情報過多の人間	1984年	ブロンズ	33.0×13.0×11.0
	気になる正体	1985年	ブロンズ	21.8×28.3×17.8
吉野辰海	十字行	1986年	F. R. P.、ワックス、その他	h.201.0
ウィレム・デ・クーニング	頭No.3	1973年	ブロンズ	h.49.0
パウル・クレー	子供と伯母	1937年	油彩 石膏、ジュート	72.0×53.0
フェルナン・レジェ	美しい自転車乗り	1944年	油彩 キャンバス	112.0×127.0
マッタ	海と結ばれるカップル	1983年	油彩 キャンバス	67.4×47.4
	魂－孤独	1983年	油彩 キャンバス	66.5×46.9
	皮肉な友情	1983年	油彩 キャンバス	65.1×47.6
パブロ・ピカソ	赤い枕で眠る女	1932年	油彩 キャンバス	38.0×46.0
アンディ・ウォーホル	多色による4つのマリリン	1979-86年	アクリル絵具、シルクスクリーン キャンバス	92.0×70.8

現代版画

■棟方志功、ベン・シャーンの版画集 1月24日[木]-3月1日[日]

棟方志功	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵(不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵)〉 1. アンデレ 案出禮の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵(不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵)〉 2. ヨハネ 世跳の柵	1953年	木版 紙	87.5×34.0

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
棟方志功	版画集<耶蘇十二使徒板画<不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡>3. ペテロ 遍天呂の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0
	版画集<耶蘇十二使徒板画<不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡>4. タダイ 多駄伊の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0
	版画集<耶蘇十二使徒板画<不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡>5. フィリポ 邊梨保の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0
	版画集<耶蘇十二使徒板画<不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡>6. バルトロマイ 波流戸呂舞の柵	1953年	木版 紙	88.0×34.0
	版画集<耶蘇十二使徒板画<不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡>7. ヤコブ 也胡武の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0
	版画集<耶蘇十二使徒板画<不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡>8. マタイ 馬鯛の柵	1953年	木版 紙	87.0×33.0
	版画集<耶蘇十二使徒板画<不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡>9. アルバヨの子ヤコブ 或婆夜の子 屋仔舞の柵	1953年	木版 紙	88.0×33.5
	版画集<耶蘇十二使徒板画<不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡>10. トマス 登増の柵	1953年	木版 紙	87.0×33.5
	版画集<耶蘇十二使徒板画<不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡>11. シモン 指聞の柵	1953年	木版 紙	87.0×33.0
	版画集<耶蘇十二使徒板画<不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡>12. マフテヤ 摩手也の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0
ベン・シャーン	版画集<リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…>扉 1	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…>扉 2	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…>1. 多くの都市	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…>2. 多くの人々を	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…>3. 多くの事物を	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
ベン・シャーン	版画集<リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…>4. 禽獣を知らねばならぬ	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…>5. 飛ぶ鳥のすがた	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…>6. 小さな草花のたたずまい	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…>7. まだ知らぬ国々の道を	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…>8. 思いがけぬ解近	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…>9. 遠くから近づいてくるのが見える別離	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…>10. 少年の日の思い出を	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…>11. 心を悲しませてしまった両親を	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…>12. 少年時代の病気を	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…>13. 静かなしんとした部屋で	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…>14. 海辺の朝	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…>15. 海 そのものの姿	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…>16. 星くずとともに消え去った旅寝の夜々	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集<リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…>17. 愛にみちた多くの夜の回想	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
ベン・シャーン	版画集〈リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…〉18. 産婦の叫び	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…〉19. 白衣のなかに眠りに落ちて恢復を待つ産後の女	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…〉20. 死んでゆく人の枕もと	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…〉21. 死者の傍で	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…〉22. 一篇の詩の最初の言葉	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3

■マルク・シャガールの版画集 3月3日[火]-3月15日[日]

マルク・シャガール	版画集〈ダフニスとクロエ〉1. 扉絵	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉2. ラモンによるダフニスの発見	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉3. ドリュアスによるクロエの発見	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉4. ラモンとドリュアスの夢	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉5. 牧場の春	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉6. 狼のおとし穴	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉7. 泉のほとりのダフニスとクロエ	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉8. クロエの審判	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉9. クロエの接吻	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉10. ドルコンの計略	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉11. 真昼、夏	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉12. つばめ	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉13. ドルコンの死	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉14. ニンフたちの洞窟	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
マルク・シャガール	版画集〈ダフニスとクロエ〉 15.ぶどうの収穫	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 16.フィレタスの果樹園	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 17.フィレタスの教え	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 18.メデューサの若者たち	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 19.クロエの略奪	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 20.ダフニスの夢とニンフたち	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 21.ブリュクス司令官の夢	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 22.ニンフたちへの供物	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 23.牧神パンの饗宴	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 24.シュリンクスの伝説	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 25.冬	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 26.鳥追い	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 27.ドリュアス家の食事	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 28.春	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 29.ダフニスとリュカイニオン	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 30.こだま	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 31.夏の季節	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 32.死んだイルカと300エキュ	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 33.クロエ	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 34.果樹園	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 35.バッカスの社と物語	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 36.荒らされた草花	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 37.ダフニスとグナトン	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 38.ディオニュソファネスの到着	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
マルク・シャガール	版画集〈ダフニスとクロエ〉 39.クレアリステの手で 着付けをして髪を結っ てもらうクロエ	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×32.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 40.宴の間に娘をみつけ るメガクレス	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 41.ニンフたちの洞窟で の婚礼の宴	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0
	版画集〈ダフニスとクロエ〉 42.結婚	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0

展示室2

■徳島ゆかりの美術 1月24日[木]-4月12日[日]

幾 嘔	にじ・あわおどり	1990年	シルクスクリーン 紙	45.0×65.0 ^{*b}
池田満寿夫	徳島讃歌	1996年	リトグラフ 紙	49.7×37.0 ^{*b}
伊原宇三郎	肖像	1926年	油彩 キャンバス	47.0×38.0
	座れる裸婦	1926年	油彩 キャンバス	73.0×60.3
	窓からの港	1926年	油彩 キャンバス	60.6×73.0
	画室記念	1926-27年 頃	油彩 キャンバス	91.8×73.1
	白い壺のある静物	1927-28年	油彩 キャンバス	73.3×91.2
	白衣を纏える	1928年	油彩 キャンバス	100.6×81.4
下保昭	峡	1991-92年	紙本着色	97.0×162.1 ^{*a}
川島猛	阿波おどり	1983年	アクリル絵具 キャンバス	172.8×96.7
日下八光	野末	1937年	紙本着色	187.0×217.0 ^{*b}
	戦場ヶ原	1939年	紙本着色	174.0×190.0 ^{*a}
広島晃甫	春秋	1925年	絹本着色	168.0×163.0 ^{*b}
	竹梅図	昭和初期	紙本着色 屏風(二曲一双)	160.0×144.0 ^{*a}
三宅克己	風景	1893年	水彩 紙	21.0×30.0 ^{*a}
	切り通し	1894年	水彩 紙	32.3×23.6 ^{*b}
	冬の小川	1915年	水彩 紙	35.8×54.0 ^{*a}
	木の幹	1931年	水彩 紙	32.0×23.0 ^{*b}
	真鶴風景	1938年	水彩 紙	22.4×31.0 ^{*a}
	甲州桂川風景	1951年頃	水彩 紙	32.2×41.1 ^{*b}
	裾野の溪流	不詳	水彩 紙	33.5×45.5 ^{*a}
	箱根大平台	不詳	水彩 紙	33.0×45.5 ^{*a}
	カーニユ風景		水彩 紙	27.3×37.6 ^{*b}
	真鶴風景	不詳	水彩 紙	34.5×51.0 ^{*b}

展示室3

■特集:生きているわたくし 1月24日[土]-4月12日[日]

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
泉茂	逃げたスパード	1955年	油彩 キャンバス	100.1×80.4
大沢昌助	書きものをする娘	1957年	油彩 キャンバス	100.0×72.7
太田三郎	〈Post war 50私は誰ですか〉01. 閻 喜鳳 女性 安東省 第1次[昭和56年3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉02. 田 富 男性 三江省 第1次[昭和56年3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉03. 張 秀英 女性 奉天省 第2次[昭和57年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉04. 高 世復 男性 奉天省 第2次[昭和57年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉05. 呂 濟玲 女性 東安省 第3次[昭和58年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉06. 馬 文林 男性 浜江省 第3次[昭和58年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉07. 呉 桂蘭 女性 奉天省 第4次[昭和58年12月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉08. 張 学彦 男性 吉林省 第4次[昭和58年12月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉09. 張 桂雲 女性 牡丹江省 第5次[昭和59年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉10. 王 占山 男性 三江省 第5次[昭和59年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉11. 鄒 麗榮 女性 東安省 第6次[昭和59年11-12月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉12. 張 世良 男性 奉天省 第6次[昭和59年11-12月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉13. 張 喜玲 女性 吉林省 第7次[昭和60年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
太田三郎	〈Post war 50私は誰ですか〉14. 王 克印 男性 浜江省 第7次[昭和60年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉15. 王 秀蓮 女性 東安省 第8次[昭和60年9月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉16. 莊 立発 男性 奉天省 第8次[昭和60年9月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉17. 蘭 艶霞 女性 竜江省 第9次[昭和60年11-12月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉18. 張 長瑞 男性 竜江省 第9次[昭和60年11-12月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉19. 韓 来英 女性 竜江省 第10次[昭和61年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉20. 楊 金有 男性 牡丹江省 第10次[昭和61年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*a}
	〈Post war 50私は誰ですか〉21. 樊 淑珍 女性 竜江省 第11次[昭和61年6月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*b}
	〈Post war 50私は誰ですか〉22. 王 家林 男性 閩東州 第11次[昭和61年6月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*b}
	〈Post war 50私は誰ですか〉23. 周 玉坤 女性 竜江省 第12次[昭和61年9月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*b}
	〈Post war 50私は誰ですか〉24. 馬 長太 男性 浜江省 第12次[昭和61年9月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*b}
	〈Post war 50私は誰ですか〉25. 張 淑雲 女性 東安省 第13次[昭和61年10-11月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*b}
	〈Post war 50私は誰ですか〉26. 李 喜春 男性 牡丹江省 第13次[昭和61年10-11月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*b}
	〈Post war 50私は誰ですか〉27. 紀 淑賢 女性 東安省 第14次[昭和61年12月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*b}
	〈Post war 50私は誰ですか〉28. 賀 吉春 男性 三江省 第14次[昭和61年12月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 ^{*b}

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
太田三郎	〈Post war 50私は誰ですか〉29. 李 柱琴 女性 興安省 第15次[昭和61年12月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 *b
	〈Post war 50私は誰ですか〉30. 王 明遠 男性 吉林省 第16次[昭和62年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 *b
	〈Post war 50私は誰ですか〉31. 陳 秀華 女性 東安省 第16次[昭和62年11月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 *b
	〈Post war 50私は誰ですか〉32. 楊 立成 男性 竜江省 第16次[昭和62年11月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 *b
	〈Post war 50私は誰ですか〉33. 鄒 春榮 女性 奉天省 第17次[昭和63年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 *b
	〈Post war 50私は誰ですか〉34. 趙 立業 男性 奉天省 第17次[昭和63年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 *b
	〈Post war 50私は誰ですか〉35. 麻 玉蘭 女性 興安北省 第18次[昭和63年6-7月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 *b
	〈Post war 50私は誰ですか〉36. 王 祖君 男性 牡丹江省 第18次[昭和63年6-7月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 *b
	〈Post war 50私は誰ですか〉37. 徐 立君 女性 吉林省 第19次[平成元年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 *b
	〈Post war 50私は誰ですか〉38. 石 成玉 男性 三江省 第19次[平成元年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 *b
	〈Post war 50私は誰ですか〉39. 高 玉蘭 女性 吉林省 第20次[平成2年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 *b
	〈Post war 50私は誰ですか〉40. 張 禄海 男性 興安北省 第20次[平成2年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7 *b
片瀬和夫	ホームレス	1992年	ダンボールに黒色シルクスクリーン、青い蛍光灯、青いフィルター	100.0×200.0×90.0
工藤哲巳	遺伝染色体の雨の中で啓示を待つ	1979年	ミクスト・メディア	43.0×39.0×30.0
高松次郎	影の自画像	1964年	ラッカー キャンバス	65.1×53.2
太郎千恵蔵	251-G	1991年	衣服、ワックス、モーター付き台車	29.0×37.0×19.5
	232-B	1991年	衣服、ワックス、モーター付き台車	29.5×38.5×20.0

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
太郎千恵蔵	301-B	1991年	衣服、ワックス、モーター付き台車	27.5×33.0×45.0
	302-B	1991年	衣服、ワックス、モーター付き台車	30.0×35.5×42.5
	303-W	1991年	衣服、ワックス、モーター付き台車	27.0×34.0×44.0
	304-B	1991年	衣服、ワックス、モーター付き台車	30.0×45.5×31.0
	312-B	1991年	衣服、ワックス、モーター付き台車	28.5×34.0×42.0
	321-B	1991年	衣服、ワックス、モーター付き台車	30.0×37.0×42.5
	333-B	1991年	衣服、ワックス、モーター付き台車	28.0×37.0×42.5
野田哲也	日記1978年6月24日	1978年	木版、シルクスクリーン 紙	79.3×42.7 ^{*a}
	日記1978年8月11日	1978年	木版、シルクスクリーン 紙	79.0×42.7 ^{*b}
	日記1979年8月2日	1979年	木版、シルクスクリーン 紙	79.1×42.8 ^{*a}
	日記1980年2月2日	1980年	木版、シルクスクリーン 紙	79.0×42.7 ^{*b}
野村仁	二重螺旋:DNAの複製	1993年	ミクストメディア	193.0×90.0×45.0
福岡道雄	鳥になれるか	1984年	ブロンズ	26.5×14.5×9.7
	鮎になれるか	1984年	ブロンズ	11.0×24.0×26.0
	石になれるか	1984年	ブロンズ	14.0×21.0×15.0
舟越桂	渴きとスピード	1988年	木(楠)、大理石	83.0×55.0×33.0
松井憲作	絵画弾1	1977年	油彩 キャンバス	116.8×91.2
	絵画弾2	1977年	油彩 キャンバス	116.8×80.3
	絵画弾3	1977年	油彩 キャンバス	116.8×91.0
	絵画弾4	1977年	油彩 キャンバス	116.8×80.2
	絵画弾5	1977年	油彩 キャンバス	116.8×91.0
	絵画弾6	1977年	油彩 キャンバス	116.8×80.2
	絵画弾7	1977年	油彩 キャンバス	116.8×91.1
	絵画弾8	1977年	油彩 キャンバス	116.8×80.3
	絵画弾9	1977年	油彩 キャンバス	116.8×91.3
	絵画弾10	1977年	油彩 キャンバス	116.8×80.3
松谷武判	LA PROPAGATION-53-Red	1967年	エッチング、ビュラン 紙	65.0×50.0 ^{*a}
	LA PROPAGATION-NOIRE	1967年	ビュラン、アクアチント 紙	65.0×50.0 ^{*b}
宮崎豊治	眼下の庭	1993年	鉄、石、漆	230.0×116.5×91.0
村岡三郎	背	1957年	樹脂、鉄	90.0×60.0×40.0
柳原義達	人	1960年	ブロンズ	118.0×40.0×70.0
アンソニー・カロ	テーブル・ピース Y-90 “チェアパーソン”	1986-87年	錆びた銅、彩色、ワックス	104.0×71.0×63.5

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
アントニ・クラヴァエ	子供と魚	1951年	油彩 板	100.2×73.5
ジャン・デュビュッフェ	熱血漢	1955年	油彩 キャンバス	65.0×50.5
アルベルト・ジャコメッティ	女性立像	1952年	ブロンズ	49.0×9.5×17.0
ニッキー・ホバーマン	ミズスマシとゾウリムシ	1997年	油彩 キャンバス	244.0×152.0
アルフレッド・ジャール	シックス・セカンズ	2000年	ライトボックス(2個)、カラート ランスペアレンシー	188.0×127.0×12.7
アレックス・カツ	〈エイダ、4つの姿〉1	1979-80年	リトグラフ、シルクスクリーン 紙	76.2×57.2 ^{*a}
	〈エイダ、4つの姿〉2	1979-80年	リトグラフ、シルクスクリーン 紙	76.2×57.2 ^{*b}
	〈エイダ、4つの姿〉3	1979-80年	リトグラフ、シルクスクリーン 紙	76.2×57.2 ^{*a}
	〈エイダ、4つの姿〉4	1979-80年	リトグラフ、シルクスクリーン 紙	76.2×57.2 ^{*b}
ケーテ・コルヴィッツ	版画集〈7点組木版画集 戦争〉1. いけにえ	1922-23年	木版 紙	37.2×40.2 ^{*a}
	版画集〈7点組木版画集 戦争〉2. 志願兵たち	1921-23年	木版 紙	35.0×49.8 ^{*b}
	版画集〈7点組木版画集 戦争〉3. 両親	1923年	木版 紙	35.0×43.0 ^{*a}
	版画集〈7点組木版画集 戦争〉4. 寡婦I	1922-23年	木版 紙	37.2×23.3 ^{*a}
	版画集〈7点組木版画集 戦争〉5. 寡婦II	1922-23年	木版 紙	30.2×53.0 ^{*b}
	版画集〈7点組木版画集 戦争〉6. 母親たち	1922-23年	木版 紙	34.2×40.2 ^{*b}
	版画集〈7点組木版画集 戦争〉7. 民衆	1922-23年	木版 紙	36.2×30.1 ^{*a}
バーバラ・クルーガー	無題 (WE HAVE RECEIVED ORDERS NOT TO MOVE)	1982年	写真	180.0×120.0 ^{*a}
マリソル	ルイズ・ニーヴェルソンの 肖像	1981年	(本体)鉛筆、油彩 木、石膏 (背景)キャンバスに着色	137.2×183.5×198.1
ミンモ・パラディーノ	ものを言わぬ人	1985年	アクアチント、コラージュ 紙	156.9×87.5 ^{*b}
トーマス・ルフ	ポートレート (Andrea Knobloch)	1990年	プレキシグラスでマウントされた チバクロームプリント	210.0×165.0
ジョージ・シーガル	タイルの壁にもたれる 東 洋の女	1982年	紙	81.5×42.5×24.0
トーマス・シュトゥルツ	アムステルダム 国立博 物館1	1990年	タイプCプリント	119.5×168.5
ユン・ソクナム (尹錫男)	ベンチ	1992-2004 年	ミクストメディア	116.0×151.0×45.0

■美術館ロビー 1月24日[土]-4月12日[日]

秋山祐徳太子	バロック・ポップ・バロン	1990年	ブリキ	223.0×56.5×57.0
堀内正和	箱は空にかえってゆく	1966年	ブロンズ	86.0×36.0×36.0
ジョナサン・ボロフスキー	スチール・ヘッド	1986年	鉄	265.5×315.0×29.2
ヘンリー・ムーア	着衣の横たわる母と子	1983年	ブロンズ	138.5×265.5×147.0

■屋外展示場 1月24日[木]-4月12日[日]

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法 cm
淀井敏夫	渚	1987年	ブロンズ	164.0×50.0×120.0
フェルナンド・ボテロ	アダムとイヴ	1981年	ブロンズ	217.0×92.0×79.0
リン・チャドウィック	腰をかける人	1979-80年	ブロンズ	193.0×94.0×142.0
イサム・ノグチ	オドリコ	1984年	安山岩	121.0×65.0×30.0
ジョージ・シーガル	ベンチに座るサングラスの女	1983年	ブロンズ、その他	130.0×152.0×81.0

■彫刻の小径 1月24日[木]-4月12日[日]

田中昇	森の風	1990年	御影石	h.300.0
速水史朗	四国三郎	1990年	黒御影石	260.0×280.0×160.0
道北英治	かけらたち(大地のなかま)	1991年	花崗岩	252.0×363.0×200.0
山口牧生	四角い形D	1989年	黒御影石、ベンガラ	45.0×115.0×70.0

3-2 特別展 平成20年度特別展一覧

- 1 大正ロマン昭和モダン展
ー竹久夢二・高島華宵とその時代ー
平成20年4月26日[土]ー6月22日[日]
- 2 アメリカ版画の今-5つの工房から
平成20年7月19日[土]-8月31日[日]
- 3 未来に伝えたいー学芸員おすすめアート
平成20年9月13日[土]-10月13日[火]
- 4 京都画壇に咲いた夢
ー幸田春耕、暁冶父子と京都・徳島の日本画家たち
平成20年10月25日[土]ー12月7日[日]

大正ロマン昭和モダン展

ー竹久夢二・高島華宵とその時代ー

●会期

平成20年4月26日[土]-6月22日[日]

●休館日

月曜日(5月5日は開館)、5月7日[水]

●視点

大正から昭和初期にかけて、少年少女雑誌を中心に挿絵画家たちが活躍した絢爛なメディアアートが現れた。それらは大衆の大きな支持のもと独自の出版アートを生み、雑誌の表紙や挿絵に描かれた美少年や美少女たちの持つ甘美な感傷とモダンな華麗さは、当時の子供たちを始め、暗い世情にあえぐ大人たちにも夢を与えた。

本展は、大正から昭和初期に活躍した画家たちの幅広い活動に焦点をあて、時代の寵児として一世を風靡した竹久夢二と高島華宵を中心に、落谷虹児、中原淳一、岩田専太郎、伊藤深水など大正ロマン・昭和モダンを代表する作家の日本画、版画、挿絵原画から絵葉書や楽譜、装丁本などにより、大衆アートの時代を振り返るものである。

●主催

徳島県立近代美術館
徳島新聞社
四国放送

●後援

NHK 徳島放送局
エフエム 徳島

●監修

中右瑛(国際浮世絵学会常任理事)

●企画協力

E.M.I. ネットワーク

●観覧料

一般 600円(480円)

高・大生 450円(360円)

小・中生 300円(240円)

()内は前売り及び20名以上の団体料金。

●関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

●印刷物

ポスター:B2判
ちらし:A4版

図録:259×198mm 96ページ

*その他の印刷物については、4-2-9「展覧会ごとの『子どもワークシート』作成」の項を参照。

●入館者数

5,649人

*8-4「入館者数」の項を参照

●新聞、雑誌記事、放送番組等

・新聞/雑誌記事

「大衆アート 開花の時代 県立近代美術館特別展「大正ロマン昭和モダン展」」『徳島新聞』平成20年4月23日

「大正ロマン昭和モダン展」『毎日新聞』平成20年4月24日

「夢二が描いた大衆アート」『徳島新聞』(夕刊)平成20年4月26日

「大正ロマン昭和モダン展」『毎日新聞』平成20年4月27日

鳴潮 欄『徳島新聞』平成20年5月18日

藍がめ 欄『徳島新聞』平成20年6月3日

「ある美術展(「ちょっとええ話」)」『徳島新聞』(夕刊)平成20年6月7日

「日本画に豊かな人間愛見る(「読者の手紙」)」『徳島新聞』平成20年6月25日

ママージョの道 欄『ワイヤーママ徳島版』平成20年7月号

・放送

フォーカスとくしま 四国放送テレビ 平成20年5月16日
テレビミュージアム エーアイテレビ 平成20年5月18、19日

グッド・モーニング・サタデー FM 徳島 平成20年5月24日

●担当学芸員

安達一樹、友井伸一

● 出品リスト

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法cm(縦×横)	所蔵者
竹久夢二	舞妓	1914年頃-34年(大正3年頃-昭和9年)	紙本着色	26.5×23.5	個人蔵
	舞姫	1914年頃-34年(大正3年頃-昭和9年)	紙本着色 軸装	132.0×30.0	個人蔵
	春の灯や	1914年頃-34年(大正3年頃-昭和9年)	紙本着色	115.0×28.5	個人蔵
	雛まつり	1914年頃-34年(大正3年頃-昭和9年)	絹本着色 軸装	115.0×33.0	個人蔵
	春けき国へ	1914年頃-34年(大正3年頃-昭和9年)	絹本着色 軸装	108.0×41.0	個人蔵
	星まつり	1914年頃-34年(大正3年頃-昭和9年)	絹本着色 軸装	114.6×32.3	個人蔵
	ワイングラス	1914年頃-34年(大正3年頃-昭和9年)	絹本着色 軸装	117.2×35.3	個人蔵
	松原の女	1914年頃-34年(大正3年頃-昭和9年)	紙本着色 軸装	135.0×31.1	個人蔵
	さみだれや	1926年(大正15年)	紙本着色	126.0×31.0	個人蔵
	夏の宵	1914年頃-34年(大正3年頃-昭和9年)	紙本着色 軸装	138.0×34.0	個人蔵
	夏の女	1914年頃-34年(大正3年頃-昭和9年)	紙本着色 軸装	135.3×31.0	個人蔵
	自画像	大正末-1934年(大正末-昭和9年)	紙本着色	135.3×31.0	個人蔵
	化粧の女		絹本着色	114.0×35.0	個人蔵
	港屋絵草紙店	1914年(大正3年)	港屋版 木版 紙	32.0×23.0	個人蔵
	小春	1914年(大正3年)	木版 紙	30.0×12.0	個人蔵
	治兵衛	1914年(大正3年)	木版 紙	30.0×12.0	個人蔵
	化粧	1919年 頃(大正8年頃)	港屋版 木版 紙	32.0×23.0	個人蔵
	黒猫を抱く女	1919年頃(大正8年頃)	港屋版 木版 紙	32.0×19.0	個人蔵
	ボガボガ・ベルラ「セノオ楽譜」	1916-29年(大正5-昭和4年)	オフセット版画 紙	31.0×22.0	個人蔵
	陽気な鍛冶屋「セノオ楽譜」	1916-29年(大正5-昭和4年)	オフセット版画 紙	31.0×22.0	個人蔵
	サラオー頌歌「セノオ楽譜」	1916-29年(大正5-昭和4年)	オフセット版画 紙	31.0×22.0	個人蔵
	暮れて行く「セノオ楽譜」	1916-29年(大正5-昭和4年)	オフセット版画 紙	31.0×22.0	個人蔵

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法cm(縦×横)	所蔵者
竹久夢二	桜町「セノオ楽譜」	191629年(大正5-昭和4年)	オフセット版画 紙	31.0×22.0	個人蔵
	可愛や胡蝶「セノオ楽譜」	191629年(大正5-昭和4年)	オフセット版画 紙	31.0×22.0	個人蔵
	我家の唄「セノオ楽譜」	191629年(大正5-昭和4年)	オフセット版画 紙	31.0×22.0	個人蔵
	鐘「セノオ楽譜」	191629年(大正5-昭和4年)	オフセット版画 紙	31.0×22.0	個人蔵
	我を偲び給へ「セノオ楽譜」	191629年(大正5-昭和4年)	オフセット版画 紙	31.0×22.0	個人蔵
	さらば我世の幸福よ「セノオ楽譜」	191629年(大正5-昭和4年)	オフセット版画 紙	31.0×22.0	個人蔵
	星合「婦人グラフ」の挿絵	1924年7月号 (大正13年7月号)	木版(機械刷)	30.5×21.0	個人蔵
	花火「婦人グラフ」の表紙絵	1924年8月号 (大正13年8月号)	木版(機械刷) 雑誌	32.5×24.5	個人蔵
	勇敢な恋人「婦人グラフ」の挿絵	1924年8月号 (大正13年8月号)	木版(機械刷) 紙	30.5×21.0	個人蔵
	秋「婦人グラフ」の表紙絵	1924年9月号 (大正13年9月号)	木版(機械刷) 紙	32.5×24.5	個人蔵
	童話「婦人グラフ」の挿絵	1924年9月号 (大正13年9月号)	木版(機械刷) 紙	30.5×21.0	個人蔵
	化粧の秋「婦人グラフ」の表紙絵	1924年10月号 (大正13年10月号)	木版(機械刷) 紙	18.5×19.5	個人蔵
	麻利耶観音「婦人グラフ」の挿絵	1924年11月号 (大正13年11月号)	木版(機械刷) 紙	32.5×24.5	個人蔵
	秋のしらべ「婦人グラフ」の表紙絵	1924年11月号 (大正13年11月号)	木版(機械刷) 紙	32.5×24.5	個人蔵
	寝椅子「婦人グラフ」の挿絵	1924年11月号 (大正13年11月号)	木版(機械刷) 紙	30.5×21.0	個人蔵
	1926年春「婦人グラフ」の表紙絵	1926年1月号 (大正15年1月号)	木版(機械刷) 雑誌	32.5×24.5	個人蔵
	如月の傳説「婦人グラフ」の表紙絵	1926年2月号 (大正15年2月号)	木版(機械刷) 雑誌	32.5×24.5	個人蔵
	APL FOOL「婦人グラフ」の表紙絵	1926年4月号 (大正15年4月号)	木版(機械刷) 雑誌	32.5×24.5	個人蔵
	雪の夜の伝説「婦人グラフ」の口絵	1926年12月号 (大正15年12月号)	木版(機械刷) 紙	32.5×24.5	個人蔵
	素描(手帳より)	1918年頃(大正7年頃)	鉛筆 紙	13.0×17.7	個人蔵
	素描(手帳より)	1918年頃(大正7年頃)	鉛筆 紙	13.0×17.7	個人蔵
	素描(手帳より)	1918年頃(大正7年頃)	鉛筆 紙	13.0×17.7	個人蔵

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法cm(縦×横)	所蔵者
竹久夢二	素描(手帳より)	1918年頃(大正7年頃)	鉛筆 紙	17.7×13.0	個人蔵
	素描(手帳より)	1918年頃(大正7年頃)	鉛筆 紙	17.7×13.0	個人蔵
	素描(手帳より)	1918年頃(大正7年頃)	鉛筆 紙	17.7×13.0	個人蔵
	素描(手帳より)	1918年頃(大正7年頃)	鉛筆 紙	13.0×17.7	個人蔵
	素描(手帳より)	1918年頃(大正7年頃)	鉛筆 紙	13.0×17.7	個人蔵
	素描(手帳より)	1918年頃(大正7年頃)	鉛筆 紙	13.0×17.7	個人蔵
	素描(手帳より)	1918年頃(大正7年頃)	鉛筆 紙	13.0×17.7	個人蔵
	「関東大震災」都新聞掲載の挿絵(原画)	1923年(大正12年)	紙	16.5×19.7	個人蔵
	「関東大震災」都新聞掲載の挿絵(原画)	1923年(大正12年)	紙	17.5×20.0	個人蔵
	朝顔(原画)		紙	24.0×15.0	個人蔵
	著作本「三味線草」カバー付	1915年(大正4年)	書籍	17.0×11.5	個人蔵
	吉井勇著「祇園双紙」の装丁カバー付	1917年(大正6年)	書籍	16.0×11.5	個人蔵
	著作本「恋愛秘語」	1924年(大正13年)	書籍	19.5×13.5	個人蔵
	著作本「童謡の本・風」カバー付	1926年(大正15年)	書籍	21.0×16.0	個人蔵
	著作本「露台薄暮」カバー付	1928年(昭和3年)	書籍	19.5×14.0	個人蔵
	文芸雑誌「若草」の装丁	1926年5月号(大正15年5月号)	雑誌	22.0×15.0	個人蔵
	文芸雑誌「若草」の装丁	1929年7月号(昭和4年7月号)	雑誌	22.0×15.0	個人蔵
	文芸雑誌「若草」の装丁	1929年8月号(昭和4年8月号)	雑誌	22.0×15.0	個人蔵
	文芸雑誌「若草」の装丁	1930年7月号(昭和5年7月号)	雑誌	22.0×15.0	個人蔵
	文芸雑誌「若草」の装丁	1930年11月号(昭和5年11月号)	雑誌	22.0×15.0	個人蔵
高島華宵	絵葉書	1910-20年頃(明治43-大正9年頃)	葉書(20枚)	14.8×10.0	個人蔵
	「少女十二ヵ月双六」少女倶楽部の付録	1928年1月号(昭和3年1月号)	印刷	14.8×10.0	個人蔵
高島華宵	花吹雪舞妓	1931-55年(昭和6年頃-昭和30年頃)	水彩	23.0×35.0	個人蔵
	ほたる籠	1931-55年(昭和6年頃-昭和30年頃)	水彩	23.0×35.0	個人蔵

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法cm(縦×横)	所蔵者
高畠華宵	あじさい娘	1931-55年 (昭和6年頃- 昭和30年頃)	絹本着色 軸装	123.8×40.6	個人蔵
	梅下女性図	1931-55年 (昭和6年頃- 昭和30年頃)	絹本着色 軸装	94.4×27.5	個人蔵
	八幡太郎義家	1931-55年 (昭和6年頃- 昭和30年頃)	絹本着色 軸装	120.8×34.2	個人蔵
	白拍子	1931-55年 (昭和6年頃- 昭和30年頃)	紙本着色 軸装	134.4×32.6	個人蔵
	祇園夜桜	1931-55年 (昭和6年頃- 昭和30年頃)	絹本着色 軸装	101.4×40.4	個人蔵
	正月の羽根	1931-55年 (昭和6年頃- 昭和30年頃)	水彩	23.0×35.0	個人蔵
	正月(羽根つき)	1931-55年 (昭和6年頃- 昭和30年頃)	水彩	26.5×24.0	個人蔵
	シュールベルト	1931-55年 (昭和6年頃- 昭和30年頃)	水彩	75.5×61.0	個人蔵
	南国の唄(原画)	1901- 大正期 (明治34年頃- 大正期)	水彩	23.0×17.0	個人蔵
	花をいだいて(鈴蘭)(原画)		水彩	20.5×17.2	個人蔵
	京舞妓(柳)(原画)		水彩	22.5×18.5	個人蔵
	カナリアと娘(原画)	1901- 大正期 (明治34年頃- 大正期)	水彩	22.0×11.5	個人蔵
	娘(芙蓉)(原画)		水彩	20.5×18.2	個人蔵
	娘二十まで「婦女界」の挿絵(原画)	1926年頃(大正15年頃)	インク 紙	12.0×12.0	個人蔵
	娘二十まで「婦女界」の挿絵(原画)	1926年頃(大正15年頃)	インク 紙	12.0×12.0	個人蔵
	娘二十まで「婦女界」の挿絵(原画)	1926年頃(大正15年頃)	インク 紙	12.0×12.0	個人蔵
	娘二十まで「婦女界」の挿絵(原画)	1926年頃(大正15年頃)	インク 紙	11.0×11.0	個人蔵
	妻は何処に「婦女界」の挿絵(原画)	1926年(大正15年)	インク 紙	12.0×12.0	個人蔵
	「七転八起開運出世双六」「講談倶楽部」の付録	1924年1月号 (大正13年1月号)	印刷	55.0×79.0	個人蔵
	「武運を祈りて」「恤兵」の付録	1932年(昭和7年)	葉書	14.8×10.0	個人蔵
	華宵浴衣絵葉書・夕空	昭和初期	葉書	14.8×10.0	個人蔵
橘小夢	刺青	1923年(大正12年)	版画 紙	30.0×18.0	個人蔵
	水魔	1932年(昭和7年)	版画 紙	32.0×21.0	個人蔵

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法cm(縦×横)	所蔵者
橘小夢	唐人お吉	1933年(昭和8年)	木版 紙	32.3×21.0	個人蔵
	お蝶夫人	1934年(昭和9年)	木版 紙	32.3×21.0	個人蔵
	タカラジェンヌ	昭和期	木版 紙	24.0×18.0	個人蔵
	タカラジェンヌ	昭和期	木版 紙	23.5×18.0	個人蔵
	楽屋化粧		絹本着色	65.2×57.2	個人蔵
	お姫様		絹本着色	43.5×43.5	個人蔵
	お小姓		絹本着色	43.5×43.5	個人蔵
露谷虹児	少女	大正末- 昭和期	紙本着色	40.0×31.0	個人蔵
	花嫁人形		鉛筆 墨 彩色 紙	26.5×24.0	個人蔵
	雪うさぎ		鉛筆 墨 彩色 紙	26.5×24.0	個人蔵
	少女		墨 彩色 紙	33.0×24.0	個人蔵
	お留守居「令女界」の表紙絵(原画)	1922年第1巻8号11月号(大正11年第1巻8号11月号)	水彩	21.5×14.9	個人蔵
	「童幼の国」の表紙絵(原画)	大正末- 昭和期	水彩	33.5×23.8	個人蔵
	女人伴天連第二話 おん主の嘆き「婦人グラフ」の挿絵	1924年7月号(大正13年7月号)	木版 紙	13.5×18.0	個人蔵
	山上「婦人グラフ」の挿絵	1924年7月号(大正13年7月号)	木版 紙	17.0×9.5	個人蔵
	「姉妹仲よし双六」「少女画報」の付録	1922年1月号(大正11年1月号)	印刷	71.5×52.0	個人蔵
	「令女界」の表紙絵	1934年8月号(昭和9年8月号)	雑誌	22.5×15.0	個人蔵
	「令女界」の表紙絵	1934年9月号(昭和9年9月号)	雑誌	22.5×15.0	個人蔵
	「令女界」の表紙絵	1934年12月号(昭和9年12月号)	雑誌	22.5×15.0	個人蔵
	「令女界」の表紙絵	1935年2月号(昭和10年2月号)	雑誌	22.5×15.0	個人蔵
	「令女界」の表紙絵	1936年6月号(昭和11年6月号)	雑誌	22.5×15.0	個人蔵
	絵葉書	大正末- 昭和期	葉書(16枚)	14.8×10.0	個人蔵
	「ビゼー アルルの女」のビクターレコードジャケット絵	大正末- 昭和期	ジャケット	31.5×34.5	個人蔵
中原淳一	あしながおじさん「ジュニアそれいゆ」(原画)	1954年(昭和29年)	水彩	27.5×16.7	個人蔵
	最後の葉「ジュニアそれいゆ」(原画)	1954年(昭和29年)	インク 紙	21.3×24.2	個人蔵

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法cm(縦×横)	所蔵者
中原淳一	イノック・アーデン挿絵「ジュニア それいゆ」(原画)	1954年(昭和29年)	インク 紙	14.0×13.0	個人蔵
	サイン色紙	1956年(昭和31年)	インク 紙	26.2×19.0	個人蔵
	サイン色紙(横顔の図)	1956年(昭和31年)	インク 紙	26.2×19.0	個人蔵
	挿絵	昭和期	インク 色鉛筆 紙	26.7×17.5	個人蔵
	挿絵	昭和期	インク 紙	26.7×17.5	個人蔵
	娘十二ヶ月 1月	1939年頃(昭和14年頃)	木版 紙	20.5×16.0	個人蔵
	娘十二ヶ月 2月	1939年頃(昭和14年頃)	木版 紙	20.5×16.0	個人蔵
	娘十二ヶ月 3月	1939年頃(昭和14年頃)	木版 紙	20.5×16.0	個人蔵
	娘十二ヶ月 4月	1939年頃(昭和14年頃)	木版 紙	20.5×16.0	個人蔵
	娘十二ヶ月 5月	1939年頃(昭和14年頃)	木版 紙	20.5×16.0	個人蔵
	娘十二ヶ月 6月	1939年頃(昭和14年頃)	木版 紙	20.5×16.0	個人蔵
	娘十二ヶ月 7月	1939年頃(昭和14年頃)	木版 紙	20.5×16.0	個人蔵
	娘十二ヶ月 9月	1939年頃(昭和14年頃)	木版 紙	20.5×16.0	個人蔵
	娘十二ヶ月 10月	1939年頃(昭和14年頃)	木版 紙	20.5×16.0	個人蔵
	娘十二ヶ月 11月	1939年頃(昭和14年頃)	木版 紙	20.5×16.0	個人蔵
	娘十二ヶ月 12月	1939年頃(昭和14年頃)	木版 紙	20.5×16.0	個人蔵
	便箋「野薔薇」の表紙	1938年頃(昭和13年頃)	印刷	25.5×21.5	個人蔵
	トランプ「ランドゲーム」 ケース 付	1940年頃(昭和15年頃)	印刷 カード	9.0×2.3	個人蔵
	「少女の友」の表紙絵	1939年頃(昭和14年頃)	雑誌(12冊)	22.0×15.0	個人蔵
	「それいゆ」の表紙	1954年(昭和29年春号)	雑誌	18.5×21.0	個人蔵
	「それいゆ」の表紙	1954年(昭和29年冬号)	雑誌	18.5×21.0	個人蔵
	「それいゆ」の表紙	1954年(昭和29年秋号)	雑誌	18.5×21.0	個人蔵
	絵葉書	昭和期	葉書(5枚)	14.8×10.0	個人蔵
岩田専太郎	吹雪の女	昭和期	水彩	36.5×44.0	個人蔵
	近代美人	昭和期	水彩	26.2×19.0	個人蔵
	昭和美人図	昭和期	水彩 紙 木	28.5×14.0	個人蔵
	「苦楽」の挿絵(原画)	大正末- 昭和期	インク 紙	24.5×15.7	個人蔵
	大佛次郎著「天狗廻状」の挿絵 (原画)	1932年(昭和7年)	墨 紙	22.5×31.0	個人蔵
	「講談の泉」の表紙絵(原画)	1949年3月(昭和24年3月)	水彩	21.5×21.3	個人蔵

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法cm(縦×横)	所蔵者
岩田専太郎	小島政二郎著「甘肌」ポスターの原画	1954年頃(昭和29年頃)	水彩	37.4×42.2	個人蔵
	小島政二郎著「甘肌」ポスター	1954年(昭和29年)	印刷	30.7×48.0	個人蔵
	司馬遼太郎著「龍馬がゆく」の挿絵 産経新聞夕刊(原画)	1962年6月(昭和37年6月)	墨 鉛筆 紙	19.8×30.2	個人蔵
	大佛次郎著「赤穂浪士」の装丁	1929年9月(昭和4年9月)	書籍(3冊)	19.5×13.0	個人蔵
	「慰問袋」絵葉書	昭和期	葉書	14.8×10.0	個人蔵
松本かつぢ	ばらの少女(原画)	1945-55年頃(昭和20-30年代頃)	水彩	23.0×16.0	個人蔵
	みずうみのほとり(原画)	1945-55年頃(昭和20-30年代頃)	水彩	28.0×24.5	個人蔵
	アリゾナの緋薔薇「少女の友」の挿絵	1950年12月号(昭和25年12月号)	インク 紙	27.0×37.0	個人蔵
	アリゾナの緋薔薇「少女の友」の挿絵	1950-51年	インク 紙	27.0×37.1	個人蔵
	アリゾナの緋薔薇「少女の友」の挿絵	1952年7月号(昭和27年7月号)	インク 紙	27.0×37.2	個人蔵
鎗木清方	茶屋娘	大正期-1972年(大正期-昭和47年)	絹本着色 軸装	100.0×26.0	個人蔵
	唐人お吉	1936年(昭和11年)	紙本着色 軸装	63.0×73.5	個人蔵
	おさん「近松全集挿絵版画集」	1923年(大正12年)	木版 紙	46.0×29.5	個人蔵
	モダン美女	昭和期	版画 紙	30.0×20.0	個人蔵
伊東深水	蚊帳美人図	大正末期-1972年(大正末期-昭和47年)	絹本着色 軸装	112.3×26.8	個人蔵
	新美人十二姿 おしろい	1923年(大正12年)	木版 紙	39.0×24.0	個人蔵
	昭和美人風俗 浅春	1931年(昭和6年)	木版 紙	35.0×23.0	個人蔵
北野恒富	鷺娘	大正期	紙本着色 軸装	117.0×34.2	個人蔵
	鷺娘	1925年(大正14年)	木版 紙	54.5×36.3	個人蔵
小早川清	唐人お吉	大正期-1948年(大正期-昭和23年)	絹本着色 軸装	43.5×52.0	個人蔵
	ささやき	大正期-1948年(大正期-昭和23年)	絹本着色 軸装	130.0×42.5	個人蔵
	水谷八重子像	大正期-1948年(大正期-昭和23年)	絹本着色	54.0×32.0	個人蔵
	唐人お吉	大正期-1948年(大正期-昭和23年)	木版 紙	44.0×33.5	個人蔵

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法cm(縦×横)	所蔵者
小早川清	近代時世粧ノ内 一 ほろ酔ひ	1930年(昭和5年)	木版 紙	43.5×27.5	個人蔵
	近代時世粧ノ内 六 口紅	1930年(昭和5年)	木版 紙	48.5×27.5	個人蔵
山本鼎	漁夫「明星」の挿絵	1904年(明治37年)	木版 紙	16.0×11.0	個人蔵
恩地孝四郎	ヌード	1946年(昭和21年)	木版 紙	24.0×37.5	個人蔵
池田輝方	汐干狩二美人図	明治期-1921年(明治期-大正10年)	絹本着色 軸装	24.0×37.5	個人蔵
池田蕉園	七夕	明治期-1917年(明治期-大正6年)	絹本着色 軸装	113.1×41.0	個人蔵
伊藤晴雨	浴後の涼み	大正期-1961年(大正期-昭和36年)	絹本着色 軸装	122.0×40.5	個人蔵
伊藤小坡	船あそび	大正期-1968年(大正期-昭和43年)	絹本着色 軸装	131.0×42.5	個人蔵
島成園	夏の女	大正期-1970年(大正期-昭和45年)	絹本着色 軸装	105.0×36.0	個人蔵
木谷千種	湯あがり	昭和期	絹本着色 軸装	40.0×46.0	個人蔵
岡本一平	創作中の漱石先生	明治期-1948年(明治期-昭和23年)	紙本着色	13.0×36.0	個人蔵
橋口五葉	化粧	1918年(大正7年)	木版 紙	55.7×39.5	個人蔵
戸張孤雁	温泉宿	1919年頃(大正7年頃)	木版 紙	48.5×35.0	個人蔵
高橋弘明	ヌード	1928年頃(昭和3年)	木版 紙	53.5×37.7	個人蔵
鳥居言人	朝寝髪	1930年頃(昭和5年頃)	木版 紙	39.0×24.0	個人蔵
瀧秋方	近代麗人画譜・港街の日本娘	1936年(昭和11年)	木版 紙	38.5×27.0	個人蔵
石川寅治	踊り	明治末-1974年(明治末-昭和49年)	木版 紙	49.0×37.5	個人蔵
東郷青児	モダン娘	大正期-1978年(大正期-昭和53年)	木版 紙	43.0×33.0	個人蔵
大倉九節	高橋掬太郎著「花かんざし」の装丁	1946年(昭和21年)	書籍	25.0×19.0	個人蔵
	高橋掬太郎著「花かんざし」	1946年(昭和21年)	木版 紙	21.0×14.5	個人蔵
	高橋掬太郎著「花かんざし」	1946年(昭和21年)	木版 紙	21.0×14.5	個人蔵
	高橋掬太郎著「花かんざし」	1946年(昭和21年)	木版 紙	21.0×14.5	個人蔵
	高橋掬太郎著「花かんざし」	1946年(昭和21年)	木版 紙	21.0×14.5	個人蔵
	高橋掬太郎著「花かんざし」	1946年(昭和21年)	木版 紙	21.0×14.5	個人蔵

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法cm(縦×横)	所蔵者
山村耕花	犬を連れた洋装婦人	明治末-1942年(明治末-昭和17年)	紙本着色	147.5×30.5	個人蔵
	踊り	1924年(大正13年)	木版 紙	39.5×27.0	個人蔵
	「京洛異変」の挿絵(原画)	明治末-1942年(明治末-昭和17年)	墨 鉛筆 紙	19.5×30.5	個人蔵
小村雪岱	「両国」の挿絵(原画)	大正-1940年(大正-昭和15年)	墨 鉛筆 紙	16.0×10.5	個人蔵
	お傳地獄	1938年頃(昭和13年頃)	木版 紙	25.0×50.5	個人蔵
	夜雨	1938年頃(昭和13年頃)	印刷	25.5×39.0	個人蔵
	邦枝完二著「お傳地獄」の装丁カバー付	1936年(昭和11年)	書籍	19.5×14.5	個人蔵
	邦枝完二著「浮名三味線 色娘おせん」の装丁カバー付	1936年(昭和11年)	書籍	19.5×14.5	個人蔵
川西英	サロメ	1928年頃-1965年(昭和3年頃-昭和40年)	水彩	117.4×31.0	個人蔵
	楽器を持つ女	1928年頃-1965年(昭和3年頃-昭和40年)	水彩	123.4×30.4	個人蔵
	美人画	1928年頃-1965年(昭和3年頃-昭和40年)	水彩	24.0×23.0	個人蔵
	美人画	1928年頃-1965年(昭和3年頃-昭和40年)	水彩	24.0×23.0	個人蔵
	美人画	1928年頃-1965年(昭和3年頃-昭和40年)	水彩	24.0×23.0	個人蔵
	美人画	1928年頃-1965年(昭和3年頃-昭和40年)	水彩	24.0×23.0	個人蔵
	短冊 四図	1928年頃-1965年(昭和3年頃-昭和40年)	水彩	35.5×6.0	個人蔵
伊藤幾久造	巴御前	大正期-1985年(大正期-昭和60年)	絹本着色	53.2×40.0	個人蔵
	八幡太郎義家	大正期-1985年(大正期-昭和60年)	絹本着色 軸装	131.0×50.0	個人蔵
	辰巳の女	大正期-1985年(大正期-昭和60年)	紙本着色	26.5×24.0	個人蔵

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法cm(縦×横)	所蔵者
伊藤幾久造	舞妓	大正期-1985年(大正期-昭和60年)	紙本着色	26.5×24.0	個人蔵
志村立美	「酉の市、女」の挿絵(原画)	大正期-1980年(大正期-昭和55年)	水彩	27.5×19.5	個人蔵
	ゆかた	大正期-1980年(大正期-昭和55年)	水彩		個人蔵
	舟橋聖一著「男」の挿絵 大阪毎日新聞(原画)	1941年(昭和16年)	鉛筆 墨 紙	21.8×30.8	個人蔵
	「恋慕奉行」の挿絵(原画)	大正期-1980年(大正期-昭和55年)	墨 紙	16.3×22.5	個人蔵
	「二つの瞳」(美空ひばり)	大正期-1980年(大正期-昭和55年)	版画 紙	35.0×35.0	個人蔵
	林不忘著「丹下左膳」の装丁	1935年(昭和10年)	書籍	20.0×14.7	個人蔵
加藤まさを	「中山晋平曲童謡小曲 第7集」の表紙絵	1931年(昭和6年)	木版 紙	24.0×17.0	個人蔵
	「中山晋平曲童謡小曲 第11集」の表紙絵	1929年(昭和4年)	木版 紙	24.0×17.0	個人蔵
	「脚光の女」絵葉書	昭和初期	葉書(5枚)	14.8×10.0	個人蔵
ひろし	楽譜「花嫁人形」の表紙絵	1928年12月(昭和3年12月)	印刷	26.0×19.0	個人蔵
	楽譜「忘れな草」の表紙絵	1929年1月(昭和4年1月)	印刷	26.0×19.0	個人蔵
	楽譜「アラビアの唄」の表紙絵	1929年4月(昭和4年4月)	印刷	26.0×19.0	個人蔵
	楽譜「ハレルヤ」の表紙絵	1929年4月(昭和4年4月)	印刷	26.0×19.0	個人蔵
	楽譜「AさんとBさん」の表紙絵	1929年7月(昭和4年7月)	印刷	26.0×19.0	個人蔵
	楽譜「君知るや南の国」の表紙絵	1929年7月(昭和4年7月)	印刷	26.0×19.0	個人蔵
	楽譜「歓楽の夜曲」の表紙絵	1929年8月(昭和4年8月)	印刷	26.0×19.0	個人蔵
	楽譜「紅屋の娘」の表紙絵	1929年9月(昭和4年9月)	印刷	26.0×19.0	個人蔵
宇崎純一	絵葉書	大正期-1954年(大正期-昭和29年)	葉書(7枚)	14.8×10.0	個人蔵
太宰敦夫	「近代女性美」絵葉書	1932年(昭和7年)	葉書(18枚)	14.8×10.0	個人蔵
須藤しげる	「少女数へ歌双六」	1929年(昭和4年)	印刷	66.0×86.0	個人蔵
作者不詳(大正ロマン昭和モダン展)	「コドモアサヒ」	1924年8月(大正13年8月)	雑誌	26.0×19.0	個人蔵
	馬上の義経		絹本着色	100.0×82.0	個人蔵

アメリカ版画の今 5つの工房から

●会期

平成20年7月19日[土]-8月31日[日](38日間)

●休館日

月曜日(7月21日は開館)、7月22日[火]

●視点

現代版画における工房の活躍がめざましい、アメリカの現状を紹介した展覧会。様々なアーティストたちに版画制作の喜びと実験を提供し続ける工房にスポットを当て、作家と技術者との共同が生み出すアートの可能性に注目した。

出品内容は、5つの版画工房からそれぞれ推薦された、新旧多彩な顔ぶれの作家たち38名の作品76点。写真やデジタル技術の活用はもとより、木版画や刺繍といったハンドメイドの世界が新しい技術として生まれ変わった作例など、「版」の広がりには驚かされた。一方、版画の分野を通してアートの現在形を一望する楽しみとともに、多種多様な表現のそれぞれが根ざしている、多角的なアメリカ文化のありように触れることができた。また、出品者であるタマリンド工房で修行したプリンターによるトークや、体験できる場が少ない彫版技法のワークショップなど、「版」の現場に学ぶことを関連事業の骨子とした。ワークショップでは、阿波和紙伝統産業会館から版画用和紙が提供された。

本展は「KYOTO版画2008 日本・アメリカ国際版画展」のアメリカ部門を、徳島県立近代美術館の特別展として構成・展示したもので、各工房から提供された写真・ビデオを併せて紹介した。なお、日本部門はKYOTO版画実行委員会の主催により、徳島県立近代美術館ギャラリーにて展示された。会期:7月19日-27日。

●主催

徳島県立近代美術館

徳島新聞社

四国放送

●後援

NHK徳島放送局

エフエム徳島

徳島県文化振興財団

●企画協力

版画京都展実行委員会(KYOTO版画)

タマリンド・インスティテュート(アルバカーキ)

●観覧料

一般 600円(480円)

高・大生 450円(360円)

小・中生 300円(240円)

()内は前売り及び20名以上の団体料金。

●関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

●印刷物

ポスター:B2判

ちらし:A4判

図録:A4判変形285×210mm 104ページ

*その他の印刷物については、4-2-9「展覧会ごとの『子どもワークシート』作成」の項を参照。

●入館者数

2,213人

*8-4「入館者数」の項を参照。

●新聞、雑誌記事、放送番組等

「共同制作でアート追求」『徳島新聞』平成20年7月17日

「作家と技術者 コラボ楽しんで」『毎日新聞』平成20年7月17日(徳島版)

「鳴潮」『徳島新聞』平成20年8月3日

「おはよう四国 四国カルナビ」NHK松山放送局 平成20年8月9日

●担当学芸員

竹内利夫、森芳功

● 出品リスト

ピラミッド・アトランティック

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法cm(縦×横)	所蔵者
レニー・スタウト	魅惑のコート	2005	リトグラフ、スクリーンプリント	71.1×38.1	ピラミッド・アトランティック
	ジミーを待って	2007	スクリーンプリント	76.2×55.9	ピラミッド・アトランティック
ケビン・マクダネル	思い出の郊外	2005	スクリーンプリント	55.9×76.2	ピラミッド・アトランティック
	理想の郊外	2000	スクリーンプリント	55.9×76.2	ピラミッド・アトランティック
スーザン・ゴールドマン	太陽と月を収めて	2007	木版	58.4×86.4	ピラミッド・アトランティック
	赤紫の花瓶	2005	モノタイプ	66.0×61.0	ピラミッド・アトランティック
ベニト・フエルタ	幕間 01021	2006	スクリーンプリント	55.9×76.2	ピラミッド・アトランティック
	幕間 01031	2006	スクリーンプリント	55.9×76.2	ピラミッド・アトランティック
ケン・アプテカー	RED READシリーズ: 「父に教わった現像の方法」	1998	リトグラフ、スクリーンプリント	55.9×55.9	ピラミッド・アトランティック
	RED READシリーズ: 「赤毛はどこから？」	1998	リトグラフ、スクリーンプリント	55.9×55.9	ピラミッド・アトランティック
ティム・ローリンズ+KOS	向こうの素晴らしい世界 No.5	2004	スクリーンプリント、シンコレ	55.9×38.1	ピラミッド・アトランティック
	輝く光の中 No.4	2004	スクリーンプリント、シンコレ	55.9×38.1	ピラミッド・アトランティック
マイケル・グロス	共に III	2006	エッチング	73.7×66.0	ピラミッド・アトランティック
	灰色の光景	2007	スクリーンプリント	50.8×50.8	ピラミッド・アトランティック
マーガレット・ブレンティス	過去も未来もない中心 I	2006	パルプペインティング、凹版	37.5×37.5	ピラミッド・アトランティック
	過去も未来もない中心 II	2006	パルプペインティング、凹版	37.5×37.5	ピラミッド・アトランティック

ソロ・インプレッション

アレクサンダー・ロス	無題	2001	リトグラフ	88.9×73.7	ソロ・インプレッション
ウドムサク・クリサナミス	無題	2001	リトグラフ・コラージュ	96.5×68.6	ソロ・インプレッション
ジャッキー・ゲンデル	点	2005	リトグラフ	61.0×55.9	ソロ・インプレッション
	そして	2005	リトグラフ	61.0×76.2	ソロ・インプレッション
	鏡	2005	リトグラフ	61.0×55.9	ソロ・インプレッション
デビッド・カップ	チェルシー通り	2002	リトグラフ	63.5×50.8	ソロ・インプレッション
	ウオーカーとブロードウェイ	2002	リトグラフ	63.5×50.8	ソロ・インプレッション
リチャード・ボスマン	息	2002	木版	63.5×83.8	ソロ・インプレッション
	緑のカヌー	2003	木版	74.9×109.2	ソロ・インプレッション
ケント・ヘンリクソン	子供の童話:ピンク I	2005	リトグラフ、デジタル刺繍、リネン	40.6×45.7	ソロ・インプレッション
	子供の童話:グリーン II	2005	リトグラフ、デジタル刺繍、リネン	33.0×38.1	ソロ・インプレッション

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法cm(縦×横)	所蔵者
ケント・ヘンリクソン	子供の童話:イエロー III	2005	リトグラフ、デジタル刺繍、リネン	33.0×38.1	ソロ・インプレッション
リリアナ・ポーター	ドラゴン	2005	デジタル刺繍	55.9×44.5	ソロ・インプレッション
	糸のもつれ	2005	デジタル刺繍	57.2×43.2	ソロ・インプレッション
	赤い少女	2005	デジタル刺繍	55.9×44.5	ソロ・インプレッション
	タイガー V	2005	デジタル刺繍	44.5×54.6	ソロ・インプレッション

セグラ・パブリッシング

エンリック・チャゴヤ	飛ぶ方法	2003	エッチング、アクアチント、ゴム印	40.6×48.3	セグラ・パブリッシング
	忠義	2003	エッチング、アクアチント、ゴム印	40.6×48.3	セグラ・パブリッシング
マーク・クレット	ナンバー 27	1997	フォトグラビュール(写真凹版)	60.9×48.2	セグラ・パブリッシング
	ナンバー 43	1997	フォトグラビュール(写真凹版)	60.9×48.2	セグラ・パブリッシング
	ナンバー 45	1997	フォトグラビュール(写真凹版)	60.9×48.2	セグラ・パブリッシング
ルイス・ジメネーズ	ガラガラ蛇の玉	1987	リトグラフ、グリッター	63.4×86.2	セグラ・パブリッシング
クラウディア・ベルナルディ	時の設計	2007	モノプリント	74.9×74.9	セグラ・パブリッシング
	蝶にさらわれたルフィーナ	2007	モノプリント	74.9×74.9	セグラ・パブリッシング
エリザベス・キャットレット	ミニ	2007	リノカット	20.3×25.4	セグラ・パブリッシング
ジェームズ・タレル	石の鏡:月の表面 1	1999	写真凹版、写真平版、アクアチント	47.0×38.1	セグラ・パブリッシング
	石の鏡:月の表面 2	1999	写真凹版、写真平版、アクアチント	47.0×38.1	セグラ・パブリッシング
	石の鏡:月の表面 3	1999	写真凹版、写真平版、アクアチント	47.0×38.1	セグラ・パブリッシング
	石の鏡:月の表面 4	1999	写真凹版、写真平版、アクアチント	47.0×38.1	セグラ・パブリッシング
	石の鏡:月の表面 5	1999	写真凹版、写真平版、アクアチント	47.0×38.1	セグラ・パブリッシング
	石の鏡:月の表面 6	1999	写真凹版、写真平版、アクアチント	47.0×38.1	セグラ・パブリッシング

ポールソン・プレス

クリス・ヨハンソン	「今はこちらで努力しよう。」	2002	シュガーリフトアクアチント	34.3×38.1	ポールソン・プレス
	「謎のこたえが解りますか？」	2002	シュガーリフトアクアチント	71.1×63.5	ポールソン・プレス
コタ・エザワ	月からの地球	2006	シュガーリフトアクアチント	52.1×57.8	ポールソン・プレス
	ボラロイドカメラ	2006	シュガーリフトアクアチント	52.1×55.3	ポールソン・プレス

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法cm(縦×横×高さ)	所蔵者
マリー・リー・ベンドルフ	黒と茶色	2005	アクアチント	83.8×77.5	ポールソン・プレス
	家の平面:ムラサキ	2005	アクアチント	83.8×77.5	ポールソン・プレス
	三つの正方形	2005	アクアチント	74.9×62.2	ポールソン・プレス
	三角	2005	アクアチント	53.3×76.2	ポールソン・プレス
カイオ・フォンセカ	3本の糸のエッチング	2006	アクアチント	53.3×50.8	ポールソン・プレス
	パパーヌ	2004	スピットバイト、シュガーアクアチント	80.0×94.0	ポールソン・プレス
マーティン・プーリアー	ループ:輪	2002	ソフトグラウンドエッチング、ドライポイント、シンコレ	41.9×35.3	ポールソン・プレス
	無題 IV	2002	スピットバイト、ソーブグラウンドエッチング、ドライポイント、シンコレ	42.3×35.3	ポールソン・プレス
クリス・バランタイン	無題:プール	2004	シュガーリフトアクアチント	30.0×41.0	ポールソン・プレス
	無題:水中の岩	2004	シュガーリフトアクアチント	30.5×40.6	ポールソン・プレス

タマリンド・インスティチュート

ジム・ダイン	クリーラーのための道具 3	2007	リトグラフ	54.5×68.4	タマリンド・インスティチュート
リン・メイヤーズ	無題	2006	リトグラフ	64.8×76.2	タマリンド・インスティチュート
ロイ・デ・フォレスト	無題	2006	リトグラフ	57.2×76.2	タマリンド・インスティチュート
	シェパード犬の兄弟	2006	リトグラフ	55.9×76.2	タマリンド・インスティチュート
ハン・リュウ	腕の中の姉妹	2003	リトグラフ・コラージュ	76.2×91.4	タマリンド・インスティチュート
	野原の蓮	1999	リトグラフ	63.5×48.3	タマリンド・インスティチュート
ジェーン・クイック＝ ター＝シー・スミス	アイ・キャンディ	2006	リトグラフ	76.2×57.2	タマリンド・インスティチュート
	アメリカの風景	2006	リトグラフ	76.2×57.2	タマリンド・インスティチュート
ウイリー・コール	鉄の押し花	2005	リトグラフ	76.2×55.8	タマリンド・インスティチュート
ルース・ルート	無題 I	2003	リトグラフ・コラージュ	36.8×50.2	タマリンド・インスティチュート
	無題 II	2003	リトグラフ・コラージュ	34.9×41.9	タマリンド・インスティチュート
マーク・ムルロニー	安全な死の保管場所	2006	リトグラフ	61.0×57.2	タマリンド・インスティチュート
クリス・アップヒューズ	シュガー・パイン I	2005	リトグラフ	50.8×48.3	タマリンド・インスティチュート
	シュガー・パイン II	2005	リトグラフ	50.8×48.3	タマリンド・インスティチュート
ボリー・アブフェルバウム	愛の虹:ニューメキシコの山の牧場	2007	リトグラフ	92.6×65.9	タマリンド・インスティチュート

未来に伝えたい—学芸員おすすめアート

●会期

平成20年9月13日[土]-10月13日[火](27日間)

●休館日

月曜日(9月15日、10月13日は開館)、9月16日[火]

●視点

本展では、当美術館の8名の学芸員が、所蔵作品の中から、様々な視点でおすすめの作品を選び、8つのコーナーにわけて紹介した。各コーナーの展示の概要は次のとおり。

1 彫刻100年

ブルデル、萩原守衛、アバカノヴィッチ、奈良美智による、人間をテーマにした4点の彫刻によって、20世紀100年の歳月をたどる。(担当:安達一樹)

2 キュビズムってなに？

20世紀美術の出発点の一つ「キュビズム」を、ピカソやグレーズ、リブシッツなどの絵画や版画、彫刻で紹介する。(担当:友井伸一)

3 作品に光をあてる

伊原宇三郎などの美術界の脚光を浴びた作家とともに、久米福衛や森堯之など、優れた仕事を残しながら、歴史に埋もれた作家を取り上げる。(担当:江川佳秀)

4 初期洋画のパイオニア:守住勇魚

初期洋画のパイオニアとして活躍した徳島市出身の守住勇魚の画業や、我が国最初の官立美術学校である工部美術学校の役割を紹介する。(担当:仲田耕三)

5 気配が立ち上る時:菊畑茂久馬

徳島(美波町:旧由岐町)生まれの画家、菊畑茂久馬の1980年代末の大作の連作から、〈月宮〉の4点を一挙に展示する。(担当:吉川神津夫)

6 日本画の強さとはかなさ

「やわらかさのなかの強さとはかなさ」という視点から、大正期の横山大観や村上華岳、戦後の星野真吾、川端健生、高山辰雄などを紹介する。(担当:森芳功)

7 版のマチエール

1950年代の美術思潮アンフォルメルと共鳴し、銅版画をベースに独特のマチエール感(材質感や肌合い)を生み出した加納光於と一原有徳を取り上げる。(担当:竹内利夫)

8 降り積もるいのちの時間:石内都

写真家・石内都が、身体の傷跡の奥に潜む個人の生きざ

まに思いを馳せ、実母の84歳の誕生日に撮影した13点を紹介する。(担当:吉原美恵子)

ひとつひとつのコーナーは、コンパクトにまとまっているが、単に概要をなぞるだけのダイジェスト版ではなく、それぞれの切り口から美術の楽しみ方やその魅力を知るための糸口を見つけることができるように、各学芸員は制約のある中で知恵を絞った。また、たとえば「1 彫刻100年」と「3 作品に光をあてる」では「時代と表現」、また「2 キュビズムってなに？」と「7 版のマチエール」では「みえるもの／みえないもの」、といったように、はからずも、個々の学芸員の視点が共鳴し、どこか共通するテーマが浮かび上がってきたものもある。

8つのコーナーそれぞれの異なった味わいを楽しんでいたく機会を提供することができた。また会期中は日曜日ごとに、初めての試みとして学芸員が二人組で行う展示解説を開催した。

●主催

徳島県立近代美術館
徳島新聞社
四国放送

●後援

NHK 徳島放送局
エフエム徳島
徳島県文化振興財団

●観覧料

一般 600円(480円)
高・大生 450円(360円)
小・中生 300円(240円)

()内は前売り及び20名以上の団体料金。

●関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

●印刷物

ポスター:B2判
ちらし:A4判
図録:210×210mm 36ページ

*その他の印刷物については、4-2-9「展覧会ごとの『子どもワークシート』作成」の項を参照。

●入館者数

1,387人

*8-4「入館者数」の項を参照。

●新聞、雑誌記事、放送番組等

「県立近代美術館特別展 未来に伝えたい—学芸員おすすめアート」—あすから」『徳島新聞』平成20年9月12日

「学芸員のおすすめ93点 県立近代美術館特別展始まる」『徳島新聞』平成20年9月14日

「特別展 未来に伝えたいー学芸員おすすめアート 専門分野に応じ作品の魅力紹介」『毎日新聞』（徳島版）平成20年9月18日

「近代美術館学芸員おすすめアート1 彫刻100年」『徳島新聞』平成20年9月19日（安達一樹）

「近代美術館学芸員おすすめアート2 キュビズム」『徳島新聞』平成20年9月20日（友井伸一）

「近代美術館学芸員おすすめアート3 作品に光を」『徳島新聞』平成20年9月24日（江川佳秀）

「近代美術館学芸員おすすめアート4 守住勇魚」『徳島新聞』平成20年9月27日（仲田耕三）

「近代美術館学芸員おすすめアート5 菊畑茂久馬」『徳島新聞』平成20年9月29日（吉川神津夫）

「近代美術館学芸員おすすめアート6 日本画の魅力」『徳島新聞』平成20年10月2日（森芳功）

「近代美術館学芸員おすすめアート7 版のマチエール」『徳島新聞』平成20年10月3日（竹内利夫）

「近代美術館学芸員おすすめアート8 石内都」『徳島新聞』平成20年10月4日（吉原美恵子）

おはよう四国 『四国カルナビ』 NHK松山放送局 平成20年9月27日

●担当学芸員

友井伸一、安達一樹

● 出品リスト

1 彫刻100年

作者名	作品名	制作年	材料・形状	寸法cm(縦×横×高さ)	所蔵者
エミール＝アントワーヌ・ブールデル	アポロンの頭、台座付	1900-09年	ブロンズに鍍金	67.0×25.0×29.5	
荻原守衛	労働者	1909年	ブロンズ	h.107.0	
マダレーナ・アバノヴィッチ	12体の立像(群衆シリーズ)	1989-90年	黄麻布、樹脂		
奈良美智	The Little Pilgrims (Night Walking)	1999年	アクリル、綿布、FRP	72.0×50.0×42.5	

2 キュビズムってなに？

パブロ・ピカソ	版画集〈聖マトレル〉1. レオニー嬢	1910年	エッチング 紙	20.4×14.1	
パブロ・ピカソ	版画集〈聖マトレル〉2. テーブル	1910年	エッチング 紙	20.4×14.2	
パブロ・ピカソ	版画集〈聖マトレル〉3. 長椅子のレオニー嬢	1910年	エッチング、ドライポイント 紙	19.8×14.2	
パブロ・ピカソ	版画集〈聖マトレル〉4. 修道院	1910年	エッチング 紙	20.4×14.1	
パブロ・ピカソ	版画集〈エルサレムの攻略〉1. 裸婦	1913-14年	エッチング、ドライポイント 紙	15.6×11.6	
パブロ・ピカソ	版画集〈エルサレムの攻略〉2. 頭蓋骨のある静物	1914年	ドライポイント 紙	15.4×11.4	
パブロ・ピカソ	版画集〈エルサレムの攻略〉3. 女	1914年	エッチング、ドライポイント 紙	16.0×10.9	
アルベール・グレーズ	台所の母子	1911年	油彩 キャンバス	119.0×95.0	
ジャン・メッツアンジェ	自転車乗り	1911-12年	油彩、砂、コラージュ キャンバス	55.0×46.0	
アレクサンダー・アーキペンコ	白いトルソ	1916年	大理石	h.48.0	
ジャック・リブシツ	クラリネットを持つアルルカン	1919年	ブロンズ	73.0×24.8×24.1	
オシップ・ザツキン	女性立像	1922年	ブロンズ	77.0×31.0×19.2	
パブロ・ガルガーリョ	キキ・ド・モンパルナスのマスク	1928年	ブロンズ	20.5×18.0×15.7	
アンリ・ローランス	片腕をあげて座る女	1930年	テラコッタ	h.31.0	
アルベール・グレーズ	キュビズムについて	1947年(初版1912年)	本(銅版画11点付き)	27.2×22.0×2.0	

3 作品に光をあてる

清原重以知	ロシアの女優	1916年	油彩 キャンバス	65.2×65.2	
伊原宇三郎	白衣を纏える	1928年	油彩 キャンバス	100.6×81.4	
板東敏雄	鳩	1930年頃	油彩 板	76.5×75.5	
熊谷守一	裸婦	1940年	油彩 キャンバス	65.2×53.0	

作者名	作品名	制作年	材料・形状	寸法cm(縦×横)	所蔵者
鷺光	作品	1941年	墨 紙	24.8×21.0	
森堯之	ロシア教会	1941年	油彩 キャンバス	40.8×31.9	
	花と蝶	1941年	油彩 板	41.4×32.2	
久米福衛	甘鯛	1940年代	油彩 キャンバス	38.0×45.5	
河井清一	T嬢の像	1946年	油彩 キャンバス	91.0×71.8	
井上長三郎	しのめ	1955年	油彩 キャンバス	149.0×224.0	
鳥海青児	ブラインドを降す男	1959年	油彩 キャンバス	99.2×73.3	
山下菊二	死んだ人がわたしを産んでくれた(昭和40年7月27日母死す)	1966年	油彩 合板	88.2×173.5	

4 初期洋画のパイオニア:守住勇魚

守住勇魚	本のある静物	1889年頃	油彩 紙	21.5×26.5	
	家のある風景	明治期	油彩 紙	24.3×32.2	
	木蓮	明治期	油彩 紙	25.0×34.7	
	牡丹と木蓮	明治期	油彩 紙	25.1×34.7	
	牡丹	明治期	油彩 紙	34.7×24.9	
	薔薇	明治期	油彩 紙	32.1×24.1	
	急須	明治期	油彩 紙	25.3×31.8	
	急須と湯呑	明治期	油彩 紙	26.0×35.5	
	新橋停車場風景	1876-1878年頃	水彩、鉛筆 紙	21.1×30.2	
	羊と犬	1876-78年頃	水彩 紙	20.6×27.7	
	天満橋風景	1879-86年頃	水彩 紙	20.6×28.0	
	住吉神社風景	1879-1886年頃	水彩 紙	22.6×28.9	
	四天王寺風景	1879-1886年頃	水彩 紙	23.4×32.2	
	八剱神社風景	1880年	水彩 紙	20.7×28.4	
	比良山大津石場風景	1880年	水彩 紙	20.4×27.9	
	阿波国齊田浦塩焼風景	不詳	水彩 紙	20.0×27.0	
	工部美術学校画学教室風景	1877年	鉛筆 紙	22.7×29.0	
	工部美術学校画学教室風景	1877年	鉛筆 紙	25.0×34.4	
	工部美術学校画学教室風景	1877年	鉛筆 紙	24.5×34.3	
	工部美術学校画学教室内風景	1877-78年頃	鉛筆 紙	19.7×29.7	
	溜池風景	1877-78年頃	鉛筆 紙	20.7×27.7	

作者名	作品名	制作年	材料・形状	寸法cm(縦×横)	所蔵者
守住勇魚	工部大学校風景	1878年	鉛筆 紙	16.2×22.6	
	人物習作	1878年	鉛筆 紙	17.0×23.5	
	雲	1878年	鉛筆 紙	16.7×27.4	
	鍛冶橋風景	1878年	鉛筆 紙	19.7×22.5	
	スケッチ集	1875年頃	鉛筆 紙	25.9×34.7	
	スケッチ帳	1894-95年頃	鉛筆 紙	23.1×15.8	
	スケッチ帳	1910-18年頃	水彩 鉛筆 紙	15.0×23.5	
	スケッチ帳	不詳	鉛筆 紙	16.0×21.8	
	大成普通畫學本二編 第十一	1882年	書籍	14.5×21.9	

5 気配が立ち上る時

菊畑茂久馬	月宮第一番	1988年	油彩、木、布 バス	キャン	330.0×200.8
	月宮第二番	1988年	油彩、木、布 バス	キャン	330.0×200.8
	月宮第三番	1988年	油彩、木、布 バス	キャン	330.0×200.8
	月宮第四番	1988年	油彩、木、布 バス	キャン	330.0×200.8

6 日本画の強さとはかなさ

横山大観	樹下苦行	明治後期	絹本着色		117.2×49.9
村上華岳	踊り之図	1917年	絹本着色		118.7×41.8
岡本神草	洗い髪	1925年	絹本着色		43.2×51.2
入江波光	草園の図	1926年	絹本着色		26.7×56.3
中村大三郎	二人舞妓	1926年	絹本着色		143.2×56.5
堂本印象	熊野灘	1944年	絹本着色		168.3×372.6
星野真吾	喪中の作品(炎)	1964年	紙本着色		121.2×60.6
高山辰雄	野辺	1982年	紙本着色		130.0×212.0
川端健生	稲荷	1987年	紙本着色		170.0×123.5

7 版のマチエール

加納光於	燐と花と	1961年	インタリオ	紙	42.0×36.7
	星・反芻学	1962年	インタリオ	紙	33.2×67.7
	青 ライオンあるいは 《月・指》I	1991-92年	カラーインタリオ	紙	71.0×56.5

作者名	作品名	制作年	材料・形状	寸法cm(縦×横)	所蔵者
一原有徳	TAN(b)	1960-83年	ステンレス 版 モノタイプ 紙	45.2×32.3	
	RIW59(b)	1971-81年	アルミニウム 版 腐蝕 紙	41.0×31.6	
	幽	1976年	アルミニウム 版 腐蝕 紙	59.7×39.5	

8 降り積もるいのちの時間：石内都

石内都	「25 MAR 1916」#1	2000年	ゼラチンシルバー プリント	27.0×38.0	
	「25 MAR 1916」#2	2000年	ゼラチンシルバー プリント	38.0×27.0	
	「25 MAR 1916」#3	2000年	ゼラチンシルバー プリント	27.0×38.0	
	「25 MAR 1916」#4	2000年	ゼラチンシルバー プリント	27.0×38.0	
	「25 MAR 1916」#5	2000年	ゼラチンシルバー プリント	38.0×27.0	
	「25 MAR 1916」#6	2000年	ゼラチンシルバー プリント	108.0×74.0	
	「25 MAR 1916」#7	2000年	ゼラチンシルバー プリント	108.0×74.0	
	「25 MAR 1916」#8	2000年	ゼラチンシルバー プリント	108.0×74.0	
	「25 MAR 1916」#9	2000年	ゼラチンシルバー プリント	108.0×74.0	
	「25 MAR 1916」#10	2000年	ゼラチンシルバー プリント	108.0×74.0	
	「25 MAR 1916」#11	2000年	ゼラチンシルバー プリント	108.0×74.0	
	「25 MAR 1916」#12	2000年	ゼラチンシルバー プリント	108.0×74.0	
	「25 MAR 1916」#13	2000年	ゼラチンシルバー プリント	108.0×74.0	

* 所蔵者はすべて徳島県立近代美術館

京都画壇に咲いた夢－幸田春耕、暁冶父子と京都・徳島の日本画家たち

●会期

平成20年10月25日[土]-12月7日[日](38日間)

●休館日

月曜日(11月3日、11月24日は開館)、11月4日[火]、25日[火]

●視点

本展は、徳島ゆかりの日本画家、幸田春耕、暁冶の父子を中心に、交流のあった京都画壇の巨匠、山元春挙や池田遙邨、そして三木文夫、市原義之といった京都で学んだ徳島県出身作家の作品を紹介した。

幸田春耕(1897-1976年)は、現在の徳島市国府町に生まれ、22歳のとき京都の山元春挙に入門。京都市立絵画専門学校(現在の京都市立芸術大学)でも学び、戦前の帝展、戦後の日展で活躍。青塔社の結成に加わり、後進の指導にもあたった。

その春耕の長男が暁冶(1925-75年)である。京都市で生まれ、京都市立美術専門学校(現在の京都市立芸術大学)に学んだ。池田遙邨に師事し日展や京展で活躍。後に無所属となり、山種美術館賞展などで注目を集めた。次の世代を担うホープとして期待されながら、結核のため50歳で亡くなっている。

暁冶と春耕が相次いで没して30年あまり。美術界に鮮明な印象を残した二人だったが、その記憶も次第に薄れつつあった。本展は、ふたりの仕事に今一度光を当て、京都と徳島を結んだ画家たちの夢の跡をたどろうとしたものである。

●主催

徳島県立近代美術館

徳島新聞社

四国放送

徳島県民文化祭開催委員会

＊「おどる国文祭」1周年記念第11回徳島県民文化祭
共催事業

●後援

NHK 徳島放送局

エフエム徳島

徳島県文化振興財団

●観覧料

一般 600円(480円)

高・大生 450円(360円)

小・中生 300円(240円)

()内は前売り及び20名以上の団体料金。

●関連事業

＊4-1「美術館教育」の項を参照。

＊「ゲスト・トーク」(平成20年11月16日)は、「関西文化の日」関連企画として開催した。

●印刷物

ポスター：B2判

ちらし：A4判

図録：297×225mm 88ページ

＊その他の印刷物については、4-2-9「展覧会ごとの『子どもワークシート』作成」の項を参照。

●入館者数

3,576人

＊8-4「入館者数」の項を参照。

●新聞、雑誌記事、放送番組等

「幸田春耕・暁冶の足跡紹介」『徳島新聞』平成20年10月25日(夕刊)

「鳴潮」『徳島新聞』平成20年11月2日

「幸田父子らの日本画67点 京都画壇に咲いた夢」『徳島新聞』平成20年11月3日

グッドモーニング・サタデー FM徳島 平成20年11月8日

深尾昭寛「京都画壇に父子の足跡 徳島ゆかり 幸田春耕、暁冶」『毎日新聞』平成20年11月13日

「特別展に出向き感激 日本画家・幸田暁冶の妻 隆子さん」『徳島新聞』平成20年11月14日

「京都画壇に咲いた夢」『趣味の水墨画』236号 平成20年11月15日

森芳功「京都画壇に咲いた夢 上 幸田春耕」『徳島新聞』平成20年11月17日

森芳功「京都画壇に咲いた夢 下 幸田暁冶」『徳島新聞』平成20年11月18日

「京都画壇に咲いた夢」『月刊美術』398号 平成20年11月20日

突撃インタビュー 徳島中央テレビ(吉野川市、小松島市)平成20年11月26日(再放送12月2日、4日、9日、11日、16日、18日)

おはよう四国 NHK松山放送局 平成20年12月8日

●担当学芸員

森芳功、竹内利夫、江川佳秀

● 出品リスト

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法cm(縦×横)	所蔵者
幸田春耕	牡丹	大正期	絹本着色 軸装	116.5×40.9	個人蔵
	菊	戦前期	絹本着色 軸装	45.9×50.2	個人蔵
	紅葉檀鳥	戦前期	紙本着色 軸装	47.1×51.1	個人蔵
	鶏	戦前期	紙本着色 軸装	89.6×34.0	個人蔵
	鳩	戦前期	紙本着色 軸装	99.1×36.6	個人蔵
	蓮池	戦前期	紙本着色 軸装	89.6×36.3	個人蔵
	牡丹	不詳	紙本着色 軸装	42.4×51.1	個人蔵
	花菖蒲	不詳	紙本着色 軸装	42.5×51.0	個人蔵
	鳩	不詳	紙本着色 軸装	56.1×35.5	個人蔵
	鶴	不詳	紙本着色 軸装	45.2×50.8	個人蔵
	牛の園	1954年	紙本着色	180.9×201.5	
	芥子	1958年	紙本着色	152.5×212.1	個人蔵
	向日葵	1958年	紙本着色	221.5×154.4	個人蔵
	あじさい	1960年	紙本着色	148.5×209.2	個人蔵
	睡蓮	1961年	紙本着色	154.5×215.3	個人蔵
	沼	1967年	紙本着色	152.1×212.6	個人蔵
幸田暁冶	日向の兎と木陰(仮称)	1940年 代 後 半	絹本着色	74.0×89.5	個人蔵
	梟	1955年	紙本着色	104.6×148.6	個人蔵
	駱駝	1958年	紙本着色	149.0×168.3	個人蔵
	エミウ	1959年	紙本着色	120.8×89.5	個人蔵
	象	1959年	紙本着色	148.5×104.6	個人蔵
	禿こう	1960年	紙本着色	149.5×167.0	個人蔵
	駝鳥	1960年	紙本着色	148.6×104.4	個人蔵
	禿こう	1960年	紙本着色	159.1×86.5	個人蔵
	みみずく	1960年	紙本着色	56.6×40.2	星野画廊蔵
	鳥(冠鳥)	1961年	紙本着色	151.7×170.0	個人蔵
	猿	1963年	紙本着色	124.0×184.5	個人蔵
	月とふくろう	1963年頃	紙本着色	44.9×52.8	星野画廊蔵
	小菊	1963年頃	紙本着色	43.3×52.5	星野画廊蔵
	オウム	1963年頃	紙本着色	57.6×44.5	星野画廊蔵
	梟	1964年頃	紙本着色	45.9×59.9	個人蔵
	子	1964年	紙本着色	140.0×105.0	
	狩獵	1964年	紙本着色	105.7×181.6	個人蔵

作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法cm(縦×横)	所蔵者
幸田暁治	調教師	1964年	紙本着色	145.1×195.0	個人蔵
	猿	1964年	紙本着色	157.0×217.8	個人蔵
	らくだ	1965年	紙本着色	153.0×170.5	個人蔵
	リズム1	1965年	紙本着色	130.5×94.2	個人蔵
	リズム2	1965年	紙本着色	171.4×124.2	個人蔵
	手長猿	1966年	紙本着色	154.3×221.3	個人蔵
	吾子	1967年	紙本着色	214.2×174.5	個人蔵
	双子	1970年	紙本着色	119.9×95.0	星野画廊蔵
	花売り	1970年	紙本着色	181.8×130.1	個人蔵
	漁師	1970年	紙本着色	143.8×192.0	個人蔵
	らくだ	1970年	紙本着色	148.3×209.3	個人蔵
	白馬	1971年	紙本着色	174.2×213.7	個人蔵
	白馬童女	不詳	紙本着色	72.8×91.0	星野画廊蔵
	菊	不詳	紙本着色	40.9×31.7	星野画廊蔵
	うららか	1972年	紙本着色	60.5×72.7	星野画廊蔵
	昇天	1972年	紙本着色	162.2×130.3	個人蔵
	向日葵	1972年	紙本着色	212.0×157.8	個人蔵
	微笑の風景	1973年	紙本着色	53.0×72.7	星野画廊蔵
	天使の森	1973年	紙本着色	65.2×91.0	星野画廊蔵
	菊童女	1973年	紙本着色	197.1×151.8	個人蔵
	童女松竹梅	1974年	紙本着色	45.5×33.4	星野画廊蔵
	クロス	1975年	紙本着色	159.3×127.5	個人蔵
	踊り子	1975年	紙本着色	117.2×90.8	個人蔵
三木文夫	苔の径	1951年	紙本着色 屏風	127.4×210.4	個人蔵
市原義之	起重機のある工場	1968年	紙本着色	231.5×165.5	
	映ゆ	1979年	紙本着色	200.0×200.0	
	冬日	1986年	紙本着色	197.9×197.9	
山元春拳	山上楽園	1922年	絹本着色	236.0×176.0	京都市美術館蔵
	富士二題	1929年	絹本着色 軸装	(対幅)188.7×99.2(右) 187.2×99.5(左)	滋賀県立近代美術館蔵
	山村密雪図	1932年	紙本墨画 軸装	91.0×133.6	滋賀県立近代美術館蔵
池田遙邨	江州日吉神社	1937年	絹本着色 屏風	160.0×183.0	滋賀県立近代美術館蔵
	日吉三橋	1938年	絹本着色 屏風	125.7×171.0	滋賀県立近代美術館蔵
	鳴門	1949年	紙本着色	218.5×139.7	
	囁	1972年	紙本着色	209.0×136.5	京都市美術館蔵

*所蔵者表記のない作品は、徳島県立近代美術館蔵

4

普及事業

4-1 美術館教育

1 所蔵作品展に関連した催し

鑑賞者と展覧会を結ぶために、各展覧会担当者が中心となって催しを企画している。

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
(1)徳島のコレクション2008-II				
平成20年4月29日〔火〕 平成20年5月18日〔日〕 14:00-14:45	徳島のコレクション2008- II 展示解説	吉原美恵子 (専門学芸員)	18名 43名	展示室1
(2)徳島のコレクション2008-III				
平成20年7月6日〔日〕 平成20年8月31日〔日〕 14:00-14:45	徳島のコレクション2008- III 展示解説	吉川神津夫 (専門学芸員)	7名 12名	展示室1・2
(3)徳島のコレクション2008-IV				
平成20年10月19日〔日〕 平成20年12月7日〔日〕	徳島のコレクション2008- IV 展示解説	仲田耕三 (専門学芸員)	7名 34名	展示室1・2
平成20年11月3日〔月〕 14:00-14:30	庄野達夫のリコーダー演奏 美術を楽しむ・わたくし流	庄野達夫、庄野孝子、庄野朱音	103名	展示室1
(4)徳島のコレクション2009-I				
平成21年1月25日〔日〕 平成21年2月1日〔日〕 平成21年2月8日〔日〕 平成21年2月22日〔日〕 平成21年3月15日〔日〕 平成21年3月29日〔日〕 14:00-14:45	徳島のコレクション2009- I 展示解説	仲田耕三(専門学芸員) 吉原美恵子(専門学芸員) 吉川神津夫(専門学芸員) 仲田耕三(専門学芸員) 吉川神津夫(専門学芸員) 吉原美恵子(専門学芸員)	12名 15名 7名 6名 8名 6名	展示室1・2 展示室3 展示室1・2 展示室1・2 展示室1・2 展示室3
平成21年3月1日〔日〕 14:00-15:30 平成21年3月20日〔金〕 14:00-15:00	ピアノ・コンサート「いのちを見つめて」 美術を楽しむ・わたくし流 能楽「生きているわたくし」によせて 美術を楽しむ・わたくし流	重松壮一郎 (ピアニスト・作曲家) 橋本ハル子・吉浪壽晃・児玉哲城 (観世流能楽師)	52名 82名	展示室3 展示室3

2 特別展に関連した催し

鑑賞者と展覧会を結ぶために、各展覧会担当者が中心となって催しを企画している。

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
(1)「大正ロマン昭和モダン」展				
平成20年5月6日〔火〕 平成20年6月1日〔日〕 14:00-15:00	「大正ロマン昭和モダン」展 展示解説	江川佳秀 (学芸課長)	43名 45名	展示室3
(2)アメリカ版画の今 5つの工房から				
平成20年7月20日〔日〕 平成20年8月24日〔日〕 14:00-15:00	アメリカ版画の今 展示解説	竹内利夫 (主任学芸員)	15名 16名	展示室3
平成20年8月17日〔日〕 14:00-16:00	版画工房とコラボレーション ゲストトーク	板津悟 (イタヅ・リトグラフィック主宰)	32名	展示室3
(3)未来に伝えたいー学芸員おすすめアート				
平成20年9月14日〔日〕 平成20年9月21日〔日〕 平成20年9月28日〔日〕 平成20年10月5日〔日〕 平成20年10月12日〔日〕 14:00-15:00	未来に伝えたいー学芸員おすすめアート 展示解説	安達一樹・友井伸一 仲田耕三、吉原美恵子 友井伸一、竹内利夫 森芳功、安達一樹 江川佳秀、吉川神津夫	28名 24名 17名 52名 19名	展示室3
平成20年10月13日〔月〕 14:00-15:30	工部美術学校が我が国初期洋画壇に果たした役割 美術館講座	仲田耕三 (専門学芸員)	8名	講座室
(4)「京都画壇に咲いた夢」 幸田春耕、暁治父子と京都・徳島の日本画家たち				
平成20年10月26日〔日〕 平成20年11月9日〔日〕 平成20年11月24日〔月〕 14:00-15:00	京都画壇に咲いた夢 幸田春耕、暁治父子と京都・徳島の日本 画家たち 展示解説	森芳功 (専門学芸員)	26名 24名 37名	展示室3
平成20年11月16日〔日〕 14:00-15:00	京都画壇に咲いた夢 ゲスト・トーク	市原義之 (日展会員、出品作家)	105名	展示室3
平成20年11月23日〔日〕 14:00-15:30	京都で活躍した徳島ゆかりの作家たち 美術館講座	森芳功 (専門学芸員)	15名	講座室

3 ワークショップ

制作や画材体験を通して、美術への理解と親しみを広げる講座。

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
「アメリカ版画の今」展の関連事業として開催				
平成20年7月21日〔月〕 10:00-16:00	「メゾチントと木口木版」 ワークショップ	坂爪厚生(メゾチント) 斎藤修(木口木版)	16名	アトリエ2

4 とくしま近美 こども鑑賞クラブ 「君こそアートの名探偵」

講師との対話やクイズなどのメニューを通して、鑑賞の楽しさを体験する講座。

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
平成20年5月24日[土]	徳島のコレクション2008-Ⅱ	森芳功(専門学芸員)	23名	展示室
平成20年6月14日[土]	「大正ロマン昭和モダン」展	竹内利夫(主任学芸員)	28名	
平成20年7月5日[土]	徳島のコレクション2008-Ⅲ	福原輝美(文化推進員)	19名	
平成20年8月30日[土]	アメリカ版画の今	河村鉄平(文化推進員)	22名	
平成20年10月4日[土]	未来に伝えたい-学芸員おすすめアート		8名	
平成20年11月29日[土]	京都画壇に咲いた夢		14名	
平成21年1月17日[土]	徳島のコレクション2008-Ⅳ		20名	
平成21年2月14日[土]	徳島のコレクション2009-Ⅰ(上)		14名	
平成21年3月14日[土]	徳島のコレクション2009-Ⅰ(下)		34名	
14:00-14:45				

＊関連記事等

「県立近代美術館『こども鑑賞クラブ』『アートの名探偵』続々 結成5年目1100人越す 学芸員解説 劇やゲームで興味引く」
『徳島新聞』平成20年12月3日

「とくしま近美こども鑑賞クラブ2008Ⅳ 県立近代美術館(徳島市) 所蔵作品通し芸術に親しむ 行ってきました 徳島こども新聞」『徳島新聞』平成21年1月23日(夕刊)

5 博物館実習生の受け入れ

学芸員資格取得のための博物館実習の受け入れを行った。

●期間

平成20年8月19日[火]-8月23日[土]の5日間

●学校名及び人数

四国大学	8名
鳴門教育大学	3名
徳島大学	2名
名古屋芸術大学	1名
神戸女子大学	1名
計	15名

6 団体鑑賞(学校関係以外)での解説

団体名	開催日時	講師	展覧会名	参加者
コミュニティカレッジ徳島	平成20年6月6日[金] 10:05-11:40	安達一樹 (専門学芸員)	特別展「大正ロマン昭和モダン」展	一般14名
徳島大学開放実践センター	平成20年10月11日[土] 14:20-15:30	吉原美恵子 (専門学芸員)	特別展「未来に伝えたい-学芸員おすすめアート」	一般9名 引率1名
丹波古陶館、能楽資料館 友の会「紫明会」	平成20年3月29日[日] 10:45-12:30	江川佳秀 (学芸課長) 吉原美恵子 (専門学芸員)	所蔵作品展「徳島のコレクション2009-Ⅰ」	一般59名

4-2 学校教育との連携

1 学校の授業等による美術館利用

図工、美術、総合的学習の時間など小学校・中学校・高等学校による作品鑑賞や見学では、学芸員が講師をつとめたり、学校側と共同でプログラムを作成したりしている。

大学の授業でも連携がはかれるよう努めている。

	学校名	開催日時	内容	講師	参加者
1	徳島大学国際センター 日本語研修コース	平成20年5月30日[金] 13:30-14:30	日本語プログラムの一つとして、研修学生と地域サポーターによるペアワーク。特別展「大正 ロマン 昭和 モダン」展を会場に、「こどもワークシート」のすごろくに取り組んだ。竹内もペア活動に参加。	三隅友子(徳島大学国際センター教授)、竹内利夫(主任学芸員)	学生4名 地域サポーター3名 引率教員1名
2	徳島大学国際センター 日本語教育方法論Ⅰ	平成20年7月12日[土] 9:30-10:30	日本人学生を対象に次週のオリエンテーションとして鑑賞遊び「シーがる・た」を体験した。所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅲ」で実施。	橋本智(徳島大学国際センター准教授)、竹内利夫(主任学芸員)	学生10名 引率教員1名
3	徳島大学国際センター 日本語研修コース	平成20年7月19日[土] 9:35-10:50	前週の日本人学生、日本語研修コース履修生、徳島大学の留学生とその家族が参加。鑑賞遊び「シーがる・た」のプログラムを元に、「カルター絵を見て伝え合おう」の活動を行った。所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅲ」で実施。	三隅友子(徳島大学国際センター教授)、橋本智(同准教授)、竹内利夫(主任学芸員)	学生等24名 引率教員2名
4	徳島大学総合科学部 2-4学年	平成20年7月19日[土] 13:30-14:40	徳島大学の授業「美術史特講」の一環として、展示室で実際の作品を鑑賞。特別展「アメリカ版画の今」と所蔵作品展を学芸員が説明した。ギャラリーの「京都版画」展は平木教授がガイダンスを行った。	平木美鶴(徳島大学教授)、友井伸一(専門学芸員)、竹内利夫(主任学芸員)	学生29名 引率教員1名
5	四国大学 社会教育主事資格専門科目受講生	平成20年9月18日[木] 13:00-14:30	社会教育主事資格取得を目指す学生に、社会教育施設の一例として、本館の業務の概要を説明。収蔵庫など実際の施設も見学した。	江川佳秀(学芸課長)	学生15名 引率教員1名
6	徳島大学国際センター 日本語研修コース	平成20年11月11日[火] 13:30-15:00	日本語教育演習の履修学生と橋本准教授が作成したワークシートを使ったペアワーク。特別展「京都画壇に咲いた夢」で実施。日本人学生、日本語研修コース履修生、地域サポーターが参加。竹内もペア活動に参加。	三隅友子(徳島大学国際センター教授)、橋本智(同准教授)、竹内利夫(主任学芸員)	学生12名 地域サポーター7名 引率教員3名
7	徳島市八万南小学校 3学年	平成21年1月23日[金] 9:55-11:05	作品の鑑賞や施設見学をしながら、美術館についての質問に答えていくプログラム。八万南小学校3年が毎年行っている授業。トラックヤード、空調機械室、展示室、収蔵庫など見学した後、アトリエで絵具や道具の説明も行った。	森芳功(専門学芸員)	児童25名 引率教員1名
8	佐那河内村立佐那河内小学校 6学年	平成21年3月4日[水] 9:30-11:30	卒業式前の児童による「美術館鑑賞教室とお別れ遠足」。特別陳列「生きているわたくし」で、鑑賞のきっかけをつかみ、そこから感想を深める体験を行った。展示室1のクレーの前で、用意した自作の詩を朗読。展示室2では、徳島ゆかりの美術について学習。	森芳功(専門学芸員)	児童21名 引率教員2名
計 児童・生徒・学生等 140名 教員等 22名／合計 162名					

2 学校行事(遠足など)による美術館利用

学校の求めにより、学芸員など美術館職員が団体鑑賞の鑑賞支援活動を行っている。事前に学校側との打ち合わせをして、学校の事情や児童生徒の学年に応じた効果的な対応ができるよう努めている。

なお、学校教育活動による観覧は、小・中・高等で、特別展・所蔵作品展(常設展)いずれも無料としている。

(1) 学芸員等が鑑賞支援活動を行った団体鑑賞

	学校名	開催日時	講師	展覧会名	参加者
1	勝浦町立横瀬小学校 1、2学年	平成20年5月1日[木] 10:30-11:10	森芳功(専門学芸員)、 福原輝実(文化推進員)	特別展「大正 ロマン 昭和 モダン展」、所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅱ」を鑑賞。	児童41名 引率教員5名
2	徳島市川内南小学校 3学年	平成20年5月14日[水] 12:50-13:30	森芳功(専門学芸員)	特別展「大正 ロマン 昭和 モダン展」、所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅱ」を鑑賞。	児童39名 引率教員3名
3	徳島市八万小学校 5学年	平成20年5月28日[水] 10:45-12:05	安達一樹(専門学芸員)、森芳功(専門学芸員)、福原輝実(文化推進員)	特別展「大正 ロマン 昭和 モダン展」、所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅱ」を鑑賞。	児童112名 引率教員5名
4	阿南市立新野東小学校 1-3学年	平成20年5月29日[木] 10:15-11:00	吉原美恵子(専門学芸員)	特別展「大正 ロマン 昭和 モダン展」、所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅱ」を鑑賞。	児童23名 引率教員3名
5	徳島市上八万小学校 5学年	平成20年5月29日[木] 10:00-10:50	安達一樹(専門学芸員)、森芳功(専門学芸員)、友井伸一(専門学芸員)、福原輝実(文化推進員)	特別展「大正 ロマン 昭和 モダン展」、所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅱ」を鑑賞。	児童61名 引率教員3名
6	阿南市立新野小学校 3学年	平成20年5月29日[木] 13:20-14:05	森芳功(専門学芸員)	特別展「大正 ロマン 昭和 モダン展」、所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅱ」を鑑賞。	児童18名 引率教員2名
7	徳島市沖洲小学校 3学年	平成20年5月29日[木] 13:00-13:50	安達一樹(専門学芸員)、友井伸一(専門学芸員)、福原輝実(文化推進員)	特別展「大正 ロマン 昭和 モダン展」を鑑賞。	児童91名 引率教員5名
8	つるぎ町立半田小学校 4学年	平成20年6月6日[金] 10:50-11:35	福原輝実(文化推進員)	特別展「大正 ロマン 昭和 モダン展」、所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅱ」を鑑賞。	児童26名 引率教員2名
9	徳島県立那賀高等学校美術部 1、3学年	平成20年8月3日[日] 10:00-12:00 13:00-14:15	森芳功(専門学芸員)、 吉川神津夫(専門学芸員)	特別展「アメリカ版画の今展」、所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅲ」を鑑賞。	生徒10名 引率教員2名
10	徳島市福島小学校 3学年	平成20年9月26日[金] 11:30-12:40	森芳功(専門学芸員)、 福原輝実(文化推進員)、 河村鉄平(文化推進員)	特別展「未来に伝えたい」、所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅲ」を鑑賞。	児童130名 引率教員5名
11	那賀町立あい幼稚園 4、5歳児	平成20年10月16日[木] 11:10-11:40	福原輝実(文化推進員)	所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅳ」を鑑賞。	園児47名 引率教員6名
12	吉野川市立川島小学校 5学年	平成20年10月21日[火] 13:20-14:35	竹内利夫(主任学芸員)	所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅳ」を鑑賞。	児童47名 引率教員2名
13	小松島市立新開小学校 3、4学年	平成20年10月24日[金] 10:30-12:00	森芳功(専門学芸員)、 福原輝実(文化推進員)	特別展「京都画壇に咲いた夢」、所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅳ」を鑑賞。	児童64名 引率教員4名
14	鳴門教育大学附属小学校 3学年	平成20年10月24日[金] 13:10-14:30	山本朝彦(鳴門教育大学教授)、森芳功(専門学芸員)、河村鉄平(文化推進員)	特別展「京都画壇に咲いた夢」、所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅳ」を鑑賞。	児童117名 引率教員6名
15	小松島市立新開小学校 5学年	平成20年10月24日[金] 13:30-13:55	福原輝実(文化推進員)	所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅳ」を鑑賞。	児童38名 引率教員2名
16	鳴門市鳴門第一中学校 1学年	平成20年10月30日[木] 10:00-11:00	森芳功(専門学芸員)	特別展「京都画壇に咲いた夢」、所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅳ」を鑑賞。	生徒250名 引率教員14名
17	徳島市加茂名南小学校 2学年	平成20年11月7日[金] 9:30-12:00	山本敏子、原田真由美、榎本久美、後藤由紀子、田岡佳美副校長(徳島市加茂名南小学校教諭)、森芳功(専門学芸員)、竹内利夫(主任学芸員)	特別展「京都画壇に咲いた夢」、所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅳ」を鑑賞。	児童126名 引率教員6名
18	徳島市大松小学校 4学年	平成20年11月7日[金] 9:30-10:10	福原輝実(文化推進員)、河村鉄平(文化推進員)	特別展「京都画壇に咲いた夢」、所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅳ」を鑑賞。	児童71名 引率教員3名
19	徳島市八万南幼稚園 4、5歳児	平成20年11月11日[火] 10:15-10:45	竹内利夫(主任学芸員)	特別展「京都画壇に咲いた夢」を鑑賞。	園児65名 引率教員6名

	学校名	開催日時	講師	展覧会名	参加者
20	美馬市立川原柴小学校 2、3、4、6学年	平成20年11月14日[金] 11:30-12:00	森芳功(専門学芸員)	特別展「京都画壇に咲いた夢」、 所蔵作品展「徳島のコレクション 2008-Ⅳ」を鑑賞。	児童4名 引率教員4名
21	徳島市八万南小学校 2学年	平成20年11月21日[金] 9:30-10:40	安達一樹(専門学芸員)、 森芳功(専門学芸員)、 福原輝実(文化推進員)、 河村鉄平(文化推進員)	特別展「京都画壇に咲いた夢」、 所蔵作品展「徳島のコレクション 2008-Ⅳ」を鑑賞。	児童110名 引率教員5名
22	徳島市八万南小学校 3学年	平成20年12月5日[金] 13:45-14:50	福原輝実(文化推進員)	特別展「京都画壇に咲いた夢」、 所蔵作品展「徳島のコレクション 2008-Ⅳ」を鑑賞。	児童110名 引率教員7名
23	石井町立石井中学校美術部 1、2学年	平成21年1月6日[火] 13:50-14:40	森芳功(専門学芸員)	所蔵作品展「徳島のコレクション 2008-Ⅳ」を鑑賞。	生徒12名 引率教員2名
24	吉野川市立森山小学校 5学年	平成21年2月4日[水] 13:30-14:45	森芳功(専門学芸員)	所蔵作品展「徳島のコレクション 2009-Ⅰ」を鑑賞。	児童7名 引率教員2名
25	徳島市応神保育所 2-5歳児	平成21年3月4日[水] 10:00-10:45	福原輝実(文化推進員)	所蔵作品展「徳島のコレクション 2009-Ⅰ」を鑑賞。	園児34名 引率教員9名
26	洲本市立広石小学校・境 小学校 5学年	平成21年3月4日[水] 13:30-14:40	森芳功(専門学芸員)	所蔵作品展「徳島のコレクション 2009-Ⅰ」を鑑賞。	児童19名 引率教員2名
27	佐那河内村立佐那河内小 小学校 3学年	平成21年3月6日[金] 9:45-10:45	吉原美恵子(専門学芸員)	所蔵作品展「徳島のコレクション 2009-Ⅰ」を鑑賞。	児童13名 引率教員3名
28	鳴門教育大学附属幼稚園 5歳児	平成21年3月6日[金] 9:45-11:20	森芳功(専門学芸員)、 福原輝実(文化推進員)	所蔵作品展「徳島のコレクション 2009-Ⅰ」を鑑賞。	園児50名 引率教員4名
計 園児・児童・生徒 1735名 教員 122名 / 合計 1857名					

(2) 学校単独の団体鑑賞

	学校名	開催日時	展覧会名	参加者
1	徳島県立看護学院 1学年	平成20年4月11日[金] 11:00-12:00	所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅱ」を鑑賞。	生徒119名 引率教員5名
2	さぬき市立志度中学校(香川) 2学年	平成20年4月16日[水] 10:00-11:30	所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅱ」を鑑賞。	生徒104名 引率教員8名
3	徳島市津田中学校 1学年	平成20年5月9日[金] 10:30-11:35	特別展「大正ロマン昭和モダン展」、 所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅱ」を鑑賞。	生徒116名 引率教員8名
4	みずほ保育園(徳島市) 4歳児	平成20年6月4日[水] 10:30-11:00	特別展「大正ロマン昭和モダン展」、 所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅱ」を鑑賞。	園児5名 引率教員3名
5	関西大学第一高等学校(大阪) 1、3学年	平成20年8月6日[水] 12:00-13:00	特別展「アメリカ版画の今展」、 所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅲ」を鑑賞。	生徒5名 引率教員2名
6	関西大学第一中学校(大阪) 1-3学年	平成20年8月6日[水] 12:00-13:00	特別展「アメリカ版画の今展」、 所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅲ」を鑑賞。	生徒11名 引率教員3名
7	花園大学(京都) 1-4学年	平成20年9月17日[水] 12:00-12:30	特別展「未来に伝えたい展」、 所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅲ」を鑑賞。	学生29名 引率教員1名
8	小松島市立小松島小学校 5、6学年	平成20年11月5日[水] 11:00-12:00	特別展「京都画壇に咲いた夢」、 所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅳ」を鑑賞。	児童45名 引率教員3名
9	阿南市立平島小学校 4学年	平成21年3月3日[火] 12:30-13:10	所蔵作品展「徳島のコレクション2009-Ⅰ」を鑑賞。	児童75名 引率教員4名
計 園児・児童・生徒 530名 教員 40名 / 合計 570名				

3 学校の授業等による講師派遣(出前授業)

	学校名	開催日時	内容	講師	参加者
1	海陽町立海南中学校 3学年	平成20年5月16日[金] 8:55-9:25	海陽町立博物館「巨匠 吹田文明版画展」を見学する生徒たちに鑑賞支援を行った。(出品作品は当館コレクション)	竹内利夫(主任学芸員)	生徒32名、 教員2名
2	海陽町立海南中学校 2学年	平成20年5月16日[金] 9:55-10:25	中学校では、すでに当館の鑑賞シート7「吹田文明の色と形」やマーブリングの技法体験を行い、作家の出演ビデオも視聴している。それをふまえた支援となった。	竹内利夫(主任学芸員)	生徒33名、 教員3名
3	海陽町立海南中学校 3学年	平成20年5月16日[金] 10:55-11:25	生徒が想像した音を例にして解説を行うとともに、物語や感想を書くプログラムをサポート。	竹内利夫(主任学芸員)	生徒31名、 教員2名
4	海陽町立海南中学校 1学年	平成20年5月16日[金] 11:55-12:25	鳥澤和佳教諭からの提案をもとに、1年には作品を解釈しながら鑑賞する楽しみを伝え、2年には、自己の表現を見つけるために模索した作家の努力を紹介。3年には作家の生涯と表現の展開を重ねながら解説。	竹内利夫(主任学芸員)	生徒44名、 教員2名
5	海陽町立海南中学校 2学年	平成20年5月16日[金] 13:40-14:10	小学生には、鑑賞シート7を用いた。作品を見て音を想像する「音のかくれんぼクイズ」や、考えた音をクラスで交流する「音のかくれんぼ合戦」を実践。また、作家の画業や多色刷り木版画についての解説も加えた。	竹内利夫(主任学芸員)	生徒34名、 教員3名
6	海陽町立川上小学校 1、3-6学年	平成20年5月21日[水] 9:00-10:00	低学年には、「形なぞなぞ」、高学年には作品の主題についての説明も行った。	竹内利夫(主任学芸員)	児童24名、 教員6名
7	海陽町立穴喰小学校 5学年	平成20年5月22日[木] 11:00-11:50		竹内利夫(主任学芸員)	児童20名、 教員2名
8	海陽町立海部中学校 1-3学年	平成20年5月22日[木] 13:40-14:40		竹内利夫(主任学芸員)	生徒50名、 教員10名
9	海陽町立海南小学校 3学年	平成20年5月23日[金] 9:00-9:50		竹内利夫(主任学芸員)	児童51名、 教員3名
10	海陽町立海南小学校 5学年	平成20年5月23日[金] 10:00-10:50		竹内利夫(主任学芸員)	児童43名、 教員5名
11	海陽町立海南小学校 6学年	平成20年5月23日[金] 11:00-11:50		竹内利夫(主任学芸員)	児童33名、 教員2名
12	海陽町立海南小学校 4学年	平成20年5月23日[金] 13:30-14:20		竹内利夫(主任学芸員)	児童43名、 教員3名
13	海陽町立海南小学校 1学年	平成20年5月29日[木] 11:00-11:45		竹内利夫(主任学芸員)	児童38名、 教員5名
14	海陽町立海南小学校 2学年	平成20年5月29日[木] 13:30-14:15		竹内利夫(主任学芸員)	児童40名、 教員5名
15	吉野川市立森山小学校 3-4学年	平成20年10月8日[水] 13:45-14:45	同校出身の林雲谿を取り上げた単元のなかの鑑賞授業。日本画の見方、雲谿の絵のよさ、彼の「がんばったこと」を紹介しつつ、スライドや学校所蔵の作品を用いて、意見を交流しながら鑑賞をすすめた。日本画の絵具や道具も紹介した。	森芳功(専門学芸員)	児童94名、 教員11名
16	吉野川市立森山小学校 5-6学年	平成20年10月8日[水] 14:45-15:45		森芳功(専門学芸員)	
17	徳島市新町小学校 6学年	平成20年10月17日[金] 10:35-11:30	大塚国際美術館見学の事前授業。西洋美術担当学芸員が、絵を楽しく見るための支援を行った。スライドを見ながら観察や推理を行い、カードに記入した意見を班ごとに交流。学芸員の仕事も紹介した。	友井伸一(専門学芸員)	児童38名、 教員4名
18	三好市立樺生小学校、吾橋小学校、西岡小学校、善徳小学校 1-3学年	平成20年11月11日[火] 11:05-11:50	旧西祖谷山村内4小学校の合同授業。1-3年生(森)は、所蔵作品をスライドで見て意見交換をした後、鑑賞シート7と図版で、想像した音を交流して楽しんだ。4-6年生(友井)は、スライドを見ながら観察や推理を行い、カードに記入した意見を班ごとに交流。保護者の見学もあった。	森芳功(専門学芸員)	児童52名、 教員等15名
19	三好市立樺生小学校、吾橋小学校、西岡小学校、善徳小学校 4-6学年	平成20年11月11日[火] 11:05-11:50		友井伸一(専門学芸員)	
計 児童・生徒 699名 教員等 80名 / 合計 779名					

4 学校の授業等への協力

(1) 授業

学校名	内容	対応	活動期間
徳島市加茂名小学校 5学年	谷口洋子先生研究授業。当館の鑑賞シート3「ピカソの肖像画」を用いた鑑賞授業のなかで、友井学芸員がビデオ出演した。	友井伸一(専門学芸員)	平成20年12月

(2) 鑑賞シート

鑑賞シートは、当館の鑑賞教育推進プロジェクトで開発した鑑賞教材で、①学校の授業で使う、②鑑賞のきっかけをつかみ深める、③学校での授業と美術館における鑑賞を結びつける、という特徴をもっている。

広報的送付の他、希望部数を各学校に送り活用してもらっている。

5 中高生の職場体験学習・インターンシップ

生徒が、自分の学習内容や進路に関連した就業体験や見学を行う「中高生の職場体験学習・インターンシップ」の受け入れを行った。

	学校名	開催日時	内容	講師	参加者
1	徳島市南部中学校 3学年	①平成20年5月20日[火] 9:00-15:00	(1日目)美術館の仕事についての説明、施設見学、鑑賞授業モニター、特別展「大正ロマン昭和モダン展」の鑑賞、普及行事作業など。	森芳功(専門学芸員)、安達一樹(専門学芸員)、竹内利夫(主任学芸員)、福原輝実(文化推進員)、河村鉄平(文化推進員)	生徒3名
		②平成20年5月21日[水] 9:00-15:00	(2日目)資料整理作業、ピカソの版画調査体験、レポート作成など。	森芳功(専門学芸員)、安達一樹(専門学芸員)、友井伸一(専門学芸員)	
		③平成20年5月22日[木] 9:00-15:00	(3日目)山下菊二遺品整理作業、所蔵作品展「徳島のコレクション2008-Ⅱ」の鑑賞、図書整理作業など。	森芳功(専門学芸員)、江川佳秀(学芸課長)、吉原美恵子(専門学芸員)、北本友美(文化推進員)、鎌田真由(文化推進員)	
2	徳島県立徳島工業 高等学校 2学年	①平成20年9月11日[木] 9:00-16:00	(1日目)ガイダンス、施設見学、作品の扱い方実習、特別展飾り付け見学、普及作業、収蔵庫資料整理作業など。	竹内利夫(主任学芸員)、江川佳秀(学芸課長)、河村鉄平(文化推進員)	生徒3名
		②平成20年9月12日[金] 9:00-16:00	(2日目)こどもワークシート印刷、図書整理作業、鑑賞授業モニター、パネルなどのデザインなど。	竹内利夫(主任学芸員)、吉川神津夫(専門学芸員)、北本友美(文化推進員)、福原輝実(文化推進員)、鎌田真由(文化推進員)	
3	徳島県立阿波高等 学校 3学年	①平成20年9月20日[土] 9:00-16:00	(1日目)ガイダンス、施設見学、作品の扱い方実習、事務作業、印刷物校正作業、収蔵庫資料整理作業など。	竹内利夫(主任学芸員)、江川佳秀(学芸課長)、福原輝実(文化推進員)	生徒1名
		②平成20年9月21日[日] 9:00-16:00	(2日目)こどもワークシート印刷、印刷物校正作業、普及作業など。	竹内利夫(主任学芸員)、福原輝実(文化推進員)	
計 生徒 7名 / 合計 7名					

6 クラブ活動への講師派遣

美術クラブの発表展で、自作について助言を求めてきた生徒に対して指導を行った。

	クラブ活動	開催日時	講師	場所	参加者
1	徳島県立城南高校美術部 部員(2年生)	平成20年8月24日[日] 9:15-10:20	安達一樹(専門学芸員)	県郷土文化会館	生徒 5名 教員 1名
2	徳島県立城南高校美術部 部員(2、3年生)	平成21年1月6日[日] 13:00-15:00	安達一樹(専門学芸員)	ヨンデンプラザ徳島ギャラリー	生徒 9名 教員 1名
計 生徒 14名 教員 2名 / 合計 16名					

7 教員研修会などへの講師派遣

	研修会名	開催日時	内容	講師	場所	参加者
1	徳島市・名東郡小学校図画工作部会研修会	平成20年6月19日[木] 14:00-16:30	長岡教授による彫刻の型取り実習と、特別展「大正ロマン昭和モダン展」の展示解説を行った。	長岡強(鳴門教育大学教授)、安達一樹(専門学芸員)	アトリエ2、展示室3	教員46名
2	第4回鑑賞シート活用授業研究会	平成20年7月6日[日] 10:00-12:15	「シーがえるアートスクール」と名付けた授業研究会。濱口教諭が、鑑賞シート7「吹田文明の色と光」を使った「音のかくれんぼ」の模擬授業を行い、その後意見交換を行った。	濱口由美(富田小学校教諭)、森芳功(専門学芸員)、竹内利夫(主任学芸員)	アトリエ2	教員18名
3	吉野川市小学校図画工作部会研修会	平成20年8月19日[火] 13:30-15:30	森は「たのしくなる鑑賞」と題し、支援のあり方や当館の活動を紹介。竹内は、鑑賞シート7の「音のかくれんぼ」の模擬授業を行った。展示室で「シーがえる」の手法も説明。	森芳功(専門学芸員)、竹内利夫(主任学芸員)	講座室、展示室1、2、3	教員18名
4	美馬市小学校図画工作部会研修会	平成20年8月20日[水] 10:00-12:00	森は「たのしくなる鑑賞」と題し、支援のあり方や当館の活動を紹介。竹内は、鑑賞シート7の「音のかくれんぼ」の模擬授業を行った。展示室で「シーがえる」の手法も説明。	森芳功(専門学芸員)、竹内利夫(主任学芸員)	アトリエ2、展示室1、2、3	教員12名
5	平成20年度徳島県高等学校教育研究大会美術学会	平成20年8月22日[金] 10:00-15:30	森は、鑑賞シートや当館の学校連携活動についての紹介と、トラックヤード、空調機械室、収蔵庫など館内の施設を案内。竹内は、特別展「アメリカ版画の今」の展示解説を行った。	森芳功(専門学芸員)、竹内利夫(主任学芸員)	アトリエ2、展示室1、2、3、館内	教員34名
6	第5回鑑賞シート活用授業研究会	平成20年11月15日[土] 10:30-12:35	第4回研究会後、勤務校で鑑賞シート7を実践した教員が集まり、実践報告と意見交換を行った。濱口教諭、竹内学芸員を中心に進行。美術科教育学会西地区研究会と関連させて開催した。	濱口由美(富田小学校)、竹内利夫(主任学芸員)	アトリエ2	教員35名
7	美術科教育学会西地区研究会	平成20年11月15日[土] 13:35-17:00	テーマは「創造を生涯の友にする『鑑賞遊び』」。研究発表「パスポート力を涵養する鑑賞遊び」(濱口教諭)、「鑑賞パスポートを手がかりにした子どもたち」(濱口教諭・竹内学芸員)と、パネルディスカッション「『鑑賞遊び』の習得・活用・探求ー図工室から生涯美術へー」を行った。	濱口由美(富田小学校)、竹内利夫(主任学芸員)、赤木里香子(岡山大学教育学部)、山本朝彦(鳴門教育大学)、山田芳明(鳴門教育大学)、結城栄子(徳島県立総合教育センター)、森芳功(専門学芸員)	講座室	教員49名
8	海部郡図画工作部会研修会	平成21年1月7日[水] 9:30-12:30	「版画に親しもう」と題した版画分野の基礎的な材料研究の研修。美術作品と児童の作例を紹介した他、版材の実物を用いた説明や、スチレン版画による低学年向け造形遊びも体験できるようにした。また、所蔵作品展で、版の効果を活かした油彩や版画も鑑賞。	竹内利夫(主任学芸員)	アトリエ2、展示室1、2	教員11名
計 223名						

学校と美術館を結ぶ鑑賞教育を実践的に研究するための研究会。平成14年7月の発足以来、「鑑賞シート」や「鑑賞シート指導の手引き」の作成、シートを使った実践とその普及に取り組んでいる。鑑賞教育を幅広く研究し、美術館における鑑賞教育に学校現場の意見を取り入れる場ともなっている。メンバーは、小学校、中学校教員、大学の研究者、当館職員など。

(1) 打ち合わせ会(研究会)の記録

●日時

- 第51回 平成20年6月1日〔日〕 14:00-18:30
- 第52回 平成20年7月6日〔日〕 13:30-17:45
- 第53回 平成20年8月31日〔日〕 14:15-17:15
- 第54回 平成20年9月27日〔土〕 14:00-18:35
- 第55回 平成20年10月18日〔土〕 14:00-18:45
- 第56回 平成20年12月23日〔火・祝〕 14:00-18:00
- 第57回 平成21年1月31日〔土〕 14:00-18:00
- 第58回 平成21年2月28日〔土〕 14:00-17:30

●会場

徳島県立近代美術館(講座室)

●参加者(出席者)

山本朝彦(鳴門教育大学教授)、結城栄子(徳島県立総合教育センター)、濱口由美(徳島市富田小学校教諭)、山本敏子(徳島市加茂名南小学校教諭)、宮越千佳(鳴門教育大学附属中学校教諭)、小浜かおり(鳴門教育大学大学院生 中学校教員)、亀井幸子(鳴門教育大学大学院生 高校教員)、仲田耕三(専門学芸員)、森芳功(専門学芸員)、竹内利夫(主任学芸員)、福原輝実(文化推進員 第56回まで)
津谷有季(第52回オブザーバ参加 京都教育大学大学院)

(2) 作成したワークシート、指導の手引き

- ・鑑賞シート指導の手引きー「吹田文明の色と光」 A4判縦15ページ 簡易印刷 平成21年2月発行
- ・鑑賞シートno.8 「現代の写真 大久保英治さんとメヂからスコープ！」 A4判横4ページ カラー印刷 平成21年3月発行

(3) 研究発表等(プロジェクトや当館と関わる研究発表等)

- ・濱口由美「言語活動を引き出す造形活動の実践Ⅱークレーの作品と言語を生み出すかわり方を学んだ子どもたちー」美術科教育学会東地区6月研究会 東京家政大学 平成20年6月28日(口頭発表)
- ・山本朝彦、宮脇理、仲田耕三、森芳功、濱口由美、仲野泰生、塚田美紀、竹内利夫、山本敏子、井上由桂、小崎真「美術館と学校の連携による鑑賞教育の推進：美術館のアイデンティティを基盤とした学校との連携の方法」第32回InSEA国際美術教育学会世界大会 大阪国際交流センター 平成20年8月6日(口頭発表) * プロジェクト以外の共同発表者：宮脇理氏(元筑波大学)、仲野泰生氏(川崎市岡本太郎美術館)、塚田美紀氏(世田谷美術館)、井上由佳氏(文教大学)、小崎真氏(兵庫教育大学連合大学院博士課程)
- ・亀井幸子、小浜かおり「美術鑑賞領域の指導及び学習の現状と課題：徳島県の中学・高校生、美術科教師へのアンケートからの考察」第32回InSEA国際美術教育学会世界大会 大阪国際交流センター

平成20年8月8日(口頭発表)

- ・濱口由美「鑑賞パスポートを手がかりにした子どもたち」美術科教育学会西地区研究会 徳島県立近代美術館 平成20年11月15日(口頭発表)
 - ・濱口由美、竹内利夫「鑑賞パスポートを手がかりにした子どもたち」美術科教育学会西地区研究会 徳島県立近代美術館 平成20年11月15日(口頭発表)
 - ・濱口由美、竹内利夫、赤木里香子、山本朝彦、山田芳明、結城栄子、森芳功「パネルディスカッション『鑑賞遊び』の習得・活用・探求ー図工室から生涯美術へー」美術科教育学会西地区研究会 徳島県立近代美術館 平成20年11月15日 * プロジェクト以外の共同発表者: 赤木里香子氏(岡山大学教育学部)、山田芳明氏(鳴門教育大学)
 - ・山本敏子「楽しいよ! お話をつくったり音をさがしたりー言語活動を取り入れた版画の表現と鑑賞活動ー」『美育文化』59巻1号 平成21年1月
 - ・山本敏子「言語活動を取り入れた版画の表現と鑑賞活動」第31回美術科教育学会佐賀大会 佐賀大学 平成21年3月28日(口頭発表)
- * 当館学芸員の研究発表は、7-2調査研究事業の項を参照。

(4) 関連記事等

- ・「美術館の利用、連携 徳島県立近代美術館 鑑賞シート使い感じ方を『交流』『日本教育新聞』平成20年11月10日

(5) 鑑賞シート活用授業研究会

- ・第4回研究会 授業体験 平成20年7月6日 * 4-2-7「教員研修会などへの講師派遣」を参照
- ・参加者が各勤務校で授業実践。 7月～11月。
- ・第5回研究会 平成20年11月15日 * 4-2-7「教員研修会などへの講師派遣」を参照
発表: 脇本正久(吉野川市立川島小学校)
報告: 鶴田愛子(徳島市大松小学校)、太田裕子(徳島市千松小学校)、山中真紀(徳島市加茂名南小学校)、細井聡子(徳島市北井上小学校)、川田真紀(徳島市川内南小学校)、山本敏子(徳島市加茂名南小学校)
進行: 濱口由美(徳島市富田小学校教諭)、竹内利夫(主任学芸員)

(6) 美術科教育学会西地区研究会

- 日時:平成20年11月15日 13:30-16:40
 - 会場:当館講座室
 - テーマ:創造を生涯の友にする『鑑賞遊び』
- * 内容等は、4-2-7「教員研修会などへの講師派遣」を参照

9 展覧会ごとの「子どもワークシート」作成

所蔵作品展、特別展ごとに子どもワークシートを作成している(主な対象年齢は、小学校4年生から中学生)。学校の団体鑑賞でセルフガイド的に用いたり、グループ鑑賞の教材として活用したりしている。また、個人来館した子どもにも配布している他、展覧会場では、関心のある来館者が自由に手にとることができるようにしている。

- ・「大正ロマン昭和モダン展」ワークシート B4判観音折り8頁 簡易印刷 平成20年4月発行

- ・「所蔵作品展2008-Ⅲ」ワークシート B4判両面刷二カ所折り 簡易印刷 平成20年6月発行
- ・「アメリカ版画の今ー5つの工房から」ワークシート B4判両面刷一カ所折り 簡易印刷 平成20年7月発行
- ・「未来に伝えたい」ワークシート A4判片面刷、10.5×14.6cm 程度のカード(8種) 簡易印刷 平成20年8月発行
- ・「所蔵作品展2008-Ⅳ」ワークシート A4判横両面刷一カ所折り 簡易印刷 平成20年10月発行
- ・「京都画壇に咲いた夢」ワークシート B4判両面刷二カ所折り縦6頁 簡易印刷 平成20年10月発行
- ・「所蔵作品展2009-Ⅰ」ワークシート A4判横両面刷 簡易印刷 平成21年1月発行

10 学校へのポスター、美術館ニュース、展覧会図録等の送付

(1) ポスター、美術館ニュース等

学校行事や授業などで当館を利用するときに役立つ印刷物を送付。「展覧会案内」(1回)、特別展のポスター・チラシ(4回)、美術館ニュース(4回)、所蔵作品展パンフレット(4回)など、発行時期の近いものをまとめて送付している。

・送付先

市町村教育委員会24カ所(小学校217校、中学校88校)、高等学校・県立学校53校
直接送付(小学校3校、中学校5校)

(2) 展覧会図録

学校図書館や授業で活用できるよう、送付可能なものについて前年度分の図録を送付している。

・送付先

小学校219校、中学校93校、高等学校53校(730冊)

4-3 美術館ボランティア

美術館活動への県民の参加を促し、地域に根ざした、開かれた美術館になるための取り組みとして平成15年度から、美術館ボランティアを導入した。ここで活動してきたメンバーが主体となって平成18年4月にボランティアグループ「ビボラボ」が結成された。今度は美術館との協働を一層推進していくと共に、より自立的な活動に取り組んでいくことを目指している。

1 協働事業の実施等

(1) ボランティア参加型事業「美術館で遊び隊」の開催

所蔵作品展に関連した各種のプログラムや美術館ならではのモノ作りをとおして、子供から大人まで、より多くの人々が美術館で楽しく過ごす機会を提供することを目的とした催し、ボランティア参加型事業「美術館で遊び隊」を、「ビボラボ」とともに企画・実施した。

	イベント名	日時・会場	内容	ボランティア出席者数	参加人数
1	美術館で遊び隊①「ビボラボ夏のミステリーツアー」	平成20年 8月23日[土] 13:00-16:00 所蔵作品展覧会場、アトリエ2	展示会場の展示作品をクイズに見立ててパズルを集める。その後アトリエにてストロー笛の製作を行う。 *参加対象は幼児から小学生。保護者同伴可。	15名	139名(保護者含む)
2	美術館で遊び隊②「飛べ風船！願いをのせてGO！ごう！ゴウ！」	平成21年3月21日[日] 13:00-16:00 所蔵作品展覧会場	所蔵作品展覧会場で「美術館で色いろゲーム」にチャレンジした後、ギャラリーの体験コーナーで思い思いに遊ぶ。 *参加対象は幼児から小学生。保護者同伴可。	14名	138名(保護者含む)
				計29名	計277名(保護者含む)

*受付をすることを条件に参加無料。

(2) 美術館の各種事業のサポート等

展示解説等の普及事業に積極的に参加しながら、館の事業への理解を深めた。

(3) 活動紹介と作品展の開催

初めての取り組みとして、徳島県民文化祭実行委員会と近代美術館との共催事業「ボランティアグループ「ビボラボ」活動紹介と作品展」を開催した。

	イベント名	日時	内容	入場者数
1	『おどる国文祭』1周年記念 第11回徳島県民文化祭共催事業 ボランティアグループ「ビボラボ」活動紹介とアート作品展	平成20年11月14日 [金]～16[土] 9:00～17:00 ギャラリー	ビボラボの今までの活動を紹介する新聞記事等、及び、会員15名より出品された、絵画、彫刻、陶芸など133点の作品を展示した。	452名

●関連記事等

「530フォーカス」四国放送 平成20年8月22日

「名探偵登場 謎解きまかせて」『朝日新聞』(徳島版)平成20年8月24日

「美術館ボランティア 活動紹介やアート展示」『徳島新聞』平成20年11月15日

「ボランティア活動紹介兼ねた作品130点」『読売新聞』(徳島版)平成20年11月16日

○参考

「ビボラボの概要」

1 会員

随時募集している。正会員18名、賛助会員14名。(20年度末)

2 活動内容(「ビボラボ」の活動に関する規約 より)

【活動】

第3条 この団体は、前条の目的を達成するために次の活動を行う。

(1)美術館と協働して開催する、美術に関する各種催しの企画・運営

(2)美術館の各種事業(教育普及活動、広報活動など)のサポート

(3)地域の芸術活動の発展に寄与する事業

(4)会員の研修、親睦

(5)その他、この団体の目的に添った事業

3 平成20年度の活動概要

ボランティア参加型事業「美術館で遊び隊」の開催(2回)、総会、イベント準備、各種打ち合わせ等、作品展開催、研修(オカリナ製作等)・見学旅行など(36回、ボランティア参加人数のべ259名)を行った。

また、独自の活動としては、前年度(平成19年度)に引き続き、徳島県危機管理局県民くらし安全課の「食の知向上人材育成事業」(家庭において「食の安全・安心」に関する正しい知識を子どもたちに伝えるための、子ども向け「普及啓発資材」作成)に参加した。その成果として、平成20年12月に、同課より「食の安全・安心すごろく」が発行された。

4-4 社会教育、生涯教育への講師派遣

	開催日時	演題	講師	会場
1	平成20年4月13日	「近代彫刻のたのしみ～入門編～」静かなる情熱 ー藤川勇造とロダンの美展鑑賞講座	安達一樹	香川県立ミュージアム
2	平成20年5月11日	「徳島県近代美術館の人間像コレクション」20世紀の人間像 徳島県近代美術館所蔵名品展記念講演会	江川佳秀	群馬県立館林美術館
3	平成20年5月17日、31日、6月14日	「徳島大学大学解放実践センター 講座 英国の現代彫刻1-3」	吉原美恵子	徳島大学 徳島近代美術館
4	平成20年5月30日	第24回海部相生水墨画展(講評)	安達一樹	牟岐町海の総合文化センター
5	平成20年7月13日	「塩田千春一今を生きる」	吉原美恵子	徳島県男女共同参画交流センター「フレアとくしま」
6	平成20年11月22日	「西洋美術について」	友井伸一	藍住北小学校図書館

5

資料収集保存事業

5-1 平成20年度新収蔵作品・資料

平成20年度に新収蔵となった作品・資料は、油彩画他10点(購入1点、寄贈9点)、日本画7点(寄贈7点)、水彩画1点(寄贈1点)、版画134点(寄贈134点)、二次資料76点(寄贈74点、その他受入2点)の計228点(購入1点、寄贈225点、その他受入2点)

●購入作品

作家名	作品名	制作年	技法・材質、寸法cm	作品種別	数量
坂井淑恵	間の人(The Man in Between)	1995年	油彩 キャンバス 227.3×363.6	油彩画他	1

●寄贈作品

作家名	作品名	制作年	技法・材質、寸法cm	作品種別	数量
清原重以知	雪の夕ぐれ	1936-37年頃	油彩 板 23.6×33.0	油彩画他	1
喜井黄羊	川辺之図(仮称)	昭和初期	紙本墨画 168.2×373.2	日本画	1
大野俊明	阿波木偶Ⅰ－娘	2007年	紙本着色 97.0×66.0	日本画	1
大野俊明	阿波木偶Ⅱ－花魁	2007年	紙本着色 97.0×66.0	日本画	1
大野俊明	阿波木偶Ⅲ－武者	2007年	紙本着色 97.0×66.0	日本画	1
竹内浩一	吉野川・春	2007年	紙本着色 99.6×72.4	日本画	1
中野嘉之	うず潮	2007年	紙本着色 59.9×187.6	日本画	1
上前智祐	(題名なし)	1980～2005年		版画	133
小林敬生	白い朝又は早暁- 群舞05・C-	2005年	木口木版 紙 86.7×116.3	版画	1
三宅克己	靖国神社(仮称)	不詳	水彩、鉛筆 紙 18.2×11.1	水彩	1
石丸一	子供(仮称)	1925年	油彩 キャンバス 59.0×49.0	油彩画他	1

作家名	作品名	制作年	技法・材質、寸法cm	作品種別	数量
石丸一	薔薇	1928年	油彩 キャンバス 65.0×53.0	油彩画他	1
石丸一	裸婦習作	1929年	油彩 キャンバス 52.0×44.0	油彩画他	1
石丸一	花	1929年	油彩 キャンバス 91.0×61.5	油彩画他	1
石丸一	山郷	1943年	油彩 キャンバス 72.0×90.0	油彩画他	1
石丸一	街なみ(仮称)	1957年	油彩 キャンバス 51.0×43.0	油彩画他	1
石丸一	作品	1960年	油彩 キャンバス 53.0×53.5	油彩画他	1
石丸一	瓶(仮称)	不詳	油彩 キャンバス 71.0×59.0	油彩画他	1
石丸一	白馬村幸田スケッチ(画帳)	1974年	水墨 紙 20.6×59.1	日本画	1
不詳	写真(1/2)	不詳	写真 25.0×30.2	二次資料	1
不詳	写真(2/2)	不詳	写真 24.6×30	二次資料	1
石丸一	石丸一絵葉書・写真一式	戦前期	写真	二次資料	49(24種)
島あふひ	島あふひ賀状一式	1961-1987年	木版、紙他	二次資料	23
不明	暗い色調の風景(《婦人像》 (110-0375)関連資料)	不明	油彩 キャンバス 36.2×42.2	二次資料	1
不明	明るい色調の風景(《婦人像》 (110-0375)関連資料)	不明	油彩 キャンバス 33.4×45.6	二次資料	1

5-2 所蔵作品・資料の現状

		昭和60年－平成元年度		平成2年度		平成3年度	平成4年度		平成5年度		平成6年度			平成7年度			平成8年度		平成9年度		平成10年度	
		購入	寄贈	購入	管理換	購入	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	管理換	購入	寄贈	管理換	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈
油彩画他	国内	93	14	4	18	4	6	30	6		11	5	4		20	1	9	21	11	6	8	3
	国外	19		1			3		2					2					2		1	
	小計	112	14	5	18	4	9	30	8		11	5	4	2	20	1	9	21	13	6	9	3
日本画	国内	7	2	10	24	3	1		1		3						7	3	2	1	4	
	国外																					
	小計	7	2	10	24	3	1		1		3						7	3	2	1	4	
彫刻・立体	国内	113	16	4	10	2	4	2	11								2		1	3	1	
	国外	22		1		1	1		2		3										1	
	小計	135	16	5	10	3	5	2	13		3						2		1	3	2	
水彩画	国内	13			59	6	74	165	2		5						2	1	2		2	
	国外	1																				
	小計	14			59	6	74	165	2		5						2	1	2		2	
素描	国内	12	9		190	1	8	5	1						1		4	62	5	134		
	国外	1																				
	小計	13	9		190	1	8	5	1						1		4	62	5	134		
写真・映像	国内	7									1										1	
	国外																		1		2	
	小計	7									1								1		3	
版画	国内	825	52	27	1	104	5	1	30	2	4			1	3		41	81	7	23	2	94
	国外	469		13		69	23	1	29										34		49	
	小計	1,294	52	40	1	173	28	2	59	2	4			1	3		41	81	41	23	51	94
二次資料	国内	299		64	56	1	4	13	1	14	8				93		1	855		977		
	国外	298		438		1	168		2		3											
	小計	597		502	56	2	172	13	3	14	11				93		1	855		977		
その他	国内																					
	国外	1																				
	小計	1																				
計	国内	1,369	93	109	358	121	102	216	52	16	31	6	4	1	117	1	66	1,023	28	1,144	18	97
	国外	811		453		71	195	1	35		6			2					37		53	
	小計	2,180	93	562	358	192	297	217	87	16	37	6	4	3	117	1	66	1,023	65	1,144	71	97

平成21年3月末現在

平成11年度		平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度			平成16年度		平成17年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度			小 計				計
購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	管理換	購入	寄贈	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	他	購入	寄贈	管理換	他	
2	8	1	12	6	3	1		9	21	1	3	3	6			1	18	1	9		176	179	24		379
				2																	32				32
2	8	1	12	8	3	1		9	21	1	3	3	6			1	18	1	9		208	179	24		411
11	8	4		3		12	2	4	1	1	5		2	14	6		1		7		91	33	25		149
11	8	4		3		12	2	4	1	1	5		2	14	6		1		7		91	33	25		149
2		1	8	3	1																144	30	10		184
				2				1			2	1									36	1			37
2		1	8	5	1			1			2	1									180	31	10		221
4	3	1						1			8		33	1					1		121	203	59		383
																					1				1
4	3	1						1			8		33	1					1		122	203	59		384
1					1	1		17	12			8	49	5			1				55	282	190		527
								1													2				2
1					1	1		18	12			8	49	5			1				57	282	190		529
49				17				3													77	1			78
				3																	6				6
49				20				3													83	1			84
4					8			16	1		52		25	13	7		1		134		1,131	432	1		1,564
9		1									10	4									706	5			711
13		1			8			16	1		62	4	25	13	7		1		134		1,837	437	1		2,275
					389							408	162		14		90		74	2	378	3,089	56	2	3,525
1																					911				911
1					389							408	162		14		90		74	2	1,289	3,089	56	2	4,436
	2																					2			2
				1																	2				2
	2			1																	2	2			4
73	21	7	20	29	402	14	2	50	35	2	68	419	277	33	27	1	111		225	2	2,173	4,251	365	2	6,791
10		1		8				2			12	5									1,696	6			1,702
83	21	8	20	37	402	14	2	52	35	2	80	424	277	33	27	1	111		225	2	3,869	4,257	365	2	8,493

5-3 寄託作品

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 cm	作品種別	備考
伊原宇三郎	南伊豆風景	1935年	油彩 キャンバス	53.0×65.2	油彩画他	平成22年3月31日まで
原菊太郎	群魚図屏風	1949-50年	紙本着色 屏風 (二曲一隻)	154.2×138.7	日本画	平成23年3月31日まで
一原五常	風景	1930年	油彩 キャンバス	117.0×91.2	油彩画他	平成23年3月31日まで

5-4 資料収集委員会、収集資料価格評価

1 資料収集委員会

●委員

(◎委員長 ○副委員長)

氏名	役職
◎酒井 哲朗	福島県立美術館長
○河崎 良行	徳島大学名誉教授
古川 一郎	古川病院副院長
坂田千代子	(株)あわわ代表取締役社長
坂野美恵子	四国大学教授
潮江 宏三	京都市立芸術大学教授
三木 哲夫	独立行政法人国立美術館 国立新美術館特任研究員
安永 幸一	福岡アジア美術顧問

- 開催 平成20年11月28日 第31回 資料収集委員会開催

2 収集資料価格評価

- 委員は利害関係を有しない者に依頼
- 開催 平成20年11月27日

5-5 作品修復

平成20年度の修復作品は、油彩画他7点、日本画1点、版画1点、素描1点。計9点。

分野	作品No.	作者名	作品名	主な処置
油彩画他	1100364	石丸 一	自画像	画面洗浄、浮き上がり接着、裏面清掃・殺菌、欠損部の充填整形、防黴、補彩、ワニス塗布。
	1100380	石丸 一	子供(仮称)	浮き上がり接着、画面洗浄、裏面清掃・殺菌、耳補強、破損部接着、変形修正・調整、欠損部の充填整形、補彩、防黴、ワニス塗布。
	1100381	石丸 一	薔薇	浮き上がり接着、破損箇所かけはぎ、旧ワニス除去、画面洗浄、裏面清掃・防黴・殺菌、耳補強、変形修正、欠損部の充填整形、防黴・殺菌、補彩、ワニス塗布。
	1100383	石丸 一	花	浮き上がり接着、裏面清掃・殺菌、耳補強、変形修正、画面洗浄、欠損部の充填整形、防黴・殺菌、補彩、ワニス塗布。
	1100384	石丸 一	山郷	浮き上がり接着、画面洗浄、防黴殺菌、補彩、ワニス塗布。
	1100386	石丸 一	作品	浮き上がり接着、画面洗浄、裏面清掃、支持体変形修正・調整、欠損部の充填整形、補彩、ワニス塗布。
	1100387	石丸 一	瓶(仮称)	浮き上がり接着、洗浄、欠損部の充填整形、防黴・殺菌、補彩、ワニス塗布。
日本画	1110145	喜井黄羊	川辺之図	本紙洗浄、欠失部繕い、剥落止め、裏打ち、補彩。屏風新調。
彫刻	1120006	野村仁	二重螺旋:DNAの複製	支柱新調

分野	作品No.	作者名	作品名	主な処置
彫刻	1120008	福岡道雄	鳥になれるか	着色し直し
版画	1131274	一原有徳	ケルンとチョックストーン	旧粘着物除去、脱落部接合、補強
素描	1150526	北村西望	裸婦(裏面 馬)	表面汚れ除去、染み抜き、洗浄(水洗)、破損部接着補強、補彩。

6

広報活動

6-1 広報用印刷物

(展覧会関連事業のものは、展覧会事業の項に記載)

・名称と形状

2008年度展覧会案内:16.3×30.0cm、蛇腹折り

美術館ニュース(66号):A4判8ページ

特集 アメリカ版画の今ー5つの工房から 竹内利夫

特集 未来に伝えたいー学芸員おすすめアート 友井伸一

所蔵作品展 徳島のコレクション2008ーⅢ

所蔵作品紹介 <SOUL>福嶋敬恭 吉川神津夫

美術館ニュース(67号):A4判8ページ

特集 京都画壇に咲いた夢 森芳功

所蔵作品展 徳島のコレクション2008ーⅣ

展覧会余話 改めて学芸員とは、美術館とは。 安達一樹

所蔵作品紹介 <ミラー・オブ・ザ・ミラー、ニューヨーク(パーティ)>吉原英雄 仲田耕三

美術館ニュース(68号):A4判8ページ

所蔵作品展 徳島のコレクション2009ーⅠ

調査レポート 棟方志功<耶蘇十二使徒板画柵>の柵名について 友井伸一

所蔵作品紹介 <シックス・セカンズ>アルフレッド・ジャール 吉原美恵子

美術館ニュース(69号):A4判8ページ

特集 宮城県美術館三浦コレクションによる ヨーロッパ・ポスター芸術の開花 アール・ヌーヴォーから

20世紀初頭まで 友井伸一
所蔵作品展 徳島のコレクション2009-I
収集活動メモ 上前智祐の版画 吉川神津夫
教育担当からのレポート 地道な研究のつながり 竹内利夫
所蔵作品紹介 <間の人>坂井淑恵 吉川神津夫

6-2 ホームページ

1 概要

ホームページの内容は概ね次の3つに分類できる。

- (1) 広報・利用案内・活動紹介。
 - (2) 作品解説など鑑賞支援や美術館活用に役立つテキスト。
 - (3) 所蔵作品と特別展借用作品に関する作家・作品・展覧会・美術用語の情報と、所蔵図書の情報をデータベース化しWeb上の検索に供している。
- 所蔵作品データベースの公開は1990年の開館以来行ってきた。現在では展覧会などのイベント記事とデータベース検索をスムーズに連動させている点が当館のホームページの特徴となっている。

2 今年度の実績

- (1) 「美術に関する新聞記事の見出し検索」を公開し1992年以降の見出しを検索できるようにした。「ぐるぐるアートワード」を公開し当館サイト内の美術情報を楽しんで検索できるようにした。
- (2) 「コレクションの画像」を公開し主な所蔵品の画像を紹介するサイトとした。「学校のページ」に「実践ライブラリー」と「鑑賞ひろば」を新設した。
- (3) アートクイズのデータベースを新設し、コンテンツとして「吹田文明さんの世界に挑戦！」を作成した。「地域ICT未来 フェスタ2008inとくしま」後援事業(ワープ会場)として公開。「所蔵作品展 徳島のコレクション2008-IV 『木版画 吹田文明』」会場でも紹介展示を行った(展示期間:10月18日-11月9日)。

6-3 サテライトギャラリー

県立中央・三好・海部の3病院のほか、県庁1階の県民サービスセンター、県庁11階の展望ロビー、西部総合県民局とあわせて6会場で実施し、フレアとくしま2階交流センターでの展示を終了した。所蔵作品を写真により複製し、額に納めて展示するとともに、近代美術館の紹介パネルや作家や作品の解説パネル等を設置した。

6-4 ニュース会員

美術館の展覧会や関連事業などの催しのお知らせを月に一回、送付するサービス。会員の特典としては、年度内に開催される展覧会のいずれかに1回使用できる展覧会招待券が送られる。平成20年度の会員数は52名。年間9回の各種印刷物の送付を行った。主な送付物は、年間展覧会案内(年1回)、美術館ニュース(年4回)、特別展ちらし(年4回)、所蔵作品展出品リスト(年4回)、文化の森から(各号)など。

6-5 放送番組への出演

* 展覧会、普及事業、資料収集保存事業など、各事業に関するものは、それぞれ各項目を参照。

7

調査研究事業

所蔵作品や徳島にゆかりがある作家の調査、展覧会企画のための事前調査、あるいは近現代美術に関する幅広い基礎調査等を実施している。

7-1 研究報告会

調査研究事業を組織的、継続的に推進するため、「研究報告会」を開催している。20年度は研究報告会のテーマとして、学芸員が共同で取り組む「共同研究テーマ」と、学芸員が個々に取り組む「個別研究テーマ」を設定した。「共同研究テーマ」はプロジェクト・リーダーを中心に作業を進め、随時経過を研究報告会に報告した。「個別研究テーマ」は各学芸員が研究の状況を発表し、質疑応答を重ねることで研究の深まりを図った。

第1回 平成20年5月8日

20年度の「共同研究テーマ」と「個別研究テーマ」について協議し、今後の予定を決定した。「共同研究テーマ」の題目と概要は7-1-1共同研究を、「個別研究テーマ」の題目と概要は7-1-2個別研究を参照。

第2回 平成20年7月31日

(個別研究テーマに関する発表)

吉川神津夫「福嶋敬恭の2点の〈SOUL〉について」

友井伸一「パブロ・ピカソ〈流砂〉について」

第3回 平成20年9月3日

(個別研究テーマに関する発表)

森芳功「京都画壇に咲いた夢－幸田春耕と暁冶の画業を中心にして」

江川佳秀「アジア人画学生の留学先としての日本 画塾、私立美術学校など」

第4回 平成20年10月

(個別研究テーマに関する発表)

吉原美恵子「塩田千春研究」

仲田耕三「守住勇魚所蔵作品基礎データ作成」

第5回 平成20年12月3日

(個別研究テーマに関する発表)

竹内利夫「鑑賞遊びの研究」

安達一樹「坂東文夫研究」

(紀要編集会議)

『徳島県立近代美術館研究紀要 第11号』(平成21年3月末刊行予定)の執筆者を決定した。

1 共同研究

徳島の美術動向－戦後第Ⅰ期

前年度からの継続研究。本館は開館以来地域の美術動向を通史的に掘り起こす作業を続け、平成12年度には調査が比較的調った部分を「近代徳島の美術家列伝－明治から第二次大戦まで」として公表した。本研究は、時代的にはその続編ともいうべきものである。概ね第二次大戦期から1950年前後までを対象とする。戦後の混乱の中で美術家たちが活動を再開し、県展をはじめとする各種公募展が発足するまでの時期にあたる。

将来的には特別展の開催も視野に入れて、学芸員が分担して資料の発掘、作品の所在調査、作家の履歴調査にあたった。

収蔵作家資料の作成

開館以来、本館では作家や作家遺族などから作品をはじめ、書籍や遺品類などの寄贈を受けてきている。これらの資料類は作家・作品研究の手がかりになるものと考えからである。その中でも、原菊太郎氏の遺族より寄贈された分に関しては、資料集として7年度に『特別集書目録Ⅰ 原菊太郎文庫』を作成している。現在、これに引き続く資料集作成のため、整理を進めているところである。20年度は三木多聞氏(当館元館長)から寄贈された図書の整理を進めた。21年度は三木氏寄贈図書の整理を終えることを目標に、他の寄贈分も含めて整理を進めていく。

収蔵作品の再調査

当館の収蔵作品・資料は、1984年4月に最初の受け入れを行って以来20年以上が経過し、収蔵点数も8,000点を超えている。この間、作品・資料の保存については細心の注意を払い、必要に応じて保存、修復処置を施してきた。しかしながら、近年、作品の保存・修復の世界では、戦後の石油化学系の素材を使用した作品の経年変化など、新たな課題が生じており、より慎重な状態の点検が求められるようになってきている。

そのため、展示や貸出の依頼時だけでなく、順次必要に応じて作品を再度精査することで、状態調査を強化した。また作品にまつわる情報についても蓄積につとめた。

江川佳秀「アジア人画学生の留学先としての日本 画塾、私立美術学校など」

戦前期の日本には、中国、朝鮮など東アジア各地の美術留学生が学んでいる。彼らは帰国後、各地の美術の近代化に一定の役割をはたした。近代東アジアの美術状況を考える上でも、日本の近代美術史を考える上でも、見過ごせない現象である。この問題に関しては、吉田千鶴子氏が東京美術学校に学んだ留学生の実態を明らかにされ、帝国美術学校や女子美術学校についても、後身の武蔵野美術大学や女子美術大学によって、留学生受け入れの実態が明らかにされつつある。

本研究は、これら先行研究を補うものである。いまだ調査が手つかずである各画塾や美術学校について、留学生の在籍状況を明らかにすることを試みた。本年度は川端画学校、太平洋画会研究所(太平洋美術学校)、日本美術学校、関西美術院について調査し、在籍者の一覧を作成した。成果は順次、研究紀要等で公開するとともに、今後は他の画塾、美術学校についても調査を進めたい。

仲田耕三「守住勇魚所蔵作品基礎データ作成」

守住勇魚(1854-1927年)は、阿波藩の御用絵師で帝室技芸員にもなった守住貫魚の次男として生まれたが、1875(明治8)年に上京。東京麹町平河町の国沢新九郎の私塾彰技堂において画学を修め、1876年11月に我が国最初の官立美術学校として設立された工部美術学校に入学。初期洋画のパイオニアの一人として知られている。

守住家の資料は、1971年に一括して徳島県博物館に寄贈され、現在は徳島県立博物館で保管されている。当館設立にあたり、守住家資料の守住勇魚の作品、遺品などの一部が保管転換されたが未整理となっており、本館所蔵の守住勇魚の資料を再調査するとともに、基礎データを整備しようとするものである。その成果は、館蔵作品・資料のデータベースに反映させるとともに、20年度特別展「未来に伝えたいー学芸員おすすめアート」で一部を紹介した。

森芳功「京都画壇に咲いた夢ー幸田春耕と暁冶の画業を中心にして」

当館の特別展「京都画壇に咲いた夢ー幸田春耕、暁冶父子と京都・徳島の日本画家たち」展の開催に向けて、春耕、暁冶の作品や生涯について調査するとともに、山元春挙や池田遙邨など京都画壇の大家、三木文夫、市原義之ら徳島県出身の画家たちと幸田親子との交流についても検討した。

近世から第二次世界大戦後まで、京都画壇には徳島出身の日本画家たちの系譜が認められる。二人はその流れのなかでも重要な位置を占めており、徳島の近代美術史を整理するうえで大事な研究課題といえる。また、近代の京都画壇の厚みを捉えるために、地域の美術史研究と関連させて調査する必要もあり、データを蓄積させたいと考えた。

本研究では、幸田春耕、暁冶の年譜、文献目録をそれぞれ作成した他、「京都画壇に咲いた夢ー幸田春耕と暁冶の画業を中心にして」を執筆し、展覧会図録(平成20年10月)に掲載。美術館講座でもその内容を紹介した。

安達一樹

「坂東文夫の基本データの蓄積」

2006年5月に亡くなった県人彫刻家・坂東文夫氏について、戦後早くから徳島彫刻集団を率いるなど、地元における指導的な役割を果たしたことから、徳島の美術を語る上で重要な作家として、調査することとした。徳島彫刻集団の協力を得ながら、坂東氏のアトリエを訪問するなど、基本データの蓄積を開始した。

「徳島県内の美術状況」

県内における美術活動の状況把握と、県民の創作活動の向上への協力を目的に、県内での美術及び周辺領域(手工芸等)の作品発表を継続的に訪問し、作品調査及び助言を行っている。また、県人及び県内に

在住する作家の県外での発表も一部調査を行った。調査結果の一部は、徳島新聞紙上に「美術展評」記事等として公開した。

概況としては、県内団体関係では、県女流美術家協会の100回展を始め、ふるさとを描き遺す会の40周年展など区切りとなる展覧会が開かれた。県内で作品の制作を行っている作家、愛好家については、引き続き高齢化が進んでいる。美術団体・グループの構成員も高齢者の比率が高くなっており、集団が維持できにくくなる傾向も続いている。若手は、大学を卒業し徳島に戻って活動を始めた者、教職に就きながら制作を継続する者、一部に制作活動に進展の見られる者なども散見されたが、県内の美術シーンを支えるまでには至っていない。

吉原美恵子「塩田千春研究」

近年、作家活動に注目する塩田千春について、これまでの調査報告をした。塩田千春は、1972年大阪に生まれた。京都精華大学洋画科を卒業後、1996年よりドイツに移り住み、ブラウンシュバイク大学にてマリナー・アブラモヴィッチに師事。以後、糸を張り巡らせたインスタレーション旧東ドイツにあった建物の窓を集めたインスタレーション、映像作品やパフォーマンスなど、多様な表現を展開し、現在、ベルリンを拠点に国際的に活躍している。国内でも、2007年に、「咲くやこの花賞」、「芸術選奨文部科学大臣賞新人賞」を受賞。同年、神奈川県民ホールギャラリーにて個展「沈黙から 塩田千春」、2008年、国立国際美術館にて個展「塩田千春 精神の呼吸」を開催するなど、近年の活躍と評価がめざましい作家の一人である。

塩田は、常に移り変わる社会の中で、私たちは、かけがえのない個人であり、人との繋がりの中で存在していることを示し続けてきた作家であり、「人間」を収集のテーマとして採り上げた当館の美術館活動の中で、今後も注目してゆくべき作家の一人と考える。

友井伸一「パブロ・ピカソ〈流砂〉について」

当館の所蔵作品である、ピカソの〈流砂〉(1966年刊)は、シュルレアリスムの詩人ピエール・ルヴェルディの詩にピカソが銅版画による10点の挿絵を付けた詩画集である。画家とモデルをテーマとして多数の連作を展開していたピカソ晩年の時期に当たる。

当館の作品は、購入時点から挿絵部分がマスキングテープで接着された状態で額装されているため、作品の保存上の観点から、額装を一時解除することとし、それとあわせて作品の再調査を行うこととした。まず、修復家より額装をはずすための技術的なアドバイスを受け、作品の状態調査に取りかかっている。また、編纂の経緯などの文献的な調査も進めているところである。

吉川神津夫「福嶋敬恭の2点の〈SOUL〉について」

当館の所蔵の福嶋敬恭作〈SOUL〉についての、作家への聞き取り調査をおこなった。〈SOUL〉は同タイトルで彫刻と絵画の2点が存在するが、当館ではこれまで絵画の方を〈ソウル(ポートレート)〉と表記してきた。今回の調査の結果、このタイトルはオフアール時に画廊が便宜上つけたものであり、2点とも〈SOUL〉が正式なタイトルであることが判明した。あわせて、人間像のテーマで制作された作品が一時期に過ぎない福嶋にとって、〈SOUL〉をはじめとする人間像の作品がどのような位置づけになるのかを考察した。

その成果は、館蔵作品に関する基礎データとして館内に蓄積するとともに、次年度に開催を検討している特別展「おもろいやつら」(平成21年7月18日-8月30日)にも反映できるはずである。

竹内利夫「鑑賞遊びの研究」

本館が刊行している鑑賞シートのプログラム「鑑賞遊び」は、作品との関わり方を学ぶことに重点をおいたもので、平成18-20年度にわたって学芸員の立場で授業実践を行ってきた。また美術館の催し「子ども鑑賞クラブ」では平成16年度から展覧会に即した遊び型のプログラムの開発を続けてきた。これらのプログラムは、

ただ親しませたり学習の下準備をしたりするものではなく、個々の作品鑑賞を深める効果と鑑賞活動の概念自体を学ぶ効果の両面をねらっている。そこで、作品カルタなどさまざまな学校種、年齢層の事例をもとに、鑑賞者が美術作品の造形要素や主題へいかに近づいているかを論考した。

その成果は、美術科教育学会2008年度第4回西地区研究会および第31回美術科教育学会佐賀大会で口頭発表を行うとともに、それらの内容を含めて論考の範囲を広げ『徳島県立近代美術館研究紀要 第11号』に公表した。

3 研究紀要

研究報告会の成果を受け、各年に研究紀要を刊行している。20年度は第11号を刊行した。

『徳島県立近代美術館研究紀要 第11号』平成21年3月31日刊 A4判 46ページ 500部

森芳功「廣島晃甫の生涯と彼を支えた人々―廣島秀太郎、馬上孝太郎、八代京野兵右衛門・葉子、廣島希求子と晃甫のつながりを軸にして」

竹内利夫「作品との関わり方としての鑑賞遊び―鑑賞の初歩的をめぐる」

7-2 研究成果の公表

1 展覧会図録、著書

友井伸一、安達一樹(共編)友井伸一、安達一樹、江川佳秀、仲田耕三、吉川神津夫、森芳功、竹内利夫、吉原美恵子(共著)『未来に伝えたい- 学芸員おすすめアート』徳島県立近代美術館 平成20年9月

森芳功(編著)『特別展 京都画壇に咲いた夢―幸田春耕、暁冶父子と京都・徳島の日本画家たち』徳島県立近代美術館 平成20年10月

2 学術論文

*『徳島県立近代美術館研究紀要 第11号』に発表した論文は、7-1-3「研究紀要」を参照。

江川佳秀「日本美術の後背地- 日本人美術家にとっての「満洲」」『日本美術史の杜 村重寧先生 星山晋也先生古稀記念論文集』竹林舎 平成20年9月

森芳功 “Analytical elements, expressive aspects, and communication capabilities in supporting visitors to improve their abilities in art appreciation - The experiences of art appreciative education of the Tokushima Modern Art Museum” The 32nd InSEA World Congress 2008 in Osaka, Japan, PROCEEDINGS, Review Board, Congress Agenda Planning Committee, The 32nd InSEA World Congress 平成20年8月

森芳功「鑑賞支援における分析的要素、表現的要素、コミュニケーション的要素とその連関について―徳島県立近代美術館における鑑賞教育の実践から―」『美術教育学』第30号 美術科教育学会 平成21年3月

安達一樹「帰国後の藤川」『静かなる情熱―藤川勇造とロダンの美展図録』香川県立ミュージアム 平成21年4月

竹内利夫・Gehrtz三隅友子・橋本智「美術館の鑑賞支援プログラムとの連携―美術作品を通じた学習の可能性―」『徳島大学国際センター紀要』第4号 平成21年3月

3 批評、報告、解説等

江川佳秀「20世紀の人間像・20世紀に始まる人間像」『徳島県立近代美術館所蔵名品展 20世紀の人間像』群馬県立館林美術館 平成20年4月

仲田耕三「ARTGALLERY下村観山〈毘沙門天弁財天〉」『ライト&ライフ』第569号(平成20年5月) 四国電力株式会社

仲田耕三「"あい"ランドARTギャラリー ジュール・パスキン〈下着の裸婦〉」『いのち輝く』第58号(平成20年5月) とくしま"あい"ランド推進協議会

仲田耕三「ARTGALLERY吹田文明〈美し徳島〉」『ライト&ライフ』第572号(平成20年8月) 四国電力株式会社

仲田耕三「"あい"ランドARTギャラリー 市原義之〈温雅秋日〉」『いのち輝く』第59号(平成20年9月) とくしま"あい"ランド推進協議会

仲田耕三「"あい"ランドARTギャラリー 広島晃甫〈赤装女〉」『いのち輝く』第60号(平成21年1月) とくしま"あい"ランド推進協議会

森芳功「美術をたのしむ、美術館をたのしむ その2- その13」『徳島エコノミージャーナル』第342-353号(平成20年4月-平成21年3月) プレインバンク

森芳功「紙の変遷をたどり、今日の「日本画」を考える『日本画—和紙の魅力を探る』展のこと」『KAMI 日本・紙アカデミーニュース』31号(平成20年12月) 日本・紙アカデミー

森芳功「[特集 InSEA 世界大会 in 大坂]発表テーマ 鑑賞支援における分析的要素、表現的要素、コミュニケーション的要素-徳島県立近代美術館における鑑賞教育の実践から-」『美術教育』798号(平成20年12月) 財団法人教育美術振興会

森芳功「今、わが館では… 徳島県立近代美術館」『徳島県博物館協議会ニュース』29号(2008年12月) 徳島県博物館協議会事務局

安達一樹「ロダンを土台に内なる充実」『四国新聞』平成20年4月3日

安達一樹「美術展評(平成20年3月)」『徳島新聞』平成20年4月19日

安達一樹「県内回顧2008美術」『徳島新聞』平成20年12月27日

竹内利夫「版画理解の視点を求めて」『KYOTO 版画2008 日本・アメリカ国際版画展』版画京都展実行委員会 平成20年4月

竹内利夫「Web展示 吹田文明さんの世界に挑戦!」『徳島県立近代美術館webサイト・地域ICTフェスタ2008inとくしま 後援事業(ワープ会場)』平成20年10月

竹内利夫「美術館の仲間たち」『徳島県立近代美術館webサイト・鑑賞ひろば-徳島市富田小学校6年生のページ』平成21年3月

竹内利夫「鑑賞シート活用授業研究会 vol.4-5」『徳島県立近代美術館webサイト』平成21年3月

4 口頭発表、講演等

江川佳秀「明治初年の美術留学生 井上辨次郎をめぐる」第2回明治美術学会有志による西日本研究会 平成20年6月21日 神戸大学

仲田耕三*「美術館と学校の連携による鑑賞教育の推進:美術館のアイデンティティを基盤とした学校との連携の方法」第32回InSEA(国際美術教育学会)世界大会2008 in大阪 平成20年8月6日 大阪国際交流センター

*山木朝彦氏(鳴門教育大学)、宮脇理氏(元筑波大学)、森芳功(徳島県立近代美術館)、濱口由美氏(徳島市富田小学校)、仲野泰生氏(川崎市岡本太郎美術館)、塚田美紀氏(世田谷美術館)、竹内利夫(徳島県立

近代美術館)、山本敏子氏(徳島市加茂名南小学校)、井上由佳氏(文教大学)、小崎真氏(兵庫教育大学連合大学院博士課程)との共同発表。

仲田耕三「美術館学芸員から見た学校教育との連携の問題点と課題」第31回美術科教育学会佐賀大会 平成21年3月28日 佐賀大学

森芳功「美術館と学校の連携による鑑賞教育の推進:美術館のアイデンティティを基盤とした学校との連携の方法」第32回InSEA(国際美術教育学会)世界大会2008 in大阪 平成20年8月6日 大阪国際交流センター

*山本朝彦氏(鳴門教育大学)、宮脇理氏(元筑波大学)、仲田耕三(徳島県立近代美術館)、濱口由美氏(徳島市富田小学校)、仲野泰生氏(川崎市岡本太郎美術館)、塚田美紀氏(世田谷美術館)、竹内利夫(徳島県立近代美術館)、山本敏子氏(徳島市加茂名南小学校)、井上由佳氏(文教大学)、小崎真氏(兵庫教育大学連合大学院博士課程)との共同発表。

森芳功「Analytical elements, expressive aspects, and communication capabilities in supporting visitors to improve their abilities in art appreciation - The experiences of art appreciative education of the Tokushima Modern Art Museum」第32回InSEA(国際美術教育学会)世界大会 2008年8月8日 大阪国際交流センター

森芳功「「よさ」と「感動」をめぐる構造についてー鑑賞支援活動の実践のなかからー」第31回美術科教育学会佐賀大会 平成21年3月28日 佐賀大学

竹内利夫*「美術館と学校の連携による鑑賞教育の推進:美術館のアイデンティティを基盤とした学校との連携の方法」第32回InSEA(国際美術教育学会)世界大会2008 in大阪 平成20年8月6日 大阪国際交流センター

*山本朝彦氏(鳴門教育大学)、宮脇理氏(元筑波大学)、仲田耕三(徳島県立近代美術館)、森芳功(徳島県立近代美術館)、濱口由美氏(徳島市富田小学校)、仲野泰生氏(川崎市岡本太郎美術館)、塚田美紀氏(世田谷美術館)、山本敏子氏(徳島市加茂名南小学校)、井上由佳氏(文教大学)、小崎真氏(兵庫教育大学連合大学院博士課程)との共同発表。

竹内利夫*「研究発表Ⅱ 鑑賞パスポートを手にした子どもたち」美術科教育学会2008年度第4回西地区研究会 平成20年11月15日 徳島県立近代美術館

*濱口由美氏(徳島市富田小学校)との共同発表。

竹内利夫「作品との関わり方としての鑑賞遊びー美術館における鑑賞支援の実践からー」第31回美術科教育学会佐賀大会 平成21年3月28日 佐賀大学

7-3 文献資料の整備

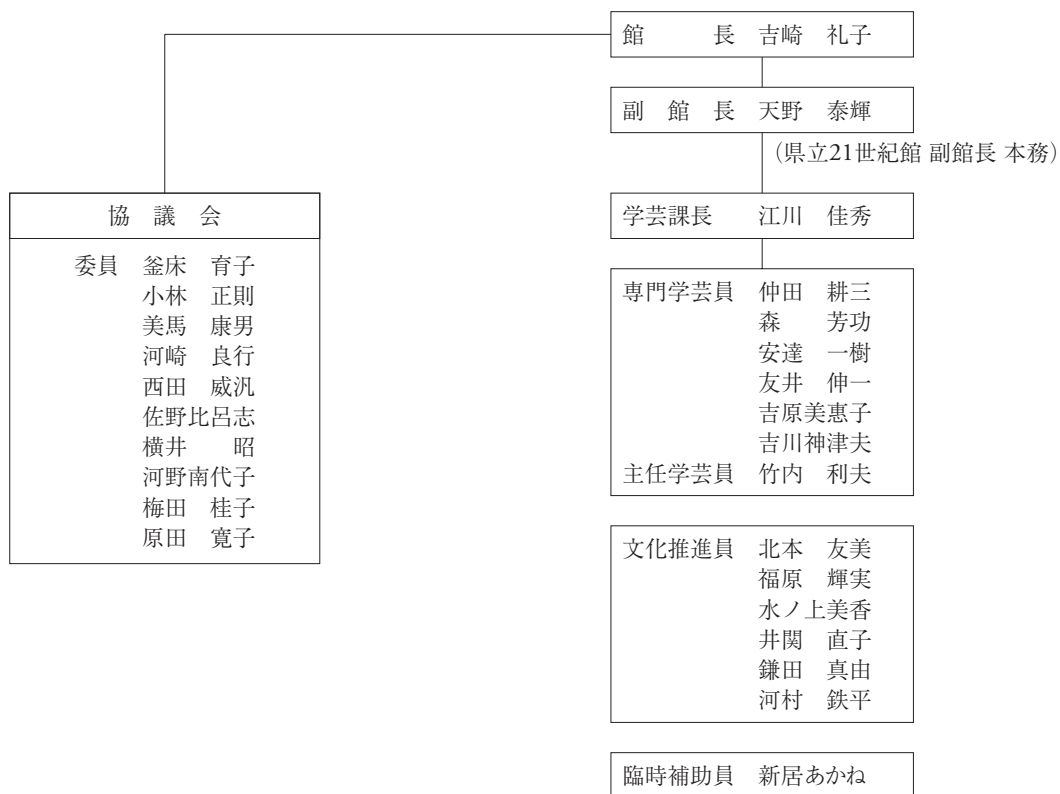
年度 種別	9年度- 平成元年度	平成2 年度	平成3 年度	平成4 年度	平成5 年度	平成6 年度	平成7 年度	平成8 年度	平成9 年度	平成10 年度	平成11 年度	平成12 年度	平成13 年度	平成14 年度	平成15 年度	平成16 年度	平成17 年度	平成18 年度	平成19 年度	平成20 年度	合計
図書・図録 (日本語)	520	1,498	67	80	102	94	210	114	314	167	86	109	123	189	203	57	127	238	100	105	4,503
図書・図録 (外国語)	1,315	283	47	339	196	193	54	91	83	69	259	51	56	73	77	60	24	48	47	39	3,404
雑誌バック ナンバー (日本語)	3,935	2,306	932	800	444	584	502	268	85	124	1	16	209	88	2	33	91	147	1	3	10,571
雑誌バック ナンバー (外国語)	66	1,149	0	67	25	5	0	0	23	15	0	0	59	15	9	10	112	82	0	0	1,637
その他(件)	27	32	2	4	1	2	0	0	9	2	23	12	3	1	4	5	7	4	0	0	138
合 計	5,863	5,268	1,048	1,290	768	878	766	473	514	377	369	188	450	366	295	165	361	519	148	147	20,253

8

管 理 運 営

8-1 組織及び職員一覧(平成20年度)

(平成21年3月31日現在)



8-2 美術館協議会

1 委員

(平成20年3月31日現在)

2 開催

平成19年9月21日

区 分	氏 名	職 名
学 校 教 育	釜床 育子	徳島県小学校教育研究会 図工部会長 福島小学校長
	小林 正則	徳島県中学校教育研究会 美術部会長 海南中学校長
	美馬 康男	徳島県高等学校教育研究会 美術部会長 名西高等学校長
社 会 教 育	河崎 良行	徳島大学総合科学部 名誉教授
	西田 威汎	鳴門教育大学 学校教育学部 教授
	佐野比呂志	徳島県美術家協会 会長
学識経験者	横井 昭	元 美術懇談会メンバー
	河野南代子	国際交流懇話会 HIROBA
	梅田 佳子	絵本作家
	原田 寛子	四国大学生生活科学部 教授

8-3 人権啓発展

1 文化の森人権啓発展 ―識字活動を中心として―

- 会期 平成20年12月2日[火]-12月7日[日] 9:30-17:00
- 会場 近代美術館ギャラリー、二十一世紀館 ミニシアター
- 入館無料
- 主催 徳島県立図書館、博物館、近代美術館、文書館、二十一世紀館、生涯学習政策課、人権教育課
- 内容
 - ・展示(近代美術館ギャラリー)
識字学級生の作品、人権啓発パネル、識字・人権啓発図書
 - ・ビデオ上映(二十一世紀館 ミニシアター 10:30～、14:00～(12月6日[土]は10:30～のみ)
アニメ「みーつけた!」、アニメ「どんぐり森へ～ひとりにひとつのたからもの～」
- 入館者数 展示 511名 ビデオ上映 88名

8-4 入館者数

1 平成20年度所蔵作品展入館者数

(単位:人)

月	区分	個 人		団 体		減 免				観覧料免除				合 計	開 館 日 数	一日当 平均入 館者数		
		一 般	高大生	小中生	一 般	高大生	小中生	一 般	高 齢	高大生	小中生	学校教育					小中高生	一 般
												校	人数					
4 月		112	9	2	49			13	58			2	235	82	468	1,028	26	40
5 月		25	5		2				2			9	538	131	2,684	3,387	27	125
6 月		48	5		78			2	17			2	36	141	1,231	1,558	21	74
7 月		86	2		7			2	41					116	510	764	27	28
8 月		60	3		3				6			3	33	369	1,302	1,776	27	66
9 月		79	8		4			6	28			2	137	78	713	1,053	24	44
10月		74	3	2	17				47			5	597	79	725	1,544	24	64
11月		22							2			6	451	131	2,482	3,088	26	119
12月		88	7		7	2			19			1	117	36	466	742	23	32
1 月		127	7	3	15			4	21			1	14	37	216	444	19	23
2 月		230	25		12			8	70			1	12	72	225	654	24	27
3 月		322	26	3	111	3		10	80			6	236	91	427	1,309	26	50
合 計		1,273	100	10	305	5		45	391			38	2,406	1,363	11,449	17,347	294	59

2 平成20年度特別展入館者数

(単位:人)

区分 展覧会名	個 人			団 体			減 免				前売券	観覧料免除				合計	開館 日数	一日当 平均入 館者数
	一般	高大生	小中生	一般	高大生	小中生	一般	高 齢	高大生	小中生		学校教育		小中 高生	一般			
												校	人数					
大正ロマン展	2,097	125	1	84	1		78	1,028			125	12	578	286	1,246	5,649	50	113
版画展	686	63		19	30		33	104			17	3	33	460	768	2,213	38	58
未来に伝えたい	384	41		17	29		19	155			7	3	138	119	478	1,387	27	51
幸田展	787	34	1	20			40	668			18	10	1,063	162	783	3,576	38	94
合 計	3,954	263	2	140	60		170	1,955			167	28	1,812	1,027	3,275	12,825	153	84

3 平成20年度講座等、共催事業、貸館事業の入館者数

(単位:人)

区分 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
講座等参加者	18	109	73	57	221	69	130	298	34	32	42	320	1,403
共催事業									599				599
貸館事業	570	1,131		864	3,817	1,490	3,562	2,916	1,398		1,122	547	17,417

4 平成20年度総入館者数

(単位:人)

所蔵作品展	特 別 展	講 座 等	共 催 事 業	貸 館 事 業	総入館者数
17,347	12,825	1,403	599	17,417	49,591

8-5 社会的活動、非常勤講師等の受諾等

仲田耕三

那賀町立相生森林美術館協議会委員(平成20年4月1日-平成21年3月31日)

四国大学短期大学部非常勤講師(美術概論)(平成20年10月1日-平成21年3月31日)

安達一樹

香川県立ミュージアム開館記念展「静かなる情熱－藤川勇造とロダンの美」企画協力(平成19年6月-20月5日)

第64回青美展審査員(平成20年8月20日)

友井伸一

徳島大学総合科学部非常勤講師(美術史特講)(平成20年4月1日-平成21年3月31日)

8-6 作品の貸出

1 洋画(油彩画、水彩、素描)

作者名	作品名	数量	期間	展覧会名	貸出先
児島善三郎	籐椅子に掛ける裸婦	1	2008.4.19～ 2008.6.22	徳島県立近代美術館 所蔵名品展 20世紀 の人間像	群馬県立館林美術館
前田寛治	大工	1			
伊原宇三郎	白衣を纏える	1			
里見勝蔵	女	1			
瑛九	少女の顔	1			
村井正誠	人と小鳥	1			
香月泰男	人と箱	1			
北川民次	少女とキリギリス	1			
大沢昌助	書きものをする娘	1			
中本達也	母子	1			
鳥海青児	ブラインドを降す男	1			
麻生三郎	家族	1			
高松次郎	影の自画像	1			
横尾忠則	カミソリ	1			
	よだれ	1			
	お堀	1			
岡本信治郎	ヴァン・ゴッホの像	1			
鵜飼	Time to Fly	1			
山下菊二	父はは	1			
高橋秀	W計画	1			
井原康雄	UNTITLED 2	1			
奈良美智	UNTITLED (BROKEN TREASURE)	1			
森村泰昌	肖像(少年1)	1			

作者名	作品名	数量	期間	展覧会名	貸出先
森村泰昌	肖像(少年2)	1	2008.4.19～ 2008.6.22	徳島県立近代美術館 所蔵名品展 20世紀 の人間像	群馬県立館林美術館
	肖像(少年3)	1			
アルベール・グレーズ	台所の母子	1			
ジュール・パスキン	下着の裸婦	1			
パブロ・ピカソ	ドラ・マールの肖像	1			
パウル・クレー	子供と伯母	1			
フェルナン・レジェ	美しい自転車乗り	1			
アントニ・クラージェ	子供と魚	1			
ジャン・デュビュッフエ	熱血漢	1			
マックス・エルンスト	鳩のように	1			
カレル・アペル	裸婦	1			
ウィフレド・ラム	我々はここにいる	1			
アンディ・ウォーホル	多色による4つのマリリン	1			
マッタ	皮肉な友情	1			
	魂－孤独	1			
	海と結ばれるカップル	1			
チャック・クロース	マルタ／フィンガーペインティング	1			
アンソニー・グリーン	"回顧作品その2ーピンボーン・ルーム, 1960ー"	1			
ヘンリー・ムーア	横たわる3人の人物	1			
ロバート・ロンゴ	無題	1			
吹田文明	流れの中の井形	1	2008.5.1～ 2008.6.4	開館10周年記念 第23回企画展「巨匠 吹田文明展 ～徳島県立近代美術館所蔵品より～」	海陽町・海陽町教育委員会・海陽町立博物館
	(無題)	1			
ジャン・メッツァンジェ	自転車乗り	1	2008.5.19～ 2008.8.7	前田寛治のバリ	鳥取県立博物館、大阪市立近代美術館(仮称)心斎橋展示室
三宅克己	あさやけ	1	2007.7.25～ 2008.5.28	日展100年記念展	富山県立近代美術館
石川真五郎	剣山	1	2008.8.6～ 2008.9.11	第12回 石川真五郎展	板野町文化の館
	夕景	1			
絹谷幸二	蒼空のある自画像	1	2008.8.26～ 2008.10.21	絹谷幸二展－情熱の色・歓喜のまなざし	日本橋高島屋、京都高島屋、大阪高島屋

2 日本画

作者名	作品名	数量	期間	展覧会名	貸出先
下村良之介	よろこび	1	2008.7.24～ 2008.9.23	「日本画」再考への序章 没後10年 下村良之 介展	京都国立近代美 術館

3 彫刻

作者名	作品名	数量	期間	展覧会名	貸出先
村岡三郎	背	1	2008.4.19～ 2008.6.22	徳島県立近代美術館 所蔵名品展 20世紀 の人間像	群馬県立館林美 術館
篠田守男	ET 62	1			
	ET 72	1			
	ET 92	1			
三木富雄	耳	1			
菊畑茂久馬	燃える顔	1			
工藤哲巳	遺伝染色体の雨の中 で啓示を待つ	1			
浜田知明	情報過多的人間	1			
	気になる正体	1			
吉野辰海	十字行	1			
舟越桂	渴きとスピード	1			
太郎千恵蔵	232-B	1			
	251-G	1			
	301-B	1			
	302-B	1			
	303-W	1			
	304-B	1			
	312-B	1			
	321-B	1			
	333-B	1			
野村仁	二重螺旋:DNAの複 製	1			
奈良美智	The Little Pilgrims (Night Walking)	5			
アレクサンダー・アーキ ペンコ	白いトルソ	1			
ヴァイルヘルム・レームブ ルック	ザリー・ファルクの肖 像	1			
ジャック・リブシツ	クラリネットを持つ アルルカン	1			
パブロ・ガルガーリョ	キキ・ド・モンパルナ スのマスク	1			
アンリ・ローランス	片腕をあげて座る女	1			
アルベルト・ジャコメッ ティ	女性立像	1			

作者名	作品名	数量	期間	展覧会名	貸出先
バーバラ・ヘップワース	トルソ I (ユリシーズ)	1	2008.4.19～ 2008.6.22	徳島県立近代美術館 所蔵名品展 20世紀 の人間像	群馬県立館林美術館
サルバドール・ダリ	女の胸像(回顧された)	1			
ジョルジオ・デ・キリコ	孤独な詩人	1			
ウィレム・デ・クーニング	頭No.3	1			
ケネス・アーミテジ	降りていく人	1			
アレクサンダー・コールドー	角ばった肩の生きもの	1			
ジョージ・シーガル	タイルの壁にもたれる東洋の女	1			
トム・ウェッセルマン	モニカと透明なカーテン	1			
マグダレーナ・アバカノヴィッチ	12体の立像(群衆シリーズ)	12			
アントニー・ゴームリー	レバー	1			
トニー・クラッグ	カスト・グランシイズ (投げかけられた視線)	1			
四谷シモン	機械仕掛の少年2	1	2008.8.4～ 2008.9.23	第49回 特別展「人形の・夢・見ゆるひと」	高松市歴史資料館

4 版画

作者名	作品名	数量	期間	展覧会名	貸出先
吹田文明	機械と群集の中より逃れる	1	2008.5.1～ 2008.6.4	開館10周年記念 第23回企画展「巨匠 吹田文明展 ～徳島県立近代美術館所蔵品より～」	海陽町・海陽町教育委員会・海陽町立博物館
	2つの形	1			
	海辺	1			
	解放された機械	1			
	民話	1			
	眼球体	1			
	風の中の眼	1			
	赤鬼	1			
	鳥と眼球体	1			
	浮遊	1			
	青い十字	1			
	ボン	1			
	新しい星	1			
	残されたスペース	1			
	霧と静物	1			
	虹は花の色を盗んで咲く	1			
	雨のあと	1			
	潮	1			
	2つの世界	1			

作者名	作品名	数量	期間	展覧会名	貸出先
吹田文明	青の世界(B)	1	2008.5.1～ 2008.6.4	開館10周年記念 第 23回企画展「巨匠 吹 田文明展 ～徳島県 立近代美術館所蔵品 より～」	海陽町・海陽町教 育委員会・海陽町 立博物館
	青の世界(C)	1			
	青の世界(D)	1			
	春近し	1			
	星と男(自画像)	1			
	北の星	1			
	銀河へ	1			
	胎動B	1			
	遭遇	1			
	明日は雨	1			
	南に散りし友に捧ぐ II(戦後50年の鎮魂詩)	1			
	銀河を渡るB	1			
	悲しみのニケ	1			
	何処へ	1			
太田三郎	〈Post war 50私は誰で すか〉01. 閻 喜鳳 女性 安東省 第1次 [昭和56年3月訪日]	1	2008.4.19～ 2008.6.22	徳島県立近代美術館 所蔵名品展 20世紀 の人間像	群馬県立館林美 術館
	〈Post war 50私は誰で すか〉03. 張 秀英 女 性 奉天省 第2次 [昭和57年2-3月訪日]	1			
	〈Post war 50私は誰で すか〉08. 張 学 彦 男性 吉林省 第4次 [昭和58年12月訪日]	1			
	〈Post war 50私は誰で すか〉11. 鄒 麗 榮 女性 東安省 第6次 [昭和59年11-12月訪 日]	1			
	〈Post war 50私は誰で すか〉16. 莊 立 発 男性 奉天省 第8次 [昭和60年9月訪日]	1			
	〈Post war 50私は誰で すか〉17. 蘭 艶 霞 女性 竜江省 第9次 [昭和60年11-12月訪 日]	1			
	〈Post war 50私は誰で すか〉22. 王 家 林 男性 関東州 第11 次[昭和61年6月訪日]	1			
	〈Post war 50私は誰で すか〉28. 賀 吉 春 男性 三江省 第14 次[昭和61年12月訪日]	1			
	〈Post war 50私は誰で すか〉34. 趙 立 業 男性 奉天省 第17次 [昭和63年2-3月訪日]	1			

作者名	作品名	数量	期間	展覧会名	貸出先
太田三郎	〈Post war 50私は誰ですか〉38. 石 成 玉 男性 三江省 第19次[平成元年2-3月訪日]	1	2008.4.19～ 2008.6.22	徳島県立近代美術館 所蔵名品展 20世紀 の人間像	群馬県立館林美術館
	〈Post war 50私は誰ですか〉39. 高 玉 蘭 女性 吉林省 第20次[平成2年2-3月訪日]	1			
	〈Post war 50私は誰ですか〉29. 李 柱 琴 女性 興安南省 第15次[昭和61年12月訪日]	1			
ケーテ・コルヴィッツ	版画集〈7点組木版画集 戦争〉1. いけにえ	1			
	版画集〈7点組木版画集 戦争〉2. 志願兵たち	1			
	版画集〈7点組木版画集 戦争〉3. 両親	1			
	版画集〈7点組木版画集 戦争〉4. 寡婦I	1			
	版画集〈7点組木版画集 戦争〉5. 寡婦II	1			
	版画集〈7点組木版画集 戦争〉6. 母親たち	1			
	版画集〈7点組木版画集 戦争〉7. 民衆	1			
アレックス・カツ	〈エイダ、4つの姿〉1	1			
	〈エイダ、4つの姿〉2	1			
	〈エイダ、4つの姿〉3	1			
	〈エイダ、4つの姿〉4	1			
フランシス・ペーコン	自画像のための3つの習作	1			
ミンモ・パラディーノ	ものを言わぬ人	1			

5 写真

作者名	作品名	数量	期間	展覧会名	貸出先
やなぎみわ	次の階を探してI	1	2008.4.19～ 2008.6.22	徳島県立近代美術館 所蔵名品展 20世紀 の人間像	群馬県立館林美術館
石内都	「25 MAR 1916」#1	1			
	「25 MAR 1916」#4	1			
	「25 MAR 1916」#11	1			
	「25 MAR 1916」#13	1			
バーバラ・クルーガー	無 題(WE HAVE RECEIVED ORDERS NOT TO MOVE)	1			
シンディ・シャーマン	無題 #123	1			
トーマス・ルフ	ポートレート (Andrea Knobloch)	1			
アルフレッド・ジャール	シックス・セカンズ	1			

8-7 ギャラリーの利用状況

絵画・彫刻・版画等の美術作品の展示に利用することができます。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
件 数	1	1	0	4	4	2	4	5	3	0	3	2	29
利 用 日 数	4	4	0	18	25	14	22	18	16	0	19	12	152

※利用月(年度)がまたがる場合は初日の属する月(年度)に計上

8-8 運営計画

徳島県立近代美術館 中期計画・目標

(平成17年度～平成21年度)

1. 使命と計画

利用者や美術館関係者等に周知を図っていくとともに、計画については、利用者の特性やニーズ、地域の特性等の反映を図っていく。

- 目標 ① 中期計画の点検、評価
② 使命や計画の周知。
③ 県民・利用者ニーズの把握、運営への反映の仕組み等の検討

2. 資料の収集・保管・活用

(資料の収集・保存は美術館の最も基本的な機能である。)

近代・現代美術や徳島ゆかりの資料の継続的な収集を図るとともに、良好な状態で保存し、その活用を図っていく。

- 目標 ① 継続的資料収集
② 作品調書の整備
③ 収蔵施設の整備(拡充)
④ 保管・利用の方針・手続の整備
⑤ 防災・防犯等対策の整備
⑥ 未整理資料の整備
⑦ 資料保管状況の定期的点検
⑧ 害虫対策の整備
⑨ データベースの一層の充実
⑩ 保存修復の調査、計画策定

3. 調査研究

(調査研究は、美術館活動の基盤となる重要な機能である。)

近代・現代美術や徳島ゆかりの資料に関する基礎的な調査研究、資料の保存や展示、教育普及活動等に関する調査研究を行うとともに、その成果の美術館活動への反映と地域社会への還元を図っていく。

- 目標 ① 定期的研究報告会の開催と紀要の発行
研究報告会 年4回開催 紀要 年1回発行
② 組織としての研究体制の整備、共通研究テーマの設定、一体的研究の推進
③ 収蔵資料を中心とした基礎資料集の作成

4. 展示活動

美術作品を通じて感動や体験のできる場を提供するとともに、近現代美術を中心とした文化活動を先導していく。

所蔵作品展は、特長を生かした計画的な展示を行い、できるだけ多くの所蔵作品を鑑賞する機会を提供し、特別展は、近代、現代、日本、海外、徳島ゆかりなど多彩な内容の展覧会を適時適切に開催する。

- 目標 ① 特別展の企画内容に、より一層主体的に関わっていく。
② 年1回は地域性を加味した特別展の開催
③ 入館者数増(所蔵作品展・特別展)
④ 有料入館者割合増(特別展)
⑤ 図録販売数増
⑥ 県民・利用者ニーズの反映
⑦ 外国人、高齢者、障害者等の利用に配慮した展示となるよう改善計画(現状点検含む。)を策定し、改善を図る。
⑧ ギャラリーの利用促進

5. 教育普及活動

展示や所蔵資料に関連した各種教育普及活動を通じて、楽しく学ぶことができる多様な学習機会を提供し、県民の生涯学習への支援を図っていく。

学校教育との連携を進め、こども達が美術(美術品・美術館)に親しみ、認識を深める機会を提供し、鑑賞教育のすそ野を広げていく。

- 目標
- ① 展示や資料に関連した教育普及活動による多様な学習活動の支援
 - ② 学校連携により子供達が美術品に親しむ機会や美術(美術館)に対する認識を深める機会の提供
 - ③ 社会教育機関、他の機関や団体等との連携・協力
 - ④ 移動展及び新たな形のアウトリーチ事業の開催
 - ⑤ 利用者、関係者の反応やニーズの反映

6. 施設の整備・管理

安全で誰もが安心して快適に利用できる、利用しやすい美術館となるよう施設や案内表示の点検改善、安全意識の向上を図っていく。

また、地震等の自然災害や火災、盗難、事故等緊急事態の発生に備え、防災意識の向上や危機管理体制の強化を図っていく。

- 目標
- ① ハード、ソフト面での安全性等点検調査
 - ② ①に基づき改善計画を策定 施設管理者への働き掛け
 - ③ 地震、火災、水害等緊急事態時の対応マニュアルの整備

7. 情報の発信と公開

美術館の催し物案内や美術館活動に関する様々な情報の積極的発信を図り、美術館に対する理解と利用の促進を図っていく。

- 目標
- ① 広報計画、方針等の整備
 - ② 計画的、効果的広報の推進

- ③ 利用者等への周知手段等の整備
- ④ 問い合わせや相談等への対応方針の整備
- ⑤ 各種アンケートの分析・検討とその反映
- ⑥ ニュース会員拡充等計画の策定
- ⑦ ホームページのより積極的な活用
- ⑧ 自己点検・評価結果のホームページ等への掲載

8. 市民参画

美術館の使命や活動内容の周知とともに、県民、利用者の意見やニーズの集約、把握を図り、館運営への反映を通じて活動の活性化を図っていく。

ボランティアをはじめとする県民との協働を進め、地域との連携を図っていく。

- 目標
- ① 県民の意見を美術館運営に反映していくシステムの整備
 - ② ニーズ把握手法の検討
 - ③ 利用者等への周知手段等の整備
 - ④ ボランティアの任意団体としての独立、自主的な活動への支援と協働体制の強化

9. 組織・人員

美術館活動の活性化と健全な経営に主体的に取り組めるよう、職員意識や資質の向上を図っていく。

- 目標
- ① 専門職員としての学芸員の必要性に対する社会的理解の一層の深化
 - ② 美術館活動の質の一層の向上を図るための職員研修機会の確保
 - ③ 管理職員の専門職員化

10. 財務・社会的支援

健全な美術館経営を行えるよう、社会的支援の拡充を図るとともに経費節減や収入増を図っていく。

- 目標
- ① 共催や協賛金受入に関する研究等の推進
 - ② エコオフィスの一層の推進
 - ③ 見直点検の実施と経費節減
 - ④ 新たな歳入源確保に関する研究の推進

重点取り組み事項

第一期(平成17年度～平成21年度)

1. 地域に根ざした活動、地域連携
2. 利用者サービス、対応の向上
3. 資料整理
4. 経費節減、歳入増

関係法規

徳島県文化の森総合公園文化施設条例

(平成2年3月26日)
(徳島県条例第11号)

[沿革] 平成6年3月28日条例第19号、
平成9年3月28日第34号改正

(設置)

第1条 個性豊かな県民文化を振興し、魅力のある地域づくりに寄与するため、県民の文化活動の拠点として、徳島県文化の森総合公園文化施設(以下「文化施設」という。)を徳島市八万町に設置する。

(名称及び業務)

第2条 文化施設の名称及び業務は、次のとおりとする。

名 称	業 務
徳島県立図書館(以下「図書館」という。)	1 図書、記録その他の資料(以下「図書館資料」という。)を収集し、及び県民の利用に供すること。 2 他の公立図書館、図書室等と緊密に連絡し、協力し、及び図書館資料の相互貸借を行うこと。 3 その他図書館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。
徳島県立博物館(以下「博物館」という。)	1 考古、歴史、民俗、美術工芸、動物、植物及び地学に関する実物、標本、模型、文献、写真その他の資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。 2 博物館資料に関する調査研究を行うこと。 3 博物館資料に関する観察会、講座等の教育普及事業を行うこと。 4 その他博物館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

名 称	業 務
徳島県立近代美術館(以下「美術館」という。)	1 美術作品及び美術に関する資料(以下「美術館資料」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。 2 美術館資料に関する調査研究を行うこと。 3 美術に関する講演会、講座等の教育普及事業を行うこと。 4 美術作品の展示のためにギャラリーを利用に供すること。 5 その他美術館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。
徳島県立文書館(以下「文書館」という。)	1 県に関する歴史的文化的価値を有する公文書、古文書、行政資料その他の資料(以下「文書館資料」という。)を収集し、保存し、及び県民の利用に供すること。 2 文書館資料に関する調査研究を行うこと。 3 文書館資料の展示、文書館資料に関する講座等の教育普及事業を行うこと。 4 その他文書館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。
徳島県立二十一世紀館(以下「二十一世紀館」という。)	1 文化に関する情報を集積し、及び高度な情報通信システムによって県民の利用に供すること。 2 演劇、音楽等の公演会、情報処理の高度化に対応した講座等を開催すること。 3 文化活動のために二十一世紀館の施設を利用に供すること。 4 その他二十一世紀館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

(利用の許可)

第3条 次の表に掲げる文化施設の施設又は用具を利用しようとする者は、あらかじめ、徳島県教育委員会(以下「教育委員会」という。)の許可(以下「利用の許可」という。)を受けなければならない。

区 分	施設又は用具
美術館	ギャラリー
二十一世紀館	イベントホール 多目的活動室 ミニシアター 野外劇場 音響、照明等のための用具

(観覧料等)

第4条 博物館が展示する博物館資料又は美術館が展示する美術館資料を観覧する者に対しては、別表第一に掲げる額の観覧料を徴収する。
2 利用の許可を受けた者に対しては、別表第二に掲げる額の使用料を徴収する。
3 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料の全部又は一部を免除することができる。
4 観覧料及び使用料の徴収の時期及び方法その他観覧料及び使用料に関し必要な事項は、規則で定める。

(損害の賠償)

第5条 文化施設を利用する者は、文化施設の施設、資料等をき損し、又は亡失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事は、当該き損又は亡失がやむを得ない理由によるものであると認めるときは、その賠償責任の全部又は一部を免除することができる。

(職員)

第6条 図書館法(昭和25年法律第118号)及び博物館法(昭和26年法律第285号)に定めるもののほか、文化施設に、館長その他必要な職員を置く。

(協議会)

第7条 教育委員会の附属機関として、次の表の上欄に掲げる協議会を置き、これらの協議会の所掌事務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。

協議会の名称	所 掌 事 務
徳島県立図書館協議会	図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べること。
徳島県立博物館協議会	博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べること。
徳島県立近代美術館協議会	美術館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べること。
徳島県立文書館協議会	文書館の運営に関し教育委員会の諮問に応ずるとともに、教育委員会に対して意見を述べること。
徳島県立二十一世紀館協議会	二十一世紀館の運営に関し教育委員会の諮問に応ずるとともに、教育委員会に対して意見を述べること。

- 2 協議会は、委員10人以内で組織する。
- 3 徳島県立文書館協議会及び徳島県立二十一世紀館協議会の委員は、学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから、教育委員会が任命する。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員は、再任されることができる。
- 6 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(教育委員会規則への委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、文化施設の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成2年4月1日から施行する。ただし、第2条の表徳島県立図書館(以下「図書館」という。)の項第1号(図書館資料の収集に関する部分を除く。)、同表徳島県立博物館(以下「博物館」という。)の項第1号(博

物館資料の収集及び保管に関する部分を除く。)及び第3号、同表徳島県立近代美術館(以下「美術館」という。)の項第1号(美術館資料の収集及び保管に関する部分を除く。)、第3号及び第4号、同表徳島県立文書館(以下「文書館」という。)の項第1号(文書館資料の収集及び保存に関する部分を除く。)及び第3号並びに同表徳島県立二十一世紀館(以下「二十一世紀館」という。)の項第1号(文化に関する情報の集積に関する部分を除く。)、第2号及び第3号、第3条から第5条まで、別表第1並びに別表第2の規定は、同年11月3日から施行する。

附 則(平成6年条例第19号)

- 1 この条例は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 この条例の施行の際現に利用の許可を受けている武道館又は文化施設の利用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成9年条例第34号)

- 1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 この条例の施行の際現に利用の許可を受けている文化施設又は武道館の利用に係る使用料については、なお従前の例による。

別表第1(第4条関係)

区 分	単 位	金 額			
		常 設 展		企 画 展	
		個 人	団体(20人以上をいう。以下同じ。)	個 人	団 体
小学校の児童及び中学校の生徒	1人1回	50円	40円	知事とその都度定める額	
高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生並びにこれらに準ずる者	1人1回	100円	80円		
その他の者(学齢に達しない者を除く。)	1人1回	200円	160円		

別表第2(第4条関係)

区 分		単 位	金 額
ギャラリー		午 前	3,300円
		午 後	5,500円
		夜 間	4,200円
イベントホール		午 前	6,600円
		午 後	10,600円
		夜 間	8,180円
多目的活動室	展示利用の場合	午 前	3,300円
		午 後	5,500円
		夜 間	4,200円
	展示利用以外の利用の場合	午 前	3,980円
		午 後	6,400円
		夜 間	5,080円
ミニシアター		午 前	1,100円
		午 後	1,780円
		夜 間	1,510円
野外劇場		午 前	2,880円
		午 後	4,660円
		夜 間	3,510円
音響、照明等のための用具		午前、午後又は夜間	規則で定める額

備 考

- 「午前」とは午前9時30分から正午までを、「午後」とは午後1時から午後5時までを、「夜間」とは午後6時から午後9時までをいう。
- 午前から午後まで、午後から夜間まで又は午前から夜間まで引き続き利用する場合の使用料の額は、この表の区分に応じたそれぞれの使用料の額を加えて得た額とする。

- 営利又は営業のための宣伝その他これらに類する目的で利用する場合のギャラリー、イベントホール、多目的活動室、ミニシアター又は野外劇場の使用料の額は、この表及び前項の規定にかかわらず、同表の区分に応じた使用料の額又は同項の規定により算出した使用料の額に百分の五百を乗じて得た額とする。

徳島県立近代美術館管理規則

(平成2年3月31日
徳島県教育委員会規則第10号)

[沿革] 平成8年3月29日教育委員会規則第8号改正

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県立近代美術館(以下「美術館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 美術館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

- 1 月曜日 ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日
 - 2 12月28日から翌年の1月4日までの日
- 2 徳島県立近代美術館長(以下「館長」という。)は、特に必要があると認めたときは、前項の規定にかかわらず、臨時に休館し、又は同項に規定する休館日に開館することができる。

(供用時間)

第3条 美術館の供用時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、ギャラリーの供用時間は、午前9時30分から午後9時までとする。
- 3 館長は、特に必要があると認めたときは、前2項の規定にかかわらず、第1項又は前項に規定する供用時間を変更することができる。

(利用の許可の申請等)

第4条 徳島県文化の森総合公園文化施設条例(平成2年徳島県条例第11号。以下「条例」という。)第3条の許可(以下「利用の許可」という。)を受けようとする者は、徳島県立近代美術館ギャラリー利用許可申請書(別記様式)を館長に提出しなければならない。

- 2 前項の申請書は、利用しようとする日(その日が引き続き2日以上に及ぶときは、その初日。)の前日から起算して6月前の日以後に提出するものとする。ただし、館長が相当の理由があると認めるときは、この限りでない。
- 3 館長は、次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可をしないものとする。
 - 1 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。

- 2 その他美術館の管理上支障があると認められるとき。

(利用の許可等の通知)

第5条 館長は、前条第1項の申請書を受理したときは、利用の許可をするかどうかを決定し、その旨を当該申請者に通知するものとする。

(利用の許可の取消し等)

第6条 館長は、次の各号のいずれかに該当するときは、当該利用の許可を取り消し、又はギャラリーの利用の中止を命ずることができる。

- 1 第4条第3項各号のいずれかに該当する理由が生じたとき。
- 2 利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)が利用の許可に付した条件に違反したとき。
- 3 利用者が偽りその他不正な手段により利用の許可を受けた事実が明らかとなったとき。
- 4 利用者が条例又はこの規則の規定に違反したとき。

(利用の内容の変更等)

第7条 利用者は、ギャラリーを利用できなくなったとき、又は利用の許可の内容を変更してギャラリーを利用しようとするときは、直ちにその旨を文書で館長に届け出なければならない。

(遵守事項)

第8条 美術館を利用する者は、条例及びこの規則並びに館長が別に定める利用者心得その他の規律を守らなければならない。

(入館の禁止等)

第9条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

- 1 泥酔者及び伝染性の疾病にかかっていると認められる者
- 2 前条の規定に違反し、又はそのおそれがある者

(資料の特別利用)

第10条 学術その他の目的のために美術館資料の撮影、模写等をしようとする者は、あらかじめ、館長の承認を受けなければならない。

(補則)

第11条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、館長が定める。

附 則

この規則は、平成2年4月1日から施行する。ただし、第2条から第10条まで及び別記様式の規定は、11月3日

から施行する。

附 則(平成8年教育委員会規則第8号)

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

別記様式(第4条関係)

使 用 料 納 入 時 期	前 納 後 納	決 裁 欄			
------------------	------------	-------	--	--	--

徳島県立近代美術館ギャラリー利用許可申請書			※受付番号		
徳島県立近代美術館長 殿 次のとおり利用したいから申請します。					
申請年月日	年 月 日	※許可年月日	年 月 日		
申 請 者	住 所 氏 名	⑩ (法人その他の団体にあつては、 主たる事務所の所在地及び名称 並びに代表者の氏名)	※ 区 分	一 般	
	電 話			営 利	
利用の目的 (行事の名称)			入場料等の額 (1人につき)	円	
利 用 の 日 時				※ 使 用 料 の 額	
年 月 日 () 時 分～ 時 分				円	
年 月 日 () 時 分～ 時 分				円	
年 月 日 () 時 ～分 時 分				円	
年 月 日 () 時 分～ 時 分				円	
				計	円
※ 備 考					

注意事項 ※印の欄には、記入しないこと。

徳島県立近代美術館協議会規則

(平成2年3月31日
徳島県教育委員会規則第5号)

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例(平成2年徳島県条例第11号)第7条第6項の規定に基づき、徳島県立近代美術館協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に、会長及び副会長1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長が招集する。

- 2 協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(雑則)

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成2年4月1日から施行する。

10

建設概要

建物概要

設計	——— (株)環境・建築研究所・(株)佐藤武夫設計事務所・(株)日建設計 設計共同企業体
監理	——— 環境・建築研究所・岡田新一設計事務所・佐藤武夫設計事務所・日建設計 建設工事監理共同企業体
施行	——— [建築]大成建設・フジタ工業・不動建設・熊谷組・間組 建築工事共同企業体 [電気]四国電気工事・近畿電気工事 電気工事共同企業体 [空調]東洋熱工業・三機工業・ナミレイ 空調工事共同企業体 [管] 朝日工業社・大成設備 管工事共同企業体 [エレベーター](株)東芝 [家具]富士ファニチア(株)
敷地	——— 40.6ha(公園全体面積)
構造・規模	——— 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上4階 塔屋1階 地下1階建
延床面積	——— 6,518㎡(3館合計 積層含む— 23,814㎡、積層含まず—22,382㎡)
建築面積	——— 8,363㎡(3館合計)

設備概要

電力設備	——— 受変電、自家発電、直流電源設備(蓄電池)、電灯・コンセント、避雷針
通信・情報設備	——— 電話、情報(AV、スタジオ、液晶表示、他)、テレビ共聴、表示、インターホン、拡声、時計、視聴覚
防災・防犯設備	——— 自動火災報知、防火戸閉鎖、ガスモレ警報、漏水警報、防犯、ITV、排煙、非常用照明、誘導灯消火設備(屋内消火栓、スプリンクラー、ハロン化物消火、他)
空気調和設備	——— 熱源機器設備(ガス焚冷温水発生機、空気熱源回収型ヒートポンプスクリーン冷凍機、空気調和設備(収蔵庫4系統、展示室3系統、一般3系統)
給排水衛生設備	——— 給水設備(市水系統、雑給水系統)、排水設備(合併処理槽)、給湯、カスケード、燻蒸、中和槽装置、特殊ガス、焼却炉
監視制御設備	——— 中央監視設備(監視制御点数—全館2,000点、美術館500点)
昇降機設備	——— エレベーター(乗用:750kg×1台、450kg×2台* 身障者用:750kg×1台、荷物用:3,000kg×2台*) *美術館用は各1台

仕様一覧

室名	面積 (㎡)	天井(天井高)	壁	床	その他
展示室1	690	着色岩綿吸音板(5m)	クロス貼	タイルカーペット	可動展示パネル 褪色防止蛍光灯
展示室2	204	着色岩綿吸音板(4m)	クロス貼	タイルカーペット	可動展示パネル 褪色防止蛍光灯
展示室3	947	着色岩綿吸音板(5m)	クロス貼	タイルカーペット	可動展示パネル 褪色防止蛍光灯
屋外展示場	1001			タイル張り	
美術館講座室	98	岩綿吸音板(3m)	クロス貼	タイルカーペット	スクリーン、ホワイトボード、 AV設備等
アトリエ1	97	岩綿吸音板(3m)	有孔珪酸カルシウム 板吸音壁	ビニールシート、 アスファルト防水	流し台、地流し 収納棚等
アトリエ2	93	岩綿吸音板(3m)	RC型	ナラフローリングブロック	流し台、地流し 収納棚等
子供のアトリエ	57	岩綿吸音板(3m)	RC型	タイルカーペット フリーアクセスフロアー	床暖房設備、収納棚等
レファレンスルーム	197	岩綿吸音板(2.7m)	クロス貼	タイルカーペット・フォー ムバック付防振上げ床	書架 ローパーテーション等
ギャラリー	227	石綿岩綿吸音板(4m)	クロス貼	タイルカーペット	可動展示パネル
エントランスホール	243	岩綿吸音板(4.5m)	RC型	大理石貼	
収蔵庫1	391	杉(4.5m)	杉 落し込み	杉	絵画ラック、木製棚
収蔵庫2	182	杉(4.5m)	杉 落し込み	杉	木製棚
一時保管庫	71	杉(4m)	杉 落し込み	ナラフローリング	絵画ラック

11

利用案内

開館時間 ————— 9:30-17:00

休館日 ————— ●毎週月曜日 ただし、月曜日が祝日又は振替休日に当たるときは、その翌日[5月3日・4日が月曜日のときは、5月6日]

●年末年始[12月28日-1月4日]

※このほか、展示替など必要に応じて休館することがあります。

観覧料 ————— ●常設展

一般200円[160円]

高校生・高専生・大学生及びこれらに準ずる者100円[80円]

小学生・中学生50円[40円]

[]内は団体[20人以上]の場合

障害者・高齢者(65歳以上)は割引があります。

祝日及び振替休日は常設展が無料になります。

小・中・高生は土・日・祝日・振替休日および春・夏・秋・冬休み中の観覧料が無料になります。

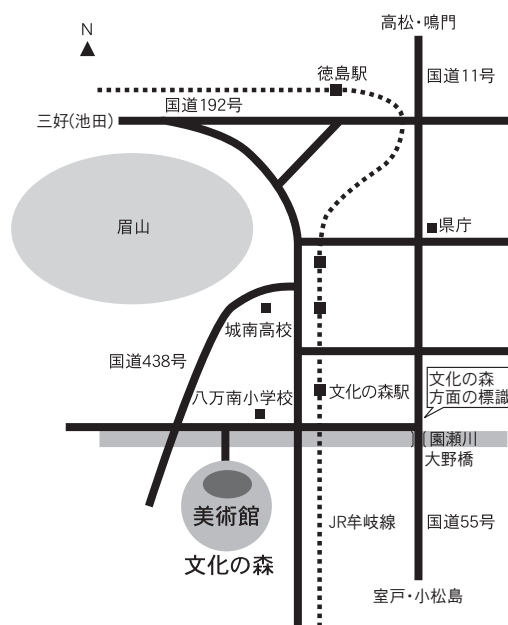
●特別展

知事がその都度定める額

交通案内 ————— ●JR徳島駅から/徳島市営バス・徳島バス利用(約25分)

●JR牟岐線文化の森駅から/徒歩(約35分)

●周辺地図



徳島県立近代美術館年報
平成20年度

発行
平成21年7月31日

編集
徳島県立近代美術館
770-8070 徳島市八万町向寺山
文化の森総合公園
tel:088-668-1088
fax:088-668-7198

印刷
グランド印刷(株)

この印刷物は非木材紙を
使用しています。
